

道路橋名	ワカナ	所在	路線名	架設年度 西暦	橋長 (m)	有効 幅員 (m)	R6	所見等	緯度	経度
小アキトリ沢橋	コアキトリザワハシ	胆沢	原前親木平線	1999	94	9	I	上部構造は床版に遊離石灰を伴うひびわれ、下部構造は幅0.2mmのひびわれが見られた。いずれも橋梁安全性への影響は低いと考えられるため、経過観察でよい。	39.045277度	140.852500度
佐布橋	サフハシ	胆沢	小山中外浦2号線	2002	16	6	II	床版の打継目に遊離石灰の析出が認められる。また舗装面に亀甲状のひびわれが見られることから、床版上面の劣化が懸念されるため、予防保全の観点から措置を講ずることが望ましい。	39.078830度	141.089320度
狐森橋	キツモリハシ	胆沢	長根竹地子線	2002	16	5	I	舗装路面に土砂堆積が認められ、排水不良の原因となるため維持工事にて対応することが望ましい。	39.083470度	141.075990度
開袋橋	ヘキアゴロハシ	衣川	古戸大森2号線	1962	50	5.6	I	上部構造は主桁に遊離石灰の析出、下部構造は縦壁に幅0.75mmのひびわれが見られた。いずれも橋梁安全性への影響は低いと考えられることから経過観察とする。	39.040277度	141.057222度
高沢橋	ヒサザハシ	衣川	古戸大森2号線	2002	60	7	I	上部構造は主桁に遊離石灰の析出、下部構造は橋脚にひびわれが見られた。いずれも橋梁安全性への影響は低いとみられることから経過観察とする。	39.042777度	141.050277度
豊巻橋	トヨマキハシ	衣川	大西岩ノ上線	1996	103	9.6	II	上部構造は主桁に遊離石灰を伴うひびわれ、下部構造は橋脚に幅0.25mmのひびわれが見られた。いずれも橋梁安全性への影響は低いと考えられることから経過観察とする。	39.030833度	141.069444度
西窪橋	ニシクボハシ	衣川	西部横断1号線	1971	25	6.1	II	橋梁全体にコンクリート部材の劣化が見られる。進行により構造安全性に影響することため、予防保全の観点から措置を講ずることが望ましい。伸縮装置の部材交換、防水層の設置等を行う必要がある。	39.078055度	141.001944度
川西橋	カニシハシ	衣川	徳沢増味2号線	1996	150	9.3	II	上部構造は床版に遊離石灰の析出、下部構造は橋台にひびわれが見られた。いずれも橋梁安全性への影響は低いとみられることから経過観察とする。	39.016666度	141.089722度
南股橋	ミナミマタハシ	衣川	川内増味線	1978	74	5.5	II	主桁の鉄筋露出は構造安全性に影響する損傷であり、予防保全の観点から措置を講ずることが望ましい。	39.010000度	141.026388度
増沢向橋	マサザウカイハシ	衣川	増沢向線	1968	35	3	II	肉厚減少を伴う主桁の腐食は構造安全性に影響する損傷であり、予防保全の観点から措置を講ずることが望ましい。	39.095000度	140.958333度
土屋橋	ツチヤハシ	衣川	土屋線	1957	81	6.5	I	上部構造は床版にひびわれ、下部構造は橋台に遊離石灰を伴うひびわれが見られた。いずれも橋梁安全性への影響は低いと考えられることから経過観察でよい。	39.025000度	141.075833度
天土橋	アマチハシ	衣川	天土線	1954	36	2.7	IV	橋台が洗掘されており、地震・豪雨・出水により致命的な変状が生じる可能性が非常に高い。早期に対応する必要がある。	39.020833度	141.039166度
苗代沢橋	ナラシザワハシ	衣川	苗代沢線	1985	41	5	II	上部構造は横桁の遊離石灰、下部構造は橋台のひびわれが見られた。いずれも橋梁安全性への影響は低いと見られ、経過観察でよい。	39.072500度	141.011944度
長袋橋	ナガフクロハシ	衣川	長袋線	1992	26	7.7	II	主桁に局部的な欠損及び錆汁が認められる。腐食の進展によりコンクリート部材の損傷原因となり得るため、予防保全の観点から措置を講ずることが望ましい。	39.080080度	141.000080度
北沢橋	キタザハシ	衣川	北沢線	1956	48	4.6	II	上部構造は主桁に錆汁の析出、床版に鉄筋露出が見られる。下部構造は橋脚に基礎の露出が見られた。いずれも構造安全性に影響する損傷であり、予防保全の観点から措置を講ずることが望ましい。	39.030000度	141.044444度
増沢橋	マサザハシ	衣川	増沢高堂線	1959	38	3.6	III	主桁の鉄筋露出は構造安全性に影響する損傷であり、早期の措置が必要である。	39.101388度	140.957222度
桑畑橋	クワタハシ	衣川	桑畑線	1986	50	5.2	II	上部構造は主桁に鉄筋露出、下部構造はA1カルバート部に床版ひびわれが見られた。カルバート部の床版ひびわれは進行性が見られるため、予防保全の観点から措置を講ずることが望ましい。	39.068055度	141.025555度
夏梨橋	ナツランハシ	衣川	夏梨1号線	1996	46	5	I	舗装面に段差が認められる。道路利用者の安全性の観点から、維持工事にて対応することが望ましい。	39.025750度	141.046780度
月山橋	ツキサンハシ	衣川	月山線	1975	61	5	II	上部構造は床版に鉄筋露出、下部構造は橋台胸壁にひびわれが見られる。いずれも橋梁安全性への影響は低いと考えられることから経過観察でよい。畜産モルタル下部空洞化については処置が望ましい。	39.009166度	141.088611度
徳沢橋	トクザハシ	衣川	徳沢増味1号線	1983	18	5.5	I	上部構造、下部構造、上下部接続部に大きな損傷は見られない。道路橋の機能に支障が生じていない状態である。	39.028333度	141.103888度
青ヶ沢橋	アオガサハシ	衣川	夏梨1号線	1978	45	5	II	主橋脚のボルトの脱落は構造安全性の観点から措置を講ずることが望ましい。	39.021666度	141.043055度
遼河橋	テウカハシ	衣川	遼河線	1975	42	5	II	上部構造は床版に遊離石灰の析出、下部構造は橋台にうきが見られた。いずれも橋梁安全性への影響は低いと考えられるため、経過観察でよい。	39.058888度	141.034722度
辰巳沢橋	ツグミザワハシ	衣川	中屋敷大森線	1996	66	5	II	上部構造は主桁に漏水、下部構造は橋台縦壁に幅0.4mmのひびわれが見られた。いずれも橋梁安全性への影響は低いと考えられることから経過観察でよい。	39.065277度	141.011944度
樽原橋	ツクラハラハシ	衣川	樽原野崎線	1964	25	3.6	III	上部構造、下部構造ともに軽微なひびわれ、欠損、遊離石灰が見られる。上下部接続部に支承の機能障害(傾斜、ズレ、離れ)が見られ、耐震性が低下していると推定される。よって、致命的な状態になる可能性が高いと考えられる。	39.000555度	140.987222度
小成沢新橋	コナリザワシンハシ	衣川	月山線	1975	15	6	II	頂板支間中央部にひびわれが認められる。また舗装面に劣化が確認されることから、床版上面の劣化が懸念されるため、予防保全の観点から措置を講ずることが望ましい。	39.011110度	141.087330度
上島橋	カシミヤハシ	水沢	台町阿久戸上島線	1968	50	4.2	III	支承部の沈下は構造安全性に影響するため、早期の措置が必要である。	39.111111度	141.087222度
鹿野坂橋	カノサカハシ	水沢	門下熊ヶ坂線	1971	21	4	I	上部構造は床版に幅0.15mmのひびわれ、下部構造は橋台縦壁に幅0.2mmのひびわれが見られた。いずれも橋梁安全性への影響は低いと考えられることから経過観察が望ましい。	39.121111度	141.206111度
おとめばし	オトメハシ	水沢	中町多賀線	1973	20.2	12	II	主桁にひびわれ、床版に遊離石灰、排水管に土砂詰まりが見られる。	39.145000度	141.145555度
長面橋	ナガオモテハシ	水沢	寺ノ西谷地田線	1963	15	4	II	橋脚柱部に鉄筋露出が見られ、致命的な状態となる可能性は低いものの、何らかの変状が生じる可能性がある。	39.113611度	141.164722度
上野4号橋	ウエノヨウハシ	水沢	天神林山原線	1959	15	3.9	II	上部構造は主桁に鉄筋露出、ひびわれが見られる。下部構造は橋脚柱部にひびわれ、梁部に漏水が見られる。ひびわれ幅が大きく、致命的な状態になる可能性がある。	39.096111度	141.174444度
向田橋	ムカダハシ	水沢	門下向田線	1999	32	5	II	主桁端部に緩やかな傾斜ひびわれ及びうきが見られる。主桁上方は雨水や凍結防止剤等の影響で発生しやすい環境にあり、湿気がこもりがちであるため進行性は高いと考えられ、予防保全の観点から措置を講ずることが望ましい。	39.120940度	141.215100度
一本木大橋	イツボノキオオハシ	水沢	即町石田線	1977	24.4	7.5	I	道路橋の機能に支障が生じていない。	39.161111度	141.111666度
造道橋	ツクリチハシ	水沢	即町石田線	1975	21.7	7.5	I	道路橋の機能に支障が生じていない。	39.152500度	141.113333度
姉体南橋	アネイミナミハシ	水沢	吹張土手前線	1966	101	3.4	III	橋脚の基礎沈没は構造安全性に影響する損傷であり早期の措置が必要である。	39.084444度	141.180000度
塔の本橋	タノモトハシ	水沢	瀬台野高根線	1970	16	6.5	II	間詰め床版に遊離石灰が見られる。	39.091111度	141.158333度
山の神橋	ヤマノカミハシ	水沢	洗田水無沢線	1985	20	5	II	主桁下面及び下流側側面に鉄筋露出が認められる。雨水の影響を受けやすく鉄筋腐食が懸念されるため、予防保全の観点から措置を講ずることが望ましい。	39.134680度	141.203110度
十文字橋	ジュウモンジハシ	水沢	和田黒田助線	1997	21	16.5	I	上部構造は床版に剥離、下部構造は橋台にひびわれが見られた。いずれも橋梁安全性への影響は低いとみられることから経過観察とする。	39.135000度	141.196111度
鶴城橋	ツルキハシ	水沢	鶴城2号線	1982	16	2.3	II	主桁端部に板厚減少を伴う腐食が認められる。またA1橋台背面から土砂流出が確認され、雨水等の影響により木材劣化の進行性が高まるため、予防保全の観点から措置を講ずることが望ましい。	39.090460度	141.191570度
粟野橋	ウレイハシ	水沢	長根山中2号線	1977	16	5.2	II	G1及びG6主桁と水切り部との境目に定着プレート下端が確認され、A2橋台胸壁に剥離・鉄筋露出が広範囲に認められる。またアンカー保護管の腐食に伴い、今後アンカーバーの腐食に繋がる可能性が考えられるため、予防保全の観点から措置を講ずることが望ましい。	39.086910度	141.198400度
弥生橋	ヤヨイハシ	水沢	十文字秋成線	1988	16.1	25	I	A2橋台縦壁にひびわれ、支承部本体に亀裂、排水管に腐食、変形・欠損が見られる。	39.145560度	141.155000度
鶴館1号橋	ツルタテ1ゴウハシ	水沢	鶴館梨田川線	1988	15	6.5	II	A1及びA2橋台にひびわれが認められる。伸縮装置周辺及び舗装面にひびわれが多数確認され、軸荷重の影響により進行性が高まる可能性が考えられるため、予防保全の観点から措置を講ずることが望ましい。	39.153560度	141.152480度
五反町1号橋	イタタチ1ゴウハシ	水沢	鐙田多賀線	1989	15.2	15.2	I	道路橋の機能に支障が生じていない。	39.152222度	141.148333度
豊徳橋	トヨトクハシ	水沢	川原田東広町線	1992	29	20	I	上部構造、下部構造、上下部接続部は大きな損傷はないため、何らかの変状が生じる可能性は低いと推定される。	39.144444度	141.151111度
中の橋	ナカノハシ	水沢	洗田水無沢1号線	1987	21	5	II	主桁に局部的な鉄筋露出及び錆汁が認められる。また間詰め床版部に遊離石灰の析出が確認された。舗装面にひびわれが発生していることから、床版上面の劣化が懸念されるため予防保全の観点から措置を講ずることが望ましい。	39.135510度	141.198690度
常盤橋	トキハシ	水沢	十文字秋成線	1994	15.3	12.4	II	A1・A2橋台縦壁にひびわれ、舗装に路面の凹凸が見られる。	39.15389度	141.153611度
富田橋	トミタハシ	水沢	光大寺諸性線	1995	19	2.9	II	間詰め床版部に遊離石灰の析出が認められる。舗装面にひびわれが発生していることから、床版上面の劣化が懸念されるため予防保全の観点から措置を講ずることが望ましい。	39.174920度	141.120280度
川瀬2号橋	カワセ2ゴウハシ	水沢	東バイパス側道6号線	2001	16	4	I	舗装面に局部的な段差が認められる。道路利用者の安全性の低下が懸念されるため、維持工事にて対応することが望ましい。	39.145940度	141.162980度
広野橋	ヒロノハシ	江刺	広野新地野線	2006	16	5.1	I	舗装面に局部的な段差が認められる。道路利用者の安全性の低下が懸念されるため、維持工事にて対応することが望ましい。	39.280850度	141.252650度
舟場橋	フナバハシ	衣川	桑畑線	1993	61.3	5	II	上部構造は床版に遊離石灰の析出、下部構造に幅1.5mmのひびわれが見られる。損傷は局部的であり、いずれも橋梁安全性への影響は低いと考えられることから経過観察がよい。	39.070555度	141.016666度
下河内橋	シモカウチハシ	衣川	夏梨2号線	1995	38	5	II	上部構造は主桁に幅0.35mmのひびわれ、下部構造は縦壁に剥離が見られた。いずれも橋梁安全性への影響は低いと考えられることから、経過観察が望ましい。	39.014166度	141.034722度
羽衣橋	ハコロモハシ	衣川	長袋線	1995	30	5.6	II	主桁に遊離石灰を伴うひびわれ、剥離・うきが見られた。損傷の進行により構造安全性への影響が懸念されるため、予防保全の観点から措置を講ずることが望ましい。	39.082500度	140.991944度
金龍橋	キンリュウハシ	衣川	十一ヶ鉾滝の沢線	1997	183	8	I	橋道路橋の機能に支障が生じていない状態。	39.05075度	141.04192度
本巻橋	ホンマキハシ	衣川	十一ヶ鉾滝の沢線	2002	105	8	I	橋道路橋の機能に支障が生じていない状態。	39.01891度	141.02318度
河内橋	カウチハシ	衣川	十一ヶ鉾滝の沢線	2000	140	8	II	上部構造は床版に遊離石灰の析出、下部構造は漏水が見られた。いずれも橋梁安全性への影響は低いとみられることから経過観察とする。	39.010833度	141.027777度
重任橋	シゲタクハシ	衣川	平六道線	1999	104	7	I	上部構造は床版に幅0.2mmのひびわれ、下部構造は橋台に幅0.5mmのひびわれが見られる。いずれも橋梁安全性への影響は低いと見られ、経過観察でよい。	39.027500度	141.073055度
中屋敷橋	ナカニシキハシ	江刺	中屋敷線	2008	18.4	5	I	舗装面に段差及び路肩に土砂堆積が認められる。橋面排水が適切に行われず、道路利用者の安全性の低下が懸念されるため、維持工事にて対応することが望ましい。	39.207750度	141.349610度
落合橋	オチアイハシ	江刺	松館線	2011	18.3	5	II	主桁下面に鉄筋露出が認められる。水の供給により内部鉄筋が錆しコンクリート部材の劣化の進展が懸念されるため、予防保全の観点から措置を講ずることが望ましい。	39.257050度	141.192170度
辨形橋	ハシナリハシ	衣川	陣場線	1977	66	6	II	主桁に補修材のうき(補修・補強材の損傷)、P2橋脚に軽微なひびわれ、防護柵内側に剥離が確認された。道路橋の機能に支障が生じていないが、予防保全の観点から断面修復工、ひびわれ補修工などの措置を講ずることが望ましい。	39.019167度	141.103333度
日向橋	ヒナカハシ	衣川	陣場線	1989	16	9.8	I	道路橋の機能に支障が生じていない。	39.02436度	141.09674度
十一ヶ鉾橋	ジュウイチカマハシ	衣川	長根外ノ沢線	1999	67.6	6	I	道路橋の機能に支障が生じていない状態。	39.06293度	141.04940度
板谷橋	イタバハシ	水沢	板谷線	1977	60	12.1	II	橋面から雨水等が侵入し、主版下面にエフロレッタス(白華・柱状)を確認。支承の腐食も激しく、早期に措置を講ずべき状態。	39.134444度	141.119722度
見分森橋	ミワケモリハシ	水沢	見分森線	1976	65	12	II	道路橋の機能に支障が生じる可能性があり、早期に措置を講ずべき状態。橋面から雨水等が侵入しており、支承の腐食も激しい。	39.124444度	141.118611度
折原館橋	オリハラハシ	水沢	折原館線	1976	63	8.4	II	上部、下部構造のひびわれ及び上下部接続部の変状等も機能性、耐荷重の影響は少ないと考えられるものの、何らかの変状が生じるが、致命的な状態になる可能性は低いと思われる。予防保全の観点から補修することが望ましい。	39.106666度	141.119166度
宮沢橋	ミヤザハシ	水沢	宮沢本線	1976	63	7.5	II	下部構造のひびわれ及び上下部接続部の変状等も機能性、耐荷重の影響は少ないと考えられるものの、何らかの変状が生じるが、致命的な状態になる可能性は低いと思われる。予防保全の観点から補修することが望ましい。	39.100555度	141.116666度
多賀大橋	タガオオハシ	水沢	鐙田多賀線	1990	199	16	II	床版に遊離石灰が見られる。予防保全の観点から措置を講ずることが望ましい。	39.15214度	141.14540度
真城大橋	マシキオオハシ	水沢	山居折原町線	2004	229.7	12.5	III	落橋防止システムに鉄筋露出が見られる。早期に措置を講ずるべき状態。	39.09886度	141.14424度
下大森橋	シモオモリハシ	衣川	古戸大森2号線	1965	8.1	3.8	II	橋台縦壁に漏水・遊離石灰を伴う水平方向のひびわれが見られる。錆汁が見られることから、予防保全の観点から措置を講ずることが望ましい。	39.046944度	141.017222度
上大森橋	カミオモリハシ	衣川	古戸大森2号線	不明	13.6	15	I	道路橋の機能に支障が生じていない。	39.046667度	141.015000度
かけはし	カケハシ	衣川	陣場線	1974	5.5	10.1	II	床版に剥離・鉄筋露出が見られる。予防保全の観点から、措置を講ずることが望ましい。	39.017169度	141.108778度
馬懸橋	ウマケハシ	衣川	十一ヶ鉾線	不明	3.5	3.9	I	道路橋の機能に支障が生じていない。	39.04674度	141.05481度
増味橋	ゾウミハシ	衣川	増味東線	不明	4	5	I	道路橋の機能に支障が生じていない。	38.99601度	141.02249度
滝ノ沢2号橋	タキノザワ2ゴウハシ	衣川	徳沢増味2号線	1990	2.3	5.7	II	頂版及びA1側壁に幅5.0mm程度のひびわれが認められる。また1スパン(中央)の移動・傾斜が確認された。軸荷重のかからない箇所にはひびわれが発生しているが、幅が広いことから予防保全の観点から措置を講ずることが望ましい。	39.007330度	141.050600度
小成沢橋	コナリザワハシ	衣川	山口線	2022	12.2	4	I	道路橋の機能に支障が生じていない。	39.01154度	141.08725度

道路橋名	アカナ	所在	路線名	架設年度 西暦	橋長 (m)	有効 幅員 (m)	R6	所見等	緯度	経度
安寺沢橋	アテツウバシ	衣川	山口線	不明	14.3	4	II	頂版に凍害が原因と思われる剥離・鉄筋露出が見られる。進行は見られないが、損傷が進行する前に補修することが望ましい。	39.005000度	141.086944度
上川原橋	カミノハラバシ	江刺	久保枝線	1974	14.5	3.6	II	桁間の間詰部に遊離石灰の析出がみられる。部分的に錆汁の析出がみられる。予防保全の観点から対策を講じるのが望ましい。	39.16089度	141.32752度
横津葉橋	ヨコツバハシ	江刺	火石線	1980	14.5	6.5	III	橋座から壁壁にかけて著しいコンクリート欠損・腐食した鉄筋露出がみられる。劣化の進展もみられ、早期の対策を講じるのが望ましい。	39.19092度	141.34981度
浅井橋	アサハシ	江刺	藤里口内線	1976	8.3	7	II	間詰床版に遊離石灰の析出及び欠損が認められる。舗装の劣化も認められることから予防保全の観点から措置を講ずることが望ましい。	39.192920度	141.245500度
六百刈田橋	ロビヤウカリタハシ	江刺	藤里口内線	1977	10.4	7.1	II	主桁に剥離・鉄筋露出が多数認められ、一部ではPC鋼線の露出が確認された。防水工の未設置により、間詰床版に遊離石灰の析出が広範囲に認められ、構造機能に支障が生じる可能性があるため、早期に措置を行うことが望ましい。	39.212950度	141.242780度
青森橋	アオサキハシ	江刺	藤里口内線	不明	5.3	10.5	II	車道部及び歩道部舗装面に橋軸方向ひびわれが認められる。桁間・間詰床版に漏水・滞水が認められることからコンクリート部材劣化の原因となり得るため、予防保全の観点から措置を講ずることが望ましい。	39.229240度	141.244550度
谷地田橋	ヤチタハシ	江刺	藤里口内線	1977	6.3	7.6	I	舗装路面に土砂堆積が認められる。橋面排水が適切に行われず、大きな滞水が生じ、道路利用者の安全性の低下が懸念されるため維持工事に対応することが望ましい。	39.245440度	141.240680度
川島橋	カワシマハシ	江刺	石山川島線	1952	9.4	3	II	桁間の間詰部に錆汁を伴った遊離石灰が析出している。前回点検からの進展が見られ、予防保全の観点から対策を講じるのが望ましい状態である。	39.15263度	141.17202度
長倉前橋	ナガクラマエハシ	江刺	白岩第2線	1973	5.3	6.5	II	A2橋台壁に伸縮装置からの漏水が要因と思われる。漏水・滞水が見られる。漏水の影響により損傷の進行性は高いと考えられるため、予防保全の観点から措置を講ずることが望ましい。	39.216388度	141.274166度
宝祿排水路3号橋	ホウロクハイスイロコウキョウ	江刺	百連寺島角線	1974	6	4.2	III	A1、A2橋台壁に変形・欠損が見られる。	39.19638度	141.15582度
中島排水路3号橋	ナカシマハイスイロコウキョウ	江刺	百連寺島角線	1979	6.3	5	III	床版の後打ち部(隅切り下部)に鉄筋露出がみられる。前回点検からの進展も見られ、軸荷重のかかる位置でもあるため、早期の対策が望ましい状態。	39.19711度	141.14594度
餅田堰用水路5号橋	モチタセキヨウスイロコウキョウ	江刺	田中落合西丸線	1972	2.2	4	II	頂版の目地部に漏水・滞水及び目地材の欠損が認められる。目地部からの漏水は継続的で、コンクリート部材劣化の進行を高めるため、予防保全の観点から措置を講ずることが望ましい。	39.175030度	141.192190度
鍋倉排水路2号橋	ナベクラハイスイロコウキョウ	江刺	田中落合西丸線	1998	8.1	5.4	I	道路橋の機能に支障を生じていない状態。	39.17472度	141.18861度
鍋倉排水路6号橋	ナベクラハイスイロコウキョウ	江刺	力石御免線	1980	7.3	6.5	II	壁壁及び支承本体に漏水・滞水、舗装にひびわれがみられる。漏水による損傷範囲が広いことから、予防保全の観点から措置を講ずることが望ましい。	39.163055度	141.187777度
餅田堰用水路2号橋	モチタセキヨウスイロコウキョウ	江刺	力石御免線	1967	2.9	7	I	道路橋の機能に支障が生じていない。	39.160833度	141.196388度
町浦排水路6号橋	マチウラハイスイロコウキョウ	江刺	金華山百連寺駒込線	1952	2.7	4	II	頂版に剥離・鉄筋露出が認められる。また、路面に亀甲状のひびわれが発生していることから、頂版上面の劣化が懸念されるため予防保全の観点から措置を講ずることが望ましい。	39.189200度	141.174380度
八日市排水路5号橋	ヨカチハイスイロコウキョウ	江刺	金華山百連寺駒込線	1978	2.7	4	II	上・下流側側面に鉄筋露出が認められる。また路面にひびわれ及び段差が見られることから予防保全の観点から措置を講ずることが望ましい。	39.189840度	141.171090度
宝祿排水路2号橋	ホウロクハイスイロコウキョウ	江刺	金華山百連寺駒込線	1974	6.05	6.5	II	張出床版の端部に鉄筋露出がみられる。付近に伸縮装置からの漏水が見られ、劣化が進展しやすい。予防保全の観点から対策が望ましい状態である。	39.19451度	141.15656度
二本木用水路4号橋	ニホンキヨウスイロコウキョウ	江刺	八日市馬場先西下川原線	1979	3.4	8.2	III	主桁全体的に広がりがある腐食が認められる。また橋台壁に鉛直方向のひびわれ及び剥離、うきが確認された。ひびわれ幅が広く、構造の機能に支障が生じる可能性があり、早期に措置を講ずべき状態である。	39.188280度	141.163660度
二本木用水路3号橋	ニホンキヨウスイロコウキョウ	江刺	八日市馬場先西下川原線	1979	4.2	5.6	II	主桁に剥離・鉄筋露出、A1A2橋台壁に欠損、舗装に土砂詰まりが見られる。	39.18678度	141.16082度
二本木用水路2号橋	ニホンキヨウスイロコウキョウ	江刺	八日市馬場先西下川原線	1952	2.2	4.5	II	側壁継目部に剥離が認められる。本溝橋は湧水期以外水位が高水に浸かっている状態である。常に水の供給があることからコンクリート部材の劣化が高まり耐荷力の低下が懸念されるため、予防保全の観点から措置を講ずることが望ましい。	39.180750度	141.154890度
苗代沢川1号橋	ナラノサワカワ1ゴウキョウ	江刺	原体線	1996	2.5	8.5	II	頂版に0.3mm幅の一方向ひびわれが見られる。ひびわれ幅が広く、今後軸荷重による損傷の進行が懸念されるため、予防保全の観点から速やかに補修することが望ましい。	39.179444度	141.193055度
上戸橋	カミトハシ	江刺	桜木橋大通線	1993	6.9	7.5	I	道路橋の機能に支障を生じていない。	39.180000度	141.158055度
八日市橋	ヨカチハシ	江刺	桜木橋大通線	1987	6.3	10.3	II	橋台に伸縮装置からの漏水が要因と思われる遊離石灰が見られる。損傷範囲が広いため、予防保全の観点から措置を講ずることが望ましい。	39.187222度	141.171111度
町浦排水路10号橋	マチウラハイスイロコウキョウ	江刺	桜木橋大通線	1919	2.9	7.4	I	道路橋の機能に支障が生じていない。	39.188888度	141.174166度
竹洞橋	タケアナハシ	江刺	竹洞浅倉線	1980	12	4.1	I	道路橋の機能に支障を生じていない。	39.19131度	141.23327度
穴沢橋	アナザハシ	江刺	竹洞浅倉線	1979	5.3	5.6	II	変状の進展性が見られることから、予防保全の観点から措置を講ずることが望ましいと判断し、健全度「II」と判定した。	39.19515度	141.24924度
前村橋	マエムラハシ	江刺	竹洞浅倉線	1979	5.45	5.6	II	床版コンクリートの内部に遮目目地材(エラストイト)が混入し、コンクリートが剥落している。予防保全の観点から対策が望ましい状態。	39.19246度	141.25441度
中堰橋	ナカゼキハシ	江刺	玉里藤里線	1980	2.9	6	II	主桁に剥離・鉄筋露出、舗装に土砂詰まりが見られる。	39.22672度	141.25463度
下中島橋	シモナカシマハシ	江刺	人首街道線	1980	3.6	6	II	頂版に局部的な剥離・鉄筋露出が認められる。また舗装面に亀甲状のひびわれが認められることから頂版上面の劣化が懸念されるため、予防保全の観点から措置を講ずることが望ましい。	39.216180度	141.216080度
徳行寺橋	シキョウジハシ	江刺	人首街道線	1982	5.5	7.1	II	桁橋部の床版に遊離石灰を伴ったひびわれがみられる。新規変状も生じており、今後の劣化進展に注意が必要である。予防保全対策が望ましい。	39.21512度	141.22549度
幕坂橋	カシマザハシ	江刺	人首街道線	1972	12.2	3	II	橋台壁の角部にコンクリート欠損が見られる。桁かかり長にも影響が生じる可能性があり、予防保全の観点から対策を講じるのが望ましい状態。	39.21709度	141.27651度
宇南橋	ウナンハシ	江刺	菅生大谷地線	1980	3.2	5	II	側壁に後埋めコンクリート部に鉄筋露出及びひびわれ、局部的な遊離石灰の析出が認められる。漏水による鉄筋腐食の進行が懸念されるため予防保全の観点から措置を講ずることが望ましい。	39.248830度	141.270970度
菅生橋	スガハシ	江刺	菅生砂子沢線	1975	6.3	6.5	III	桁間の間詰部の広範囲に遊離石灰、錆汁の析出が見られる。PC桁に影響を及ぼす可能性があるため、早期に措置を講ずることが望ましい。	39.24751度	141.26618度
樽和川第4号橋	ヅワカワダイ4ゴウキョウ	江刺	宮田牛沢線	1983	4	7.1	I	道路橋の機能に支障を生じていない状態。	39.23965度	141.20535度
樽和川第3号橋	ヅワカワダイ3ゴウキョウ	江刺	宮田牛沢線	1983	4	7	I	道路橋の機能に支障を生じていない状態。	39.23958度	141.20718度
樽和川第2号橋	ヅワカワダイ2ゴウキョウ	江刺	宮田牛沢線	1983	4	6.9	I	道路橋の機能に支障を生じていない状態。	39.23844度	141.21031度
樽和川第1号橋	ヅワカワダイ1ゴウキョウ	江刺	宮田牛沢線	1983	4	8.2	II	A2橋台壁にひびわれ、舗装に土砂詰まりが見られる。	39.23751度	141.21052度
下谷地田橋	シモヤチタハシ	江刺	大反鴨ヶ崎線	1976	11	5.6	II	桁間の間詰部に遊離石灰の析出がみられる。つらら状に進展している箇所もあるため、予防保全の観点から対策を講じるのが望ましい状態。	39.24867度	141.22843度
宝祿排水路1号橋	ホウロクハイスイロコウキョウ	江刺	関根百連寺橋渡線	不明	6	4.3	II	主桁に剥離・鉄筋露出、A1橋台基礎部(パイルメント)に移動・傾斜が見られる。	39.19293度	141.15761度
江刺幹線用水路18号橋	エサカキセンヨウスイロコウキョウ	江刺	百連寺瀬谷子線	1975	6	3.9	II	主桁、床版に腐食が見られる。	39.218056度	141.13472度
江刺幹線用水路19号橋	エサカキセンヨウスイロコウキョウ	江刺	百連寺瀬谷子線	1975	3.5	2.6	I	道路橋の機能に支障を生じていない。	39.22056度	141.13222度
宇津良橋	ウツラハシ	江刺	火石線	1976	7.3	7.5	II	橋台の角部に凍害によるコンクリート欠損が見られる。構造上重要な箇所であり、予防保全の観点から対策を講じるのが望ましい状態。	39.18663度	141.30388度
上根津葉橋	カミツバハシ	江刺	火石線	不明	2.3	6.5	II	頂版のスパンのみに幅0.05mm程度のひびわれが認められる。ボックス全体が湿地状態であることから進行性は高いと考えられ、予防保全の観点から措置を講ずることが望ましい。	39.190440度	141.347890度
小高橋	コタハシ	江刺	反町前広田線	1995	3.9	4.2	II	頂版に局部的な鉄筋露出及び滞水が認められる。雨水の影響により腐食の進行が懸念されるため、予防保全の観点から措置を講ずることが望ましい。	39.159330度	141.186270度
鍋倉排水路4号橋	ナベクラハイスイロコウキョウ	江刺	反町前広田線	1996	5.5	7	II	頂版に幅0.1mm～0.2mm程度のひびわれが認められる。漏水の影響は見られないが、ひびわれが広範囲に見られることから予防保全の観点から措置を講ずることが望ましい。	39.166430度	141.190230度
餅田堰用水路6号橋	モチタセキヨウスイロコウキョウ	江刺	餅田下惣田線	1996	3.2	17.7	I	歩道路面に路面の凹凸及びひびわれが認められる。最大60mm程度の段差があり、道路利用者の安全性の観点から維持工事にて対応することが望ましい。	39.179170度	141.190560度
栄町下水路4号橋										

道路橋名	別号	所在	路線名	架設年度 西暦	橋長 (m)	有効 幅員 (m)	R6	所見等	緯度	経度
古川排水路6号橋	フルカハスイロ6コウキョウ	江刺	落合後中野線	1984	10.2	5	I	道路橋の機能に支障を生じていない。	39.17461度	141.16769度
カ石排水路2号橋	チカシハスイロ2コウキョウ	江刺	カ石島線	1972	2.7	3	II	頂版下流側に雨水による局所的な欠損及び漏水が認められる。放置するとコンクリート部材の損傷を助長する要因となるため、予防保全の観点から措置を講ずることが望ましい。	39.152690度	141.179250度
カ石排水路4号橋	チカシハスイロ4コウキョウ	江刺	土花枝線	1979	2.7	4	II	頂版及び側壁にかぶり不足による剥離・鉄筋露出が認められる。漏水の影響によりコンクリート部材劣化が懸念されるため、予防保全の観点から措置を講ずることが望ましい。	39.151860度	141.178890度
カ石排水路1号橋	チカシハスイロ1コウキョウ	江刺	下川原島線	1979	4.5	5.1	I	道路橋の機能に支障を生じていない。	39.14778度	141.17778度
八日市排水路2号橋	ヨカチハスイロ2コウキョウ	江刺	中道線	1987	4.4	4.6	II	頂版支間中央から広がりのあるひびわれが認められる。変状の進展により耐久性の低下が懸念されるため、予防保全の観点から措置を講ずることが望ましい。	39.181190度	141.164810度
八日市排水路1号橋	ヨカチハスイロ1コウキョウ	江刺	上戸観音堂沖線	1986	2.7	4.1	I	舗装面路肩に土砂堆積が見られることから通行の妨げになり、道路利用者の安全性の低下が懸念されるため、維持工事にて対応する必要がある。	39.179420度	141.164700度
八日市排水路3号橋	ヨカチハスイロ3コウキョウ	江刺	八日市観音堂沖線	1978	4.3	5.7	II	頂版及び側壁目地部からの漏水・遊離石灰の析出が認められる。舗装面に亀甲状のひびわれが発生していることから、頂版上面の劣化が懸念されるため、予防保全の観点から措置を講ずることが望ましい。	39.182720度	141.165280度
天神堂小橋	テンジノドウコウハン	江刺	下川原別当線	1981	3.2	3	II	側壁にひびわれが認められる。また舗装面に舗装の異常が見られることから、予防保全の観点から措置を講ずることが望ましい。	39.179580度	141.151500度
中島排水路1号橋	ナカシマスイロ1コウキョウ	江刺	北天間沼の上線	1979	7.3	6.5	I	道路橋の機能に支障を生じていない。	39.19204度	141.14548度
中島排水路5号橋	ナカシマスイロ5コウキョウ	江刺	北天間沼の上線	1979	5.3	6.5	I	道路橋の機能に支障を生じていない。	39.19860度	141.14083度
中島排水路2号橋	ナカシマスイロ2コウキョウ	江刺	駒込島角線	1979	7.2	6	I	道路橋の機能に支障を生じていない。	39.19468度	141.14659度
中島排水路6号橋	ナカシマスイロ6コウキョウ	江刺	沼ノ上線	1979	5.3	5	I	道路橋の機能に支障を生じていない。	39.19922度	141.13930度
中島排水路4号橋	ナカシマスイロ4コウキョウ	江刺	沼館島角線	1979	5.3	5	II	床板間の間詰部に遊離石灰の析出がみられる。部分的につらら状に析出しているため、予防保全の観点から対策を講じるのが望ましい状況。	39.19793度	141.14387度
古川排水路5号橋	フルカハスイロ5コウキョウ	江刺	池向後中野線	1985	8.1	5.05	I	道路橋の機能に支障を生じていない。	39.17725度	141.16558度
古川排水路4号橋	フルカハスイロ4コウキョウ	江刺	池向谷地線	1984	6.1	4	I	道路橋の機能に支障を生じていない。	39.17591度	141.16692度
町浦排水路1号橋	マチウラスイロ1コウキョウ	江刺	落合新川線	不明	3.5	4.3	I	道路橋の機能に支障を生じていない。	39.18044度	141.17107度
八日市排水路8号橋	ヨカチハスイロ8コウキョウ	江刺	落合新川線	1987	3.2	3.4	II	頂版に局部的な鉄筋露出が認められる。雨水の影響により腐食の進行性が高まり、コンクリート部材劣化が懸念されるため予防保全の観点から措置を講ずることが望ましい。	39.183800度	141.167810度
町浦排水路9号橋	マチウラスイロ9コウキョウ	江刺	落合新川線	不明	3.6	4.3	I	道路橋の機能に支障を生じていない。	39.18534度	141.16634度
カ石排水路5号橋	チカシハスイロ5コウキョウ	江刺	土花荒川線	1979	4	3.6	I	道路橋の機能に支障を生じていない状態。	39.15000度	141.17833度
古川排水路3号橋	フルカハスイロ3コウキョウ	江刺	下川原田谷線	1985	11.6	6.5	I	道路橋の機能に支障を生じていない。	39.17068度	141.17111度
大畑橋	オホハタハシ	江刺	大畑中谷木線	1983	14.65	5.05	II	PC桁の下面に鋼材の露出がみられる。構造上重要な部材であるため、予防保全の観点から対策を講じるのが望ましい状況。	39.15910度	141.17317度
八日市排水路6号橋	ヨカチハスイロ6コウキョウ	江刺	下梁川線	1985	4.3	3	II	頂版支間部に幅0.15mm~0.2mm程度のひびわれが認められる。幅は小さいが広がりのあるひびわれであることから、予防保全の観点から措置を講ずることが望ましい。	39.177280度	141.164860度
餅田堰水路11号橋	モチタセキウスイロ11コウキョウ	江刺	後田西前田線	1998	3	10.7	II	防護柵支柱基部に著しい欠損が認められる。防護柵支持機能が低下しているため、予防保全の観点から措置を講ずることが望ましい。	39.166500度	141.195000度
染屋前橋	シヤエマエハシ	江刺	大畑横懸線	1977	8.4	5	III	防護柵の支柱基部に破断及び孔食が生じている。著しい腐食が進展したものであり、部材機能に影響がみられるため、早期の対策が望ましい状況。	39.14975度	141.22312度
宮地橋	ミヤジハシ	江刺	大畑横懸線	1973	5.4	5	I	道路橋の機能に支障を生じていない。	39.14764度	141.22725度
上横懸橋	カミヨコガケハシ	江刺	大畑横懸線	1973	2	4.6	II	A1側壁側面に幅2.0mm程度のひびわれが認められる。またA1側壁下ハンチ部に、流水が要因と推定される欠損が認められる。欠損範囲が比較的広く、継続的に流水の影響を受け進行性は高いと考えられるため、予防保全の観点から措置を講ずることが望ましい。	39.143440度	141.243150度
大北橋	オホキタハシ	江刺	大北宮地線	1973	8.45	5	II	桁間の間詰部に遊離石灰の析出がみられる。前回数検からの進展がみられ、広範囲に損傷がみられることから、止水対策が望ましい状況。	39.15276度	141.22562度
横懸橋	ヨコガケハシ	江刺	横懸線	1997	2.2	6	II	頂版目地部からの漏水の影響により、継手(目地材)の欠損が認められる。目地部からの漏水は継続的に進行性が高いため、予防保全の観点から措置を講ずることが望ましい。	39.146420度	141.236880度
日渡橋	ヒワタハシ	江刺	川欠線	1977	5.4	5	II	地覆に凍害によるコンクリート剥離および鉄筋露出がみられる。進展性のある損傷である。予防保全の観点から対策を講じるのが望ましい状況。	39.14842度	141.22261度
中下田代橋	ナカシタノハシ	江刺	中下田代線	1973	10.45	5	II	地覆の防護柵基部に幅1~2mmのひびわれがみられる。防護柵への影響が生じる可能性があり、予防保全対策を講じるのが望ましい状況。	39.14160度	141.21677度
長引橋	ナガヒキハシ	江刺	外浦線	1973	6	7.7	II	継手(目地材)の劣化が認められる。また、孔穴の埋戻し忘れ及び剥離等が確認され、漏水は継続的であることからコンクリート部材劣化の原因になり得るため、予防保全の観点から措置を講ずることが望ましい。	39.139890度	141.220370度
小峰橋	コウケハシ	江刺	小峰線	不明	8	5.3	II	頂版及び側壁にひびわれが認められる。前回数検からの変状進展が見られ、耐荷力の低下が懸念されるため予防保全の観点から措置を講ずることが望ましい。	39.132480度	141.247680度
松原下橋	マツハラノハシ	江刺	蒲道沢線	1972	5.5	5	II	橋台基礎部の露出及びコンクリートの欠損が見られる。河床部には洗掘防止工がなされているため、コンクリートの断面修復が望ましい。	39.13294度	141.25561度
蒲道沢橋	フナダサハシ	江刺	蒲道沢線	1973	4	4.1	I	道路橋の機能に支障を生じていない。	39.13055度	141.265833度
滝田橋	タキタハシ	江刺	滝田線	1973	4.1	2.7	II	橋台堅壁に幅7.0mmのひびわれが見られる。乾燥収縮が要因と推定される。幅が広く、漏水の影響が懸念されるため、予防保全の観点から速やかに補修することが望ましい。	39.130277度	141.272500度
六栗小橋	ムツクリコハシ	江刺	持葉線	1973	2	5	II	頂版及び側壁全体に規則性のあるひびわれが認められ一定の間隔でひびわれが多数発生している。また側壁にかぶり不足及びモルタル劣化による剥離・鉄筋露出が確認された。耐荷力の低下が懸念されるため、予防保全の観点から措置を講ずることが望ましい。	39.115500度	141.221220度
飛沢橋	ヒサザハシ	江刺	黒田助線	1968	7	5.1	II	主桁端部にコンクリート欠損がみられる。今後の劣化進展に注意が必要である。予防保全の観点から対策が望ましい状況。	39.11471度	141.22216度
村昇橋	ムラノハシ	江刺	黒田助線	1969	7	4.5	II	PC桁に遊離石灰を伴ったひびわれが生じている。劣化が進展すると構造上の影響が生じるため、予防保全の観点から対策を講じるのが望ましい状況。	39.12047度	141.21539度
養神橋	ヤウシンハシ	江刺	大田代線	1970	11	4	II	T桁にコンクリートの剥離が生じている。劣化の進展がみられ、構造上重要な部材であるため、予防保全の観点から対策を講じるのが望ましい状況。	39.11805度	141.25164度
奈良原橋	ナラハラハシ	江刺	奈良原線	1970	12.6	5.1	II	PC桁端部に凍害によるコンクリートひびわれ欠損が見られる。部材機能に影響を及ぼす可能性があることから予防保全対策が望ましい状況。	39.11461度	141.25940度
藤渡橋	フジワタハシ	江刺	根木町線	1972	12	4	II	桁間の間詰部に遊離石灰の析出がみられる。前回数検からの損傷箇所が増加が見られることから、予防保全対策の講じるのが望ましい状況。	39.10809度	141.26856度
根木町橋	ネツマチハシ	江刺	根木町線	1972	2.3	5.2	II	頂版に剥離・鉄筋露出及びひびわれが認められる。天端が土砂で覆われ常に湿地状態であるため、腐食の進行性は高くなると考えられる。損傷箇所は端部であることから直接軸荷重はかからないが、予防保全の観点から措置を講ずることが望ましい。	39.106130度	141.269100度
餅田堰水路3号橋	モチタセキウスイロ3コウキョウ	江刺	後田線	1997	3	5.2	II	下流側頂版側面に遊離石灰の析出が見られる。放置するとコンクリート部材劣化を助長する原因となり得るため、予防保全の観点から措置を講ずることが望ましい。	39.170420度	141.194390度
戸屋前橋	トヤマエハシ	江刺	分限城枝線	1973	6.35	4	I	道路橋の機能に支障を生じていない。	39.15389度	141.23756度
上宮地橋	カミヤジハシ	江刺	横懸中央線	不明	6.1	3.5	I	道路橋の機能に支障を生じていない状態。	39.14694度	141.228333度
大畑橋	オホハタハシ	江刺	大畑枝線	不明	6	3	I	道路橋の機能に支障を生じていない。	39.14639度	141.23500度
下日渡橋	シモワタハシ	江刺	日渡線	1973	10.4	4.1	I	道路橋の機能に支障を生じていない。	39.14808度	141.22099度
餅田堰水路16号橋	モチタセキウスイロ16コウキョウ	江刺	松川下線	1999	3.7	3.5	II	頂版及び側壁にひびわれが認められる。幅は小さいが全体に広がりが見られることから、予防保全の観点から措置を講ずることが望ましい。	39.156780度	141.195250度
餅田堰水路1号橋	モチタセキウスイロ1コウキョウ	江刺	石山線	1980	4.8	5	II	頂版ハンチ部及びA2側壁にひびわれからの漏水が認められる。ひびわれは貫通しているものと考えられ、耐荷力の低下が懸念されることから予防保全の観点から措置を講ずることが望ましい。	39.160320度	141.196200度
餅田堰水路14号橋	モチタセキウスイロ14コウキョウ	江刺	前田線	1998	2.8	9.1	II	防護柵支柱基部に著しい欠損が認められる。防護柵支持機能が低下しているため、予防保全の観点から措置を講ずることが望ましい。	39.163530度	141.195000度
餅田堰水路12号橋	モチタセキウスイロ12コウキョウ	江刺	後田第2線	1997	3	5.3	II	ボックスがむき出し構造になっているため雨水及び軸荷重の影響を直接受けやすい状態である。継手欠損による漏水の影響によりコンクリート部材劣化が懸念されるため、予防保全の観点から措置を講ずることが望ましい。	39.168420度	141.194810度
日渡1号橋	ヒワタイチゴウキョウ	江刺	小田代線	1977	10.5	4.1	II	桁間の間詰部に遊離石灰の析出がみられる。部分的に錆汁の析出がみられることから、劣化が進展せぬよう予防保全対策を講じるのが望ましい状況。	39.14779度	141.21936度
上中田代橋	カミナカノハシ	江刺	小田代線	1977	10.45	4.05	II	桁間の間詰部に遊離石灰の析出がみられる。前回数検時より劣化が進展しているため、予防保全対策を講じるのが望ましい状況。	39.14569度	141.21803度
田代橋	タノハシ	江刺	北中下田代線	不明	10.5	5.1	II	桁間の間詰部に遊離石灰の析出がみられる。一部でつらら状・錆汁の析出がみられる。予防保全の観点から対策を講じるのが望ましい状況。	39.14378度	141.21670度
大田代橋	オホタノハシ	江刺	大平北線	1970	5	4.2	III	主桁に著しい欠損及び鉄筋露出がみられる。中性化による鉄筋腐食膨張が疑われる。補修後の劣化が早く、早期の対策を講じるのが望ましい。	39.11977度	141.25506度
新家前橋	ニヤマエハシ	江刺	釜ノ沢線	1970	8.5	4.5	II	T桁に鉄筋の露出がみられる。端部漏水がみられる箇所が生じており、鉄筋は腐食しやすい。予防保全の観点から対策を講じるのが望ましい状況。	39.12010度	141.25693度
鍋倉排水路5号橋	ナベクラハスイロ5コウキョウ	江刺	田原後第3線	1998	8.4	5.4	I	道路橋の機能に支障を生じていない状態。	39.17000度	141.18944度
餅田堰水路17号橋	モチタセキウスイロ17コウキョウ	江刺	戸崎自治会館線	1997	5	3.3	I	道路橋の機能に支障を生じていない状態。	39.16833度	141.19500度
餅田堰水路18号橋	モチタセキウスイロ18コウキョウ	江刺	大日前2号線	1998	5	4.3	I	道路橋の機能に支障を生じていない。	39.15944度	141.19500度
餅田堰水路19号橋	モチタセキウスイロ19コウキョウ	江刺	大日前3号線	1998	5	3.6	I	道路橋の機能に支障を生じていない状態。	39.15806度	141.19500度
西山橋	ニシヤマハシ	江刺	境田線	1972	14.3	4	II	橋台堅壁産部に凍害によるコンクリート欠損が生じ、構造上の重大な損傷になる可能性がある。予防保全の観点から対策を講じるのが望ましい状況。	39.18871度	141.22164度
沢田橋	サワタハシ	江刺	沢田線	1971	2	5	II	上・下流側頂版側面に剥離・鉄筋露出が認められる。今後も雨水の影響により進行性は高く鉄筋腐食が懸念されるため、予防保全の観点から措置を講ずることが望ましい。	39.174030度	141.248610度
境田橋	サカイタハシ	江刺	境田ノ口線	1967	5.3	4.6	I	道路橋の機能に支障を生じていない。	39.19352度	141.22316度
下芦ノ口橋	シモアシノクチハシ	江刺	境田ノ口線	1974	2.2	5.4	II	頂版に剥離が認められる。また側壁に漏水が確認された。雨水の影響により、コンクリート部材劣化が懸念されるため、予防保全の観点から措置を講ずることが望ましい。	39.193060度	141.228540度
芦ノ口橋	アシノクチハシ	江刺	向畑芦ノ口線	1974	14.65	4	I	道路橋の機能に支障を生じていない。	39.19223度	141.22685度
平田橋	ヒラタハシ	江刺	平ノ木田線	1973	9.6	4.6	II	防護柵に多数のボルトの脱落や、広範囲の腐食が進展しており、全体的な劣化が見られる。予防保全の観点から対策を講じるのが望ましい状況。	39.19002度	141.23697度
迎井沢橋	ムカイザワハシ	江刺	迎井沢白石沢線	1976	8.5	4.5	I	道路橋の機能に支障を生じていない状態。	39.19316度	141.24839度
後田橋	ウシノハシ	江刺	後田線	1966	5.3	4.6	II	橋台堅壁に漏水による凍害損傷が生じている。ひび幅が広く、水分の進入が考えられ、予防保全の観点から対策を講じるのが望ましい状況。	39.19906度	141.25249度
上後田橋	カミウシノハシ	江刺	山生田線	1966	4	4.2	II	A2橋台基礎部に洗掘が見られる。	39.20404度	141.25591度
久保田橋	クボタハシ	江刺	迎井沢前村線	1972	9.3	3	II	桁間の間詰部に遊離石灰の析出がみられる。部分的な錆汁の析出がみられるため、予防保全の観点から対策が望ましい状況。	39.19181度	141.25077度
久保橋	クボハシ	江刺	寺沢線	1978	4.95	5	I	道路橋の機能に支障を生じていない。	39.19408度	141.25721度
寺沢橋	テラザワハシ	江刺	寺沢線	不明	2.1	5.1	II	頂版及び側壁の継ぎ目に漏水・滞水が認められる。目地部からの漏水は継続的に進行性が高いため、予防保全の観点から措置を講ずることが望ましい。	39.197700度	141.262070度
袖ノ沢橋	スデノザワハシ	江刺	迎井沢本村線	1979	2.5	6	II	上流側側壁前面からの土砂流出が認められる。背面地盤の安全性が懸念されるため、予防保全の観点から措置を講ずることが望ましい。	39.188860度	141.258290度

道路橋名	別名	所在	路線名	架設年度 西暦	橋長 (m)	有効 幅員 (m)	R6	所見等	緯度	経度
本村橋	トキネハシ	江刺	迎井沢本村線	1979	6.1	5	II	地覆の側面に遊離石灰を伴ったひびわれがみられる。側面への漏水は絶えず見られるため、予防保全の観点から対策を講じるのが望ましい。	39.19003度	141.25778度
外ノ沢橋	ウチノサワハシ	江刺	外ノ沢第2線	1971	3.2	4.8	III	A2橋台壁面に漏水(湧水)が見られる。	39.18381度	141.26680度
智福橋	チフクハシ	江刺	智福線	1979	3.7	2	I	道路橋の機能に支障を生じていない状態。	39.18950度	141.26315度
上穴沢橋	カミアナサワハシ	江刺	穴沢線	不明	5	3.3	III	A1、A2橋台壁面に変形・欠損が見られる。	39.19750度	141.25139度
上智福橋	カミチフクハシ	江刺	中智福線	不明	3.4	5.5	I	道路橋の機能に支障を生じていない状態。	39.18827度	141.26480度
水ノ口橋	ミヅノクチハシ	江刺	水ノ口線	不明	4.5	5.1	I	道路橋の機能に支障を生じていない状態。	39.18284度	141.23139度
前田橋	マエダハシ	江刺	前田枝線	1980	8	4.5	II	PC桁下面に鋼材の露出がみられる。部材機能に影響を及ぼす可能性があり、予防保全の観点から対策を講じるのが望ましい。	39.17042度	141.25920度
上前田橋	カミマエダハシ	江刺	前田山線	1970	5	3.6	II	床版の下面に鉄筋露出が生じている。橋齢が50年を超え、コンクリートの中性化等懸念される。予防保全の観点から対策を講じるのが望ましい。	39.16702度	141.26321度
中後田橋	ナカノチノタハシ	江刺	後田白岩線	不明	5	4	II	主桁に遊離石灰を伴うひびわれ、舗装に土砂詰まりが見られる。	39.20328度	141.25503度
浅倉橋	アサクラハシ	江刺	中浅倉線	1979	6	5.5	II	主桁にひびわれ、舗装に土砂詰まりが見られる。	39.19367度	141.29929度
河童川橋	カハガハシ	江刺	石屋敷宇津良線	1974	10.4	4	II	桁間の間詰部に遊離石灰の析出がみられる。今後も劣化進展が想定されるため、予防保全の観点から対策を講じるのが望ましい。	39.18772度	141.30562度
火石橋	ヒシハシ	江刺	火石線	1976	5.6	5	I	道路橋の機能に支障を生じていない。	39.19286度	141.31998度
下八幡橋	シモヤシロハシ	江刺	荒谷線	不明	8.1	2.7	I	道路橋の機能に支障が生じていない。	39.18171度	141.30179度
下芦沼橋	シモアシノハシ	江刺	御堂芦沼線	不明	2.7	5.5	II	頂版及び側壁に、目地部からの漏水・遊離石灰が認められる。また側壁と底版ハンチ部の打継ぎ目付近に錆汁が認められ、腐食の進行によりコンクリート部材劣化が懸念されるため、予防保全の観点から措置を講ずることが望ましい。	39.165810度	141.286800度
戸原前橋	トハラノマエハシ	江刺	芦沼線	1978	5.9	5.5	II	頂版及び側壁に広がりのあるひびわれが認められる。軸荷重の繰り返しにより進行性が高まると考えられることから、予防保全の観点から措置を講ずることが望ましい。	39.169010度	141.292320度
荒谷橋	アラヤハシ	江刺	上町線	1982	10.25	4.3	I	道路橋の機能に支障を生じていない。	39.18094度	141.30617度
上小畑橋	カミコノエハシ	江刺	隅川枝線	1971	4.5	4	II	A1A2橋台壁、基礎部(パイルベント)に剥離・鉄筋露出、地覆に変形・欠損が見られる。	39.16060度	141.30828度
和野橋	ワノハシ	江刺	和野二渡線	1974	12.9	4.5	II	橋台に凍害の進展によるコンクリート欠損がみられる。止水性を高めるなど、予防保全対策を講じるのが望ましい状態。	39.16796度	141.33021度
大石橋	オオシハシ	江刺	久保線	1974	11	3.6	II	防護欄に著しい腐食がみられる。劣化が進展すると部材強度に影響を及ぼす可能性がある。予防保全の観点から対策を講じるのが望ましい。	39.15869度	141.32255度
野口橋	ノグチハシ	江刺	地ノ神久保線	1974	13.4	5.1	II	桁間の間詰部に遊離石灰の析出がみられる。橋面舗装状況より、さらに劣化が進展する可能性が高い。予防保全対策を講じるのが望ましい状態。	39.16974度	141.33683度
口沢橋	クチサワハシ	江刺	上口沢線	不明	3	7	II	頂版及び側壁目地部から漏水・滞水が認められる。またA2側壁側面にうきが確認され、水の供給によりコンクリート部材の劣化が懸念されるため、予防保全の観点から措置を講ずることが望ましい。	39.161220度	141.365010度
上口沢橋	カミクチサワハシ	江刺	上口沢線	不明	2.4	7	II	上流側スパンの頂版及び側壁にひびわれが認められる。ひび割れ幅は0.1mmと微細ではあるが、ボックス全体が水蒸気により湿っていることから進行性は高いと考える。また、側壁に鉄筋露出が確認され、漏水の影響により腐食が速まり耐荷力の低下が懸念されるため、予防保全の観点から措置を講ずることが望ましい。	39.161240度	141.364940度
玉川橋	タマガハシ	江刺	玉川線	1974	10.5	5	II	橋台翼面に鉄筋露出やひびわれ等が生じている。損傷が生じやすく、劣化進展もみられる。予防保全対策を講じるのが望ましい状態。	39.16202度	141.31718度
中小畑橋	ナカコノエハシ	江刺	隅川線	不明	2.2	6.2	II	頂版及び側壁目地部から漏水・滞水及び継手(目地材)の欠損が認められる。目地部欠損によりコンクリート部材劣化が高まると考えられるため、予防保全の観点から措置を講ずることが望ましい。	39.161610度	141.309480度
隅川橋	スミガハシ	江刺	隅川線	1971	9.5	4	II	桁間の間詰部に遊離石灰の析出がみられ、橋面舗装状況より、劣化が進展する可能性が高い。予防保全の観点から対策を講じるのが望ましい。	39.15950度	141.31190度
上隅川橋	カミスミガハシ	江刺	隅川線	1971	7.5	4	II	床版に鉄筋露出が生じている。凍害の進展などによるもので進展性のある損傷である。予防保全の観点から対策を講じるのが望ましい。	39.16006度	141.31403度
上古館橋	カミユダガハシ	江刺	玉川古館線	不明	9.8	2.4	III	主桁、地覆に剥離・鉄筋露出が見られる。	39.16196度	141.32212度
松田橋	マツダハシ	江刺	玉川古館線	不明	9.2	2.4	I	道路橋の機能に支障が生じていない。	39.16178度	141.32297度
地ノ神橋	チノカミハシ	江刺	地ノ神線	2019	7.9	4	I	健全であり、部材の機能に支障が生じていない状態。	39.168827度	141.33230度
中浅倉橋	ナカアサクラハシ	江刺	中浅倉枝線	不明	6	3.5	III	A1A2橋台基礎部(パイルベント)に移動・傾斜が見られる。	39.19361度	141.29755度
中八幡橋	ナカヤシロハシ	江刺	八幡線	1974	6.5	4.5	II	防護欄に接触による変形がみられる。全体に腐食も生じており、部材機能に影響が生じる可能性がある。予防保全対策を講じるのが望ましい。	39.18326度	141.30220度
新田橋	シンデンハシ	江刺	新田線	1986	8	4.5	I	道路橋の機能に支障を生じていない。	39.17705度	141.31578度
芦沢川1号橋	アシザワガウ1号橋	江刺	館下枝線	不明	2.7	3.5	I	頂版に雨水等による漏水・滞水が局部的に認められるが、道路橋の機能に支障は生じていない状態である。	39.171480度	141.296190度
八幡橋	ヤシロハシ	江刺	八幡町裏線	1962	8.3	9.4	III	主桁にせん断ひびわれ及び著しい鉄筋露出が認められる。せん断破壊は脆性的で急激に進行し危険性が高いことから、構造の機能に支障が生じる可能性があり早期に措置を講ずべき状態である。	39.182370度	141.302410度
吉歌業橋	ヨシカノハシ	江刺	吉歌業線	1972	6.9	4.5	II	主桁及び梁部に剥離が認められる。主桁下面が全体的に湿気していることから、コンクリート部材の劣化の進行性は高いと考えられるため予防保全の観点から措置を講ずることが望ましい。	39.176960度	141.368490度
二股橋	フタマタハシ	江刺	山本線	1971	12.1	4	III	桁間の間詰部に遊離石灰の析出がみられる。部分的に錆汁・つらら状に析出しているため、早期に対策を講ずるべき状態である。	39.20624度	141.34717度
中沢橋	ナカサハシ	江刺	中沢線	1972	11	4	I	道路橋の機能に支障を生じていない。	39.23402度	141.32684度
上中沢橋	カミナカサハシ	江刺	中沢線	1972	5	4.8	I	道路橋の機能に支障を生じていない。	39.23656度	141.34004度
戸中橋	トチウハシ	江刺	中沢線	1972	3.8	5	II	頂版全体的に漏水・滞水が認められる。コンクリート部材劣化の原因となり得るため予防保全の観点から措置を講ずることが望ましい。	39.231700度	141.348820度
小里原橋	コサハラハシ	江刺	精神合線	1980	5.3	5	II	橋台壁面の角部に凍害による欠損がある。進展性のある損傷で、部材機能に影響を及ぼす可能性がある。予防保全対策を講じるのが望ましい。	39.23915度	141.34404度
北新田橋	キタシンデンハシ	江刺	精神合線	1972	11.4	3.4	I	道路橋の機能に支障を生じていない。	39.25013度	141.33470度
上大内沢橋	カミオウチサワハシ	江刺	上大内沢線	1976	7.6	6	II	RCT桁に多数の鉄筋露出がみられる。構造上の影響が生じる可能性のある損傷であるため、予防保全対策を講じるのが望ましい。	39.24995度	141.33225度
太田橋	オオタハシ	江刺	太田線	1980	3.1	5.1	III	頂版及び側壁に最大0.5mm幅のひびわれが多数認められ、部分的に角落ちが確認された。また地覆に広範囲な欠損が認められ、防護欄支持機能が低下していることから、道路利用者被害を及ぼす恐れがあり、構造機能に支障が生じる可能性があるため、早期に措置を講ずる事が望ましい。	39.273480度	141.321360度
荒谷橋	アラヤハシ	江刺	小沢線	1978	10.4	5	II	桁間の間詰部に遊離石灰の析出がみられる。部分的につらら状の析出がみられるため、劣化が進展せぬよう防水層の設置等が望まれる。	39.23896度	141.31725度
九才坂橋	クサイザカハシ	江刺	二股線	1971	11.4	2	III	橋台壁面に流水洗刷によるコンクリート欠損が見られる。構造上の影響が生じる可能性がある損傷であり、早期の対策を講じるのが望ましい。	39.20691度	141.34350度
下兄和田橋	シモニワダハシ	江刺	兄和田線	2016	6.96	4	I	道路橋の機能に支障を生じていない。	39.22020度	141.29652度
松倉前橋	マツクラマエハシ	江刺	牛沢線	1982	2.7	5.5	II	舗装面路肩及び底版に土砂堆積が認められる。また舗装面にひびわれが確認された。頂版上面の劣化が懸念されるため、予防保全の観点から措置を講ずることが望ましい。	39.227010度	141.229730度
大松橋	オオマツハシ	江刺	大松沢線	1973	3	5	I	舗装面にひびわれ及び路肩に土砂堆積が認められるため、道路利用者の安全性の観点から維持工事にて対応することが望ましい。	39.230980度	141.241910度
中平橋	ナカヘラハシ	江刺	青森線	1978	8.4	3.6	II	主桁に遊離石灰を伴ったひびわれがみられる。劣化が進展すると重大損傷につながる。予防保全の観点から対策を講じるのが望ましい。	39.22959度	141.24585度
小菅生橋	コサダハシ	江刺	天神線	1980	6.3	5	II	主桁に遊離石灰を伴ったひびわれが生じており、橋面環境をみるに劣化は進行する恐れがある。予防保全の観点から対策を講じるのが望ましい。	39.23586度	141.25676度
火石沢橋	ヒシザワハシ	江刺	白山通火石沢線	1973	2.1	3.5	II	主桁に剥離・鉄筋露出が見られる。かぶり不足が原因と推定される。状況に応じて補修を行うことが望ましい。	39.227175度	141.263000度
三百刈田橋	サンヒヤカリタハシ	江刺	老耳第二線	2017	6.7	5	I	道路橋の機能に支障が生じていない。	39.21297度	141.23461度
向宿橋	ムカヨクハシ	江刺	向宿中上野線	1972	3.1	2.4	II	A2側壁に幅30mm程度の水平方向のひびわれが認められる。また側壁端部及び下部に断面欠損が確認され、耐荷力の低下が懸念されるため予防保全の観点から措置を講ずることが望ましい。	39.220630度	141.240330度
次丸沢橋	ツギマルザワハシ	江刺	合野線	1973	4	3.1	II	主桁に剥離・鉄筋露出が見られる。	39.21327度	141.24924度
長倉橋	ナガクラハシ	江刺	長白線	1973	14.5	3	II	桁間の間詰部に遊離石灰の析出がみられる。部分的に錆汁の析出がみられる。予防保全の観点から対策を講じるのが望ましい。	39.22003度	141.27161度
馬馳橋	ウマセハシ	江刺	七尋石線	1978	2.2	5.6	I	舗装面及び地覆に土砂堆積が認められるため、維持工事にて対応することが望ましい。	39.222190度	141.291620度
箕沢橋	タマザワハシ	江刺	箕沢線	1978	6.3	5.9	I	道路橋の機能に支障を生じていない。	39.19769度	141.22211度
前林橋	マエヤシロハシ	江刺	前畑線	不明	5.8	4.2	II	A1橋台基礎部に洗堀が見られる。	39.21289度	141.27967度
小菅生向橋	コサダムカサハシ	江刺	小菅生白山通線	1980	8.5	2.7	II	A1側壁橋座の隅部に欠損がみられる。新規の凍害によるコンクリート欠損である。劣化が進展しないよう予防保全対策を講じるのが望ましい。	39.23672度	141.25905度
大森前橋	オオモリマエハシ	江刺	東大森前線	不明	5	3	I	道路橋の機能に支障を生じていない状態。	39.22435度	141.23220度
下箕沢橋	江刺	老耳循環線	不明	5	3.4	III	主桁に遊離石灰を伴うひびわれが見られる。	39.19643度	141.22193度	
玉崎橋	タマザキハシ	江刺	玉崎2号線	不明	3.3	2.7	I	道路橋の機能に支障が生じていない。	39.21585度	141.21525度
南野橋	ミナノハシ	江刺	南野線	1983	2.5	5.3	II	胸壁にひびわれが見られる。地震が原因と推測され、予防保全の観点から補修を行うことが望ましい。	39.247186度	141.27692度
中南野橋	ナカミナノハシ	江刺	南野線	1983	2.6	5	II	橋台に新設コンクリートの継ぎ足し部におけるひびわれ及び剥離・鉄筋露出が見られる。ひびわれについては、施工不良が原因と推測され、予防保全の観点から補修を行うことが望ましい。	39.246944度	141.278333度
小林橋	コバヤシロハシ	江刺	栗生沢線	1973	5.2	5.2	II	主桁に凍害によるコンクリート欠損が見られる。重大損傷につながる可能性がある損傷である。予防保全の観点から対策を講じるのが望ましい。	39.26207度	141.27697度
栗生沢1号橋	クリノサワ1号橋	江刺	栗生沢線	不明	2.5	6	I	舗装面にひびわれ及び路面の凹凸が認められる。維持工事にて対応することが望ましい。	39.265440度	141.281530度
市道橋	イチヂハシ	江刺	市道線	1973	5	2.8	II	主桁にひびわれ、A1A2橋台壁面に剥離が見られる。	39.26675度	141.28014度
砥谷沢橋	ツルヤハシ	江刺	砥谷沢線	1973	2.2	3	II	下流側頂版側面に遊離石灰(錆汁)を伴うひびわれ及び鉄筋露出が認められる。広範囲に錆汁が発生していることから内部鉄筋が腐食しているものと推定され、耐荷力の低下が懸念されることから、予防保全の観点から措置を講ずることが望ましい。	39.280820度	141.282540度
神明橋	シノミハシ	江刺	中田線	1980	3.8	7.1	II	頂版及び側壁に幅0.20~0.4mmの床版ひびわれ・ひびわれが見られる。ひびわれ幅が広いので、予防保全の観点から措置を講じるのが望ましい。	39.282777度	141.271666度
越田橋	コシダハシ	江刺	中田越田線	不明	2.2	4.7	I	舗装面にひびわれが認められるが、道路橋の機能に支障が生じていない状態である。	39.293280度	141.283350度
堀沢橋	ホリサハシ	江刺	大内田線	1973	8.4	4.5	II	桁間の間詰部に遊離石灰の析出がみられる。今後も進展の可能性があることから、予防保全の観点から対策を講じるのが望ましい。	39.29648度	141.26703度
二渡橋	ニワダハシ	江刺	晴山線	1973	6.3	6.5	II	橋台に遊離石灰、防護欄に腐食が見られる。凍害による影響が懸念されるため、予防保全の観点から措置を講ずることが望ましい。	39.290555度	141.280833度
野田橋	ノダハシ	江刺	晴山線	1973	2.4	6.9	II	側壁に剥離・鉄筋露出、地覆に幅1.4mmのひびわれが見られる。剥離・鉄筋露出は水深が上がると凍害の影響を受けやすい位置にある損傷であることから、予防保全の観点より速やかに補修することが望ましい。	39.294722度	141.257222度

道路橋名	アカナ	所在	路線名	架設年度 西暦	橋長 (m)	有効幅員 (m)	R6	所見等	緯度	経度
久田橋	キウテンハン	江刺	東沢目線	1975	7	7	II	床版及び壁壁に漏水・遊離石灰がみられる。床版にて局部的につらら状も見られることから、予防保全の観点より速やかに補修することが望ましい。	39.300000度	141.268888度
寺田橋	テラダハン	江刺	金成線	1973	5.1	4	I	道路橋の機能に支障は生じていない。	39.30179度	141.27339度
網田前橋	アミタマエハン	江刺	堂田線	不明	6	4.3	I	道路橋の機能に支障が生じていない。	39.28667度	141.27519度
中野橋	ナカノハン	江刺	栗生沢枝線	不明	3	3.1	II	頂版にひびわれ及び剥離・鉄筋露出が認められる。損傷部に雨水が滞りやすく、放置するとコンクリート部材の損傷を助長する要因となるため、予防保全の観点から措置を講ずることが望ましい。	39.280160度	141.281610度
下久田橋	シモキウテンハン	江刺	久田枝線	1973	6.3	3.5	II	橋台胸壁から橋座部に於けるコンクリート欠損がみられる。劣化の進行が見られることから、予防保全対策を講じるのが望ましい。	39.29931度	141.26732度
堂ノ前1号橋	ドウノマエ1号橋	江刺	梁川地藏堂線	不明	10	3.1	II	P1橋脚梁部下面に剥離・鉄筋露出が認められる。雨水の影響を受けやすく、鉄筋の腐食が著しく進行していることから、コンクリート部材劣化が懸念されるため、予防保全の観点から措置を講ずることが望ましい。	39.246470度	141.262390度
堂ノ前橋	ドウノマエハン	江刺	梁川地藏堂線	不明	10.1	3.2	I	道路橋の機能に支障が生じていない。	39.24718度	141.26532度
下中田橋	シモナカハン	江刺	水角線	2016	4.5	4	I	道路橋の機能に支障を生じていない。	39.28477度	141.27206度
西川目橋	ニシカワメハン	江刺	西川目線	1978	7.3	4	I	道路橋の機能に支障を生じていない。	39.26241度	141.18313度
笹倉橋	ササクラハン	江刺	笹倉線	1998	6.3	6.7	II	桁間の間詰部に遊離石灰の析出がみられる。部分的に錆汁の析出がみられるため、予防保全の観点から対策を講じるのが望ましい。	39.26445度	141.18171度
上笹倉橋	ウエササクラハン	江刺	笹倉線	1973	6.3	4	III	桁間の間詰部に遊離石灰の析出がみられる。部分的に錆汁の析出がみられ、劣化が進展しやすい環境にあり、早期の対策が望ましい。	39.26829度	141.17907度
鴨ヶ崎橋	カモガサキハン	江刺	鴨ヶ崎線	1977	6.15	2.6	I	道路橋の機能に支障を生じていない。	39.24643度	141.230278度
荒谷橋	アラヤハン	江刺	荒谷谷地田線	1977	10.9	2.6	III	PC桁に著しいコンクリート剥離・欠損が進展している。部材機能に影響が生じており、今後の進展も想定される。早期の対策を講じるのが望ましい。	39.24569度	141.23461度
上落合橋	ウエオチアイハン	江刺	鶴巻枝線	1978	6.3	4	I	道路橋の機能に支障を生じていない。	39.25838度	141.19012度
小倉沢橋	コクラザハン	江刺	邑田線	1973	9.4	6.5	III	橋台壁から橋座部にコンクリート欠損が生じている。進展性が見られることから、早期対策が望ましい。	39.23332度	141.16681度
谷合田橋	タニアイダハン	江刺	邑田線	1973	8.4	6.5	II	橋座部に凍害によるコンクリート欠損が見られる。新規模状で、今後の劣化の進展も想定される。予防保全対策を講じるのが望ましい。	39.23791度	141.16798度
上六堂橋	ジョウトウハン	江刺	邑田線	1973	6.6	5.8	III	T桁に著しいひびわれや錆汁の析出がみられる。前回の点検からの進展がみられ、劣化の進展速度は速いと思われる。早期の対策が望ましい。	39.24120度	141.16974度
邑田橋	イノエハン	江刺	下台柏原邑田線	1973	7.3	4.6	II	橋台に凍害によるコンクリート欠損が見られる。支那に近い部分の損傷であり、予防保全の観点から対策を講じるのが望ましい。	39.25218度	141.16807度
時森橋	トキモハン	江刺	佐野線	1980	5	5.35	II	桁間の間詰部に遊離石灰の析出がみられる。PC桁に影響を及ぼす可能性がある。予防保全の観点から対策を講じるのが望ましい。	39.21302度	141.16673度
中島排水路9号橋	ナカジマ排水路9号橋	江刺	大文字線	1978	5.3	6.5	II	床版に漏水・遊離石灰、橋台に剥離・防護欄に腐食がみられる。凍害の影響が懸念されるため、予防保全の観点から措置を講ずることが望ましい。	39.204722度	141.135833度
中島排水路10号橋	ナカジマ排水路10号橋	江刺	三丁川添線	1978	5.3	4	II	PC桁本体にコンクリート欠損が見られ、鋼材の露出がみられる。予防保全の観点から対策を講じるのが望ましい。	39.20659度	141.13507度
宝祿排水路6号橋	ホウロク排水路6号橋	江刺	広岡前水門線	1973	6	4.2	II	主桁に剥離・鉄筋露出、舗装に土砂詰まりが見られる。	39.21013度	141.15613度
江刺幹線用水路6号橋	エシカクセンノウスイロ6号橋	江刺	岩瀬橋八幡線	1972	3.8	8.5	I	舗装の路面の凹凸は、維持工事で対応することが望ましい。	39.21434度	141.158819度
江刺幹線用水路8号橋	エシカクセンノウスイロ8号橋	江刺	谷地大文字線	1972	3.8	7	I	舗装の路面の凹凸は、維持工事で対応することが望ましい。	39.21735度	141.14856度
江刺幹線用水路7号橋	エシカクセンノウスイロ7号橋	江刺	下台別当線	1972	2.4	8.3	I	防護欄に腐食と防食機能の劣化、変形が見られる。外力が生じない限りは進行することはないが、状況に応じて補修を行うことが望ましい。	39.215027度	141.156388度
宝祿排水路4号橋	ホウロク排水路4号橋	江刺	宝祿線	1973	5.2	6.5	III	主桁・横桁にコンクリートのジャンカがみられ、鉄筋露出がみられる。伸縮継ぎ目があり、鉄筋腐食が進みやすい。早期の対策を講じるのが望ましい。	39.20200度	141.15650度
江刺幹線用水路10号橋	エシカクセンノウスイロ10号橋	江刺	高ノ木正源寺台線	1969	5.5	5.5	II	橋台壁面に鉄筋露出がみられ、腐食を伴っている。流水洗刷によるコンクリート欠損であり、予防保全対策を講じるのが望ましい。	39.21927度	141.13314度
瀬谷子川2号橋	セヤコガワ2号橋	江刺	高ノ木正源寺台線	1965	9.6	5.6	II	桁間の間詰部に遊離石灰の析出がみられる。劣化の進展がみられ、予防保全の観点から対策を講じるのが望ましい。	39.22636度	141.14130度
江刺幹線用水路12号橋	エシカクセンノウスイロ12号橋	江刺	日高深山線	1969	8.4	6.15	II	桁間の間詰部に遊離石灰の析出がみられる。損傷が広範囲に生じており、予防保全対策を講じるのが望ましい。	39.22799度	141.13229度
中島排水路8号橋	ナカジマ排水路8号橋	江刺	沼館中島線	1978	5.3	5	II	防護欄のレール端部に著しい欠損が見られる。部材機能に影響が生じる可能性があり、予防保全の観点から対策を講じるのが望ましい。	39.20331度	141.13769度
中島排水路11号橋	ナカジマ排水路11号橋	江刺	沼館中島線	1978	5.8	5	I	道路橋の機能に支障を生じていない。	39.20757度	141.13603度
中島排水路7号橋	ナカジマ排水路7号橋	江刺	沼館宝祿線	1978	5.3	5	II	桁間の間詰部に遊離石灰の析出がみられる。部分的につらら状の析出がみられる。予防保全の観点から対策を講じるのが望ましい。	39.20189度	141.13956度
宝祿排水路7号橋	ホウロク排水路7号橋	江刺	川添線	1973	6.5	5	II	パラペットの天端が欠損により防護欄基礎が露出している。防護欄の機能に支障が生じないよう予防保全の観点から補修が望ましい。	39.21291度	141.15578度
江刺幹線用水路9号橋	エシカクセンノウスイロ9号橋	江刺	谷地線	1972	3.7	8.2	I	道路橋の機能に支障を生じていない。	39.21757度	141.14611度
江刺幹線用水路13号橋	エシカクセンノウスイロ13号橋	江刺	広岡前線	1975	3	2	I	道路橋の機能に支障が生じていない。	39.21368度	141.150869度
江刺幹線用水路14号橋	エシカクセンノウスイロ14号橋	江刺	谷地大文字1号線	1972	2.6	8.2	I	道路橋の機能に支障を生じていない。	39.215716度	141.154050度
広岡前橋	ヒロオカマエハン	江刺	広岡前大文字線	1973	5.9	4	II	地覆の端部に欠損がみられる。前回「うき」がみられていた箇所が進展しており、今後の進展も予想される。予防保全対策を講じるのが望ましい。	39.21156度	141.15591度
宝祿排水路9号橋	ホウロク排水路9号橋	江刺	二丁目宝祿線	1973	6	4.2	I	道路橋の機能に支障が生じていない。	39.20553度	141.15655度
宝祿排水路8号橋	ホウロク排水路8号橋	江刺	二丁目宝祿中央線	1973	6	4.2	III	主桁に剥離・鉄筋露出が見られる。	39.20326度	141.15703度
江刺幹線用水路15号橋	エシカクセンノウスイロ15号橋	江刺	鶴羽衣1号線	1974	3.8	6.6	I	道路橋の機能に支障は生じていない。	39.21783度	141.14363度
江刺幹線用水路16号橋	エシカクセンノウスイロ16号橋	江刺	鶴羽衣2号線	1974	3.8	9.9	I	道路橋の機能に支障は生じていない。	39.21805度	141.141169度
江刺幹線用水路17号橋	エシカクセンノウスイロ17号橋	江刺	鶴羽衣3号線	1974	3.8	8.5	II	主桁に剥離・鉄筋露出が見られる。進行性がある損傷と考えられ、予防保全の観点から補修を行うことが望ましい。	39.21796度	141.13871度
江刺幹線用水路20号橋	エシカクセンノウスイロ20号橋	江刺	下台八幡線	1972	3.5	4	II	主桁に剥離・鉄筋露出、防護欄に腐食が見られる。	39.21474度	141.157575度
宝祿排水路10号橋	ホウロク排水路10号橋	江刺	梨ノ木棒枝線	1973	6	4.2	I	道路橋の機能に支障を生じていない。	39.20817度	141.15598度
江刺幹線用水路21号橋	エシカクセンノウスイロ21号橋	江刺	鶴羽衣4号線	1975	4	5	II	主桁に剥離・鉄筋露出、排水管に土砂詰まりが見られる。	39.21795度	141.136255度
瀬谷子川3号橋	セヤコガワ3号橋	江刺	高丘住吉線	1965	6.7	4.5	I	道路橋の機能に支障を生じていない。	39.23554度	141.14859度
江刺幹線用水路22号橋	エシカクセンノウスイロ22号橋	江刺	瀬谷子山下線	1975	8.6	3.5	II	桁間の間詰部に遊離石灰の析出がみられる。部分的な錆汁の析出が生じている。予防保全の観点から対策を講じるのが望ましい。	39.22512度	141.13286度
江刺幹線用水路11号橋	エシカクセンノウスイロ11号橋	江刺	水稲採取ほ場線	1972	3.8	7.2	I	道路橋の機能に支障は生じていない。	39.21678度	141.150963度
柳沢橋	ヤナギザワハン	水沢	明神堂前線	1996	2.4	3	II	頂版に漏水・遊離石灰、側壁にひびわれがみられる。遊離石灰、漏水については比較的広範囲であり、今後凍害の影響を受ける可能性が高いため、予防保全の観点から措置を講ずることが望ましい。	39.156944度	141.089166度
中ノ目橋	ナカノメハン	水沢	玉ノ木明神堂線	1994	7.7	5	I	道路橋の機能に支障は生じていない。	39.15861度	141.091666度
大田橋	オホタハン	水沢	駒板三ツ谷線	1994	9.3	5	II	主桁に剥離・鉄筋露出が見られる。	39.16000度	141.093333度
田中橋	タナカハン	水沢	中ノ目西田中線	1990	11.4	6	I	道路橋の機能に支障を生じていない。	39.163333度	141.098889度
権現堂橋	ゴンデンドウハン	水沢	権現堂前線	1994	6	5	I	道路橋の機能に支障を生じていない。	39.16416度	141.10114度
荒谷橋	アラヤハン	水沢	権現堂西深田線	1994	7.7	4	I	道路橋の機能に支障を生じていない。	39.165278度	141.103056度
塚橋	ツカハン	水沢	雲南舟塚線	1993	6.7	4	I	道路橋の機能に支障を生じていない。	39.16559度	141.10457度
船塚橋	フナヅカハン	水沢	満倉永岡線	1993	7.6	4	I	道路橋の機能に支障を生じていない。	39.165833度	141.106389度
合ノ町橋	アイマチハン	水沢	御町石線	1992	11	12.4	I	道路橋の機能に支障は生じていない。	39.168055度	141.111111度
道場橋	ドウバハン	水沢	東田中宿線	1992	10.6	3.8	I	道路橋の機能に支障を生じていない。	39.171111度	141.115833度
笛島橋	フエノコハン	水沢	高瀬側道西4号線	1982	11.9	6	I	道路橋の機能に支障を生じていない。	39.171667度	141.117778度
環状線橋	カンジョウセンハン	水沢	佐野環状線	1990	11.6	6	I	道路橋の機能に支障を生じていない。	39.173056度	141.119222度
植田橋	ウエダハン	水沢	北宮田高田線	1992	9.6	5	II	床版に浸透水が要因と思われる遊離石灰が見られる。予防保全の観点から補修することが望ましい。	39.177778度	141.125833度
彼岸田橋	ヒガンダハン	水沢	大曾根高田線	1988	8.1	5	I	道路橋の機能に支障を生じていない。	39.178889度	141.128056度
四月橋	シガツハン	水沢	龜石高田線	1988	10.4	3.3	I	道路橋の機能に支障を生じていない。	39.179141度	141.12997度
十月橋	ジュウグツハン	水沢	四月十月線	1988	3.6	5.6	II	頂版に遊離石灰の析出、側壁に幅0.2mmのひびわれ、舗装に段差28mmの路面の凹凸が見られる。予防保全の観点から措置を講ずることが望ましい。	39.179444度	141.130833度
沼ノ町橋	ヌマノマチハン	水沢	沼田沼ノ町線	1987	3.7	2.5	II	頂版に漏水・遊離石灰、側壁にひびわれがみられる。予防保全の観点から速やかに補修を行うことが望ましい。	39.182222度	141.136666度
二月橋	ニガツハン	水沢	八幡本線	1987	3.4	2.5	II	頂版、側壁に漏水と遊離石灰が見られる。予防保全の観点から措置を講ずることが望ましい。	39.180000度	141.138888度
鍛冶屋敷橋	カジヤシキハン	水沢	龜石高田線	1984	4.4	3	II	主桁の横絡め鋼材に腐食、舗装に土砂詰まりが見られる。	39.17457度	141.13277度
大田橋	オホタハン	水沢	北下巾線	1994	3.3	14.1	I	道路橋の機能に支障を生じていない。	39.154166度	141.089166度
玉ノ木1号橋	タマキイコウハン	水沢	玉ノ木大田線	1994	3.3	6.4	II	頂版、側壁に剥離が見られる。予防保全の観点から措置を講ずることが望ましい。	39.156111度	141.089166度
玉ノ木3号橋	タマキサンゴウハン	水沢	五味田大田線	1994	3.3	6	II	頂版及び側壁に漏水、防護欄に変形が見られる。漏水は比較的広範囲の発生であり、今後凍害の影響を受ける可能性が高いため、予防保全の観点から措置を講ずることが望ましい。	39.157777度	141.094444度
橋の木橋	ハシノキハン	水沢	権現堂前線	1989	10.5	6	I	道路橋の機能に支障を生じていない。	39.159444度	141.098333度
崩橋	クズレハン	水沢	大上一本木線	1974	9	3	II	主桁に剥離・鉄筋露出、舗装に路面の凹凸が見られる。	39.16083度	141.10555度
盛河橋	モリカワハン	水沢	西高山西八反町線	1997	6	3.2	I	道路橋の機能に支障を生じていない。	39.16103度	141.11377度

道路橋名	フカナ	所在	路線名	架設年度 西暦	橋長 (m)	有効 幅員 (m)	R6	所見等	緯度	経度
西広町西橋	ニシロマンチンハン	水沢	高速側道西4号線	1979	10.5	6.1	I	道路橋の機能に支障を生じていない。	39.161111度	141.16667度
西広町東橋	ニシロマンチンハン	水沢	高速側道東4号線	1977	10.5	3	I	道路橋の機能に支障を生じていない。	39.161111度	141.17222度
染屋橋	ソメヤハン	水沢	西広町熊野堂線	1997	8.2	4.4	I	道路橋の機能に支障を生じていない。	39.16105度	141.1915度
西館橋	ニシダテハン	水沢	水山東高山線	1997	7.3	15	I	道路橋の機能に支障を生じていない。	39.161111度	141.12194度
東高山上の橋	ヒガシカヤマカミノハン	水沢	東高山1号線	1997	6.8	4.4	I	道路橋の機能に支障を生じていない。	39.16111度	141.12388度
東高山橋	ヒガシカヤマハン	水沢	東高山本線	1978	9.4	9.5	II	頂版、側壁にひびわれ、舗装に路面の凹凸が見られる。予防保全の観点から措置を講ずることが望ましい。	39.161944度	141.12555度
東高山下の橋	ヒガシカヤマシモノハン	水沢	東高山8合線	1997	3.4	9	II	頂版の全縁ぎ目に剥離、側壁に幅0.2mmのひびわれ、高欄に欠損が見られる。予防保全の観点から措置を講ずることが望ましい。	39.16277度	141.12750度
松堂橋	マツドウハン	水沢	松堂線	1973	8.8	7.6	II	床版につら状の遊離石灰の滲出、排水管に土砂詰まりが見られる。予防保全の観点から措置を講ずることが望ましい。	39.163611度	141.13000度
松堂1号橋	マツドウイチゴウキョウ	水沢	里館西沖ノ目線	1988	8.8	2.5	I	道路橋の機能に支障を生じていない。	39.163611度	141.13000度
東大畑2号橋	ヒガシオホバタゴウキョウ	水沢	甬石道田線	1974	9	3.2	II	下部構造に乾燥収縮によるひびわれ、橋脚梁部にかぶり不足が要因と思われる剥離・鉄筋露出が見られる。進行性のある損傷であり部材への影響が懸念されるため、予防保全の観点から措置を講ずることが望ましい状態。	39.166388度	141.13222度
大畑橋	オホバタハン	水沢	甬石高田線	1993	10.4	3	I	道路橋の機能に支障を生じていない。	39.16989度	141.13561度
中ノ町橋	ナカノマチハン	水沢	甬石高田線	1967	3.3	2.7	II	主桁の横締め鋼材に腐食、袖輪壁(石積み護岸)に変形・欠損が見られる。	39.16310度	141.13979度
北丑沢橋	キタウシザワハン	水沢	北丑沢南久田線	1997	2.6	3.2	II	頂版及び側壁に漏水・遊離石灰が見られる。予防保全の観点からなるべく速やかな補修を行うことが望ましい。	39.15500度	141.14000度
釜石橋	カマシハン	水沢	北丑沢甬石線	1975	2.6	7.1	I	道路橋の機能に支障を生じていない。	39.154166度	141.14277度
五反町北橋	ゴタンチョウキナンハン	水沢	嶋館五反野線	1996	2.2	3.4	I	道路橋の機能に支障を生じていない。	39.15444度	141.14722度
仙人橋	センニンハン	水沢	仙人神明町線	1988	3	9.6	II	側壁に橋面からの浸透水が要因と思われる遊離石灰の滲出および剥離が見られる。予防保全の観点からなるべく速やかな補修を行うことが望ましい。	39.16000度	141.15533度
沢田橋	サワダハン	水沢	仙人2号線	1998	2.6	6.5	II	側壁に凍害が要因と思われる剥離、および遊離石灰を伴ったひびわれが見られる。予防保全の観点から速やかに補修を行うことが望ましい。	39.16027度	141.15611度
笹町橋	ササマチハン	水沢	白井坂線	2001	2.8	10	I	道路橋の機能に支障を生じていない。	39.16277度	141.15222度
前郷橋	サエノウハン	水沢	各残谷地中線	1970	7.4	3.5	II	主桁に浸透水が要因と思われる剥離と遊離石灰が見られる。進行は見られないが、損傷が進行する前に補修することが望ましい。	39.151389度	141.10944度
磯町橋	ソマチハン	水沢	大上一本木線	1995	2.3	3.4	II	頂版に床版ひびわれが見られる。予防保全の観点から措置を講ずることが望ましい。	39.15222度	141.11083度
中央橋	チュウオウハン	水沢	前郷東半郷線	1965	5.4	3.5	II	主桁に浸透水が要因と思われる遊離石灰が見られ。進行は見られないが、予防保全の観点から補修することが望ましい。	39.15250度	141.11278度
東半郷橋	ヒガシハンゴウハン	水沢	寺領西大畑線	1997	2.1	2.2	II	頂版に乾燥収縮が要因と思われるひびわれが見られる。ひびわれ幅が0.35mmと広いため、予防保全の観点から措置を講ずることが望ましい。	39.153055度	141.11527度
平沢橋	ヒラサワハン	水沢	北下市線	1993	4.4	12.6	I	道路橋の機能に支障を生じていない。	39.15444度	141.11666度
平沢西橋	ヒラサワニシハン	水沢	高速側道西4号線	1975	6.9	6	I	道路橋の機能に支障を生じていない。	39.15489度	141.11716度
寺領西橋	シヨウニシハン	水沢	大町石田線	1976	4.2	6.3	I	道路橋の機能に支障を生じていない。	39.145833度	141.11916度
平沢東橋	ヒラサワヒガシハン	水沢	高速側道東4号線	1983	6.9	3	I	道路橋の機能に支障を生じていない。	39.15500度	141.11778度
平沢下の橋	ヒラサワシモノハン	水沢	樋渡西広町線	1993	2.5	4	III	A1・A2側壁に広範囲のひびわれが見られる。構造の安全性の観点から速やかな措置が必要である。	39.15500度	141.12027度
稲荷田橋	イナザダハン	水沢	水山東高山線	1993	2.5	16	II	頂版および側壁にひびわれが見られる。ひびわれは一方であるが、ひびわれ幅が大きいことから、予防保全の観点から、速やかに補修を行うことが望ましい。	39.15527度	141.12277度
五千刈橋	ゴセンカリハン	水沢	水山幅下線	1993	2.3	4	II	頂版および側壁に乾燥収縮が要因と思われるひびわれが見られる。ひびわれ幅が広いため、予防保全の観点から措置を講ずることが望ましい状態。	39.15472度	141.12555度
一本柳橋	イツホナギハン	水沢	二反田幅下線	1992	2.3	5.5	I	道路橋の機能に支障を生じていない。	39.154377度	141.12735度
高瀬上の橋	タカセウヘノハン	水沢	幅下長町線	1991	2.3	5.5	I	道路橋の機能に支障を生じていない。	39.15377度	141.13025度
小石田橋	コイシダハン	水沢	虚空蔵小路小石田線	2002	2.3	9	II	側壁側面に幅3.0mmの遊離石灰を伴うひびわれが見られる。予防保全の観点からなるべく速やかに補修することが望ましい状態。	39.149208度	141.13819度
小石田中橋	コイシダナカハン	水沢	堀の内小石田線	1978	5	4.2	II	主桁にひびわれ、舗装に異常が見られる。	39.14927度	141.13539度
堀の内北橋	ホリノウチキタハン	水沢	谷地明円南丑沢線	1979	4.9	6.6	II	側壁に橋面からの浸透水が要因と思われる遊離石灰の滲出が見られ、舗装全体にひびわれが見られる。予防保全の観点から、速やかに補修を行う必要がある状態。	39.148638度	141.13729度
北葉林橋	キタハヤシハン	水沢	勝手町線	1966	5.7	5.4	I	道路橋の機能に支障を生じていない。	39.15204度	141.13562度
南丑沢橋	ミナウシザワハン	水沢	谷地明円南丑沢線	1990	7.3	8.3	II	床版に浸透水が要因と思われる漏水・遊離石灰が見られる。損傷範囲が広く凍害の影響が懸念されるため、予防保全の観点から措置を講ずることが望ましい。	39.151388度	141.13849度
不断町上の橋	フダナチョウカミハン	水沢	勝手町赤土田線	1982	4.5	9	II	頂版、終点側壁に遊離石灰が見られる。予防保全の観点から措置を講ずることが望ましい。	39.150641度	141.14107度
不断町下の橋	フダナチョウシモノハン	水沢	川口町多賀線	1983	4.4	6	II	頂版に幅0.4mmの床版ひびわれ、側壁に幅0.4mmのひびわれが見られる。予防保全の観点から措置を講ずることが望ましい。	39.150338度	141.14247度
多賀橋	タガハン	水沢	中町多賀線	1980	7.5	13.3	I	道路橋の機能に支障を生じていない。	39.150278度	141.14472度
五反町橋	ゴタンチョウハン	水沢	川原田登田線	1989	11.4	8	I	道路橋の機能に支障を生じていない。	39.15222度	141.14750度
高谷橋	タカヤハン	水沢	梨田川高谷線	1996	9.3	3.5	I	道路橋の機能に支障を生じていない。	39.15421度	141.15405度
梨田川橋	ナシダカワハン	水沢	梨田川南桜沢2号線	1995	8.5	2.5	I	道路橋の機能に支障を生じていない。	39.15443度	141.15647度
那須川橋	ナス川ハン	水沢	仙人神明町線	1983	8	9.5	II	A1・A2橋台壁に漏水、地覆に凍害が要因とされる剥離が広範囲にみられる。予防保全の観点から措置を講ずることが望ましい。	39.154161度	141.15829度
中田前橋	ナカタマエハン	水沢	東袖ノ目杉ヶ崎線	1996	4.4	5	II	頂版及び側壁に幅0.3～0.35mmのひびわれが見られる。部分的に角落ちもみられ、前点検時からの損傷の進行も見られるため、予防保全の観点から措置を講ずることが望ましい。	39.150850度	141.163813度
東袖ノ目橋	ヒガシツノメハン	水沢	東袖ノ目久根妻線	1993	10.4	3	I	道路橋の機能に支障を生じていない。	39.15000度	141.16611度
船渡谷記橋	フナワリニキハン	水沢	前田久根妻線	1993	11	4	I	道路橋の機能に支障を生じていない。	39.148889度	141.166389度
足袋針橋	タビハシハン	水沢	西光田大明神1号線	1990	10.6	8.7	I	道路橋の機能に支障を生じていない。	39.142030度	141.113805度
桜川橋	サクラガワハン	水沢	桜川南矢中線	1973	9.6	3	II	主桁に剥離・鉄筋露出、床版に床版ひびわれ、支承に腐食、舗装に土砂詰まりが見られる。	39.14254度	141.11702度
後田橋	ウシロダハン	水沢	高速側道西3号線	1982	11.2	3.9	I	道路橋の機能に支障を生じていない。	39.143889度	141.11944度
水山橋	ミズヤマハン	水沢	水山東高山線	1993	8.3	3	I	道路橋の機能に支障を生じていない。	39.14488度	141.12323度
前田袋橋	マエタフクロハン	水沢	大町石田線	1983	7	7.1	I	道路橋の機能に支障を生じていない。	39.14622度	141.12609度
堤谷地3号橋	ツツミヤチサンゴウキョウ	水沢	中野線	1984	7.3	8.8	II	防護柵に経年劣化が要因と推定される腐食が見られる。損傷範囲が広いため、予防保全の観点から措置を講ずることが望ましい。	39.105555度	141.168333度
田畑3号橋	タハタサンゴウキョウ	水沢	田畑樋ノ口線	不明	3.2	6.2	I	道路橋の機能に支障を生じていない。	39.12444度	141.17277度
北野橋	キタノハン	水沢	杉ノ下北野線	1972	2.4	6.5	I	道路橋の機能に支障を生じていない。	39.113333度	141.151388度
西大深沢1号橋	ニシオホカサワゴウハン	水沢	高速側道西2号線	不明	9.9	5.5	II	床版に凍害が原因と考えられる剥離が見られる。損傷の進行が見られるため、予防保全の観点から措置を講ずることが望ましい。	39.109167度	141.11944度
西大深沢2号橋	ニシオホカサワゴウキョウ	水沢	高速側道東2号線	不明	10.6	6	II	床版に凍害が原因と考えられる鉄筋露出が見られる。損傷の進行が見られるため、予防保全の観点から措置を講ずることが望ましい。	39.109483度	141.12016度
西大深沢3号橋	ニシオホカサワサンゴウキョウ	水沢	東大深沢西大深沢線	不明	12	6	II	床版に橋面からの浸透水が要因と推定される錆汁・遊離石灰を伴う漏水が見られる。予防保全の観点から措置を講ずることが望ましい。	39.10984度	141.12442度
西大深沢4号橋	ニシオホカサワヨウキョウ	水沢	東大深沢西大深沢線	不明	12.9	6	II	主桁に凍害が要因と推定される欠損が見られる。欠損深さが5cmと深いため、予防保全の観点から措置を講ずることが望ましい。	39.10844度	141.12993度
東大深沢橋	ヒガシオホカサワハン	水沢	東大深沢西大深沢線	不明	5.5	6	I	道路橋の機能に支障を生じていない。	39.108611度	141.13056度
浜田橋	ハマダハン	水沢	大鐘中崎線	不明	11.6	7.5	I	道路橋の機能に支障を生じていない。	39.107500度	141.13694度
川尻前橋	カワジリマエハン	水沢	川尻町下線	2001	3.4	4.6	II	頂版及び側壁に凍害が要因と思われる鉄筋露出、舗装に段差量74mmの路面の凹凸が見られる。間詰からの漏水も見られることから、今後凍害の影響を受ける可能性が高いため、予防保全の観点から措置を講ずることが望ましい。	39.106111度	141.14194度
樋田4号橋	ウエシヨウキョウ	水沢	樋田余目下線	1999	5.9	7	II	頂版及び側壁に遊離石灰がみられる。遊離石灰は比較的広範囲であり、今後凍害の影響を受ける可能性が高いため、予防保全の観点から措置を講ずることが望ましい。	39.10000度	141.16222度
上野1号橋	ウエノイチゴウキョウ	水沢	田畑上野線	1998	5.9	5.2	II	頂版に漏水・遊離石灰、側壁に剥離・鉄筋露出、舗装にひびわれがみられる。漏水は比較的広範囲の発生であり、今後凍害の影響を受ける可能性が高いため、予防保全の観点から措置を講ずることが望ましい。	39.100833度	141.17111度
上野2号橋	ウエニゴウキョウ	水沢	五百刈田天神林線	1998	5.7	2.4	I	道路橋の機能に支障を生じていない。	39.10000度	141.173611度
上野3号橋	ウエサンゴウキョウ	水沢	宿上野線	1994	12.5	6.5	I	道路橋の機能に支障を生じていない。	39.098056度	141.173889度
新堀1号橋	ニイリイチゴウキョウ	水沢	川尻本線	1984	6.4	6	I	道路橋の機能に支障を生じていない。	39.097500度	141.145555度
新堀4号橋	ニイリヨウキョウ	水沢	高根本線	不明	5.7	7	I	道路橋の機能に支障を生じていない。	39.09262度	141.15171度
熊堂橋	クマドウハン	水沢	折居町線	不明	2.5	5.7	II	主桁にひびわれ、A1,A2橋台壁にひびわれ、舗装に異常が見られる。	39.10203度	141.13516度
万五郎橋	マンゴロウハン	水沢	宮沢本線	1972	11	3.6	II	床版に鉄筋露出が見られる。予防保全の観点から、補修を行うことが望ましい。	39.098056度	141.12922度
折居橋	オリハン	水沢	折居町線	1970	8.3	6.5	II	A2橋台壁にひびわれとうきが見られる。補修後の再劣化であることから、補修を行うことが望ましい。	39.09722度	141.133889度
要害2号橋	ヨウガイニゴウキョウ	水沢	要害1号線	1998	4	5.7	I	道路橋の機能に支障を生じていない。	39.097500度	141.138611度
要害1号橋	ヨウガイイチゴウキョウ	水沢	折居駅うるし林線	1971	6.8	3.6	II	パラペット天端に剥離が見られる。予防保全の観点から、補修することが望ましい。	39.096944度	141.141667度
八反町橋	ハチタンマチハン	水沢	川尻本線	1996	5.8	7.4	I	道路橋の機能に支障を生じていない。	39.095833度	141.144722度

道路橋名	別名	所在	路線名	架設年度 西暦	橋長 (m)	有効 幅員 (m)	R6	所見等	緯度	経度
堂田橋	ドウデンハン	水沢	高根本線	1991	14	7	I	道路橋の機能に支障を生じていない。	39.091111度	141.151944度
林前橋	ハヤシマハン	水沢	林前2号線	1983	11.8	8	I	道路橋の機能に支障を生じていない。	39.116944度	141.157500度
柿ノ木下橋	カキノキタハン	水沢	中野線	2002	9.3	8.3	III	頂版に地震が要因と思われる床版ひびわれが見られる。ひびわれ幅が6.0mmと広く、BOX構造性への影響が考えられることから、早期に措置を講ずべき状態と判断した。	39.114166度	141.146388度
南塩加羅1号橋	ナミシオカライチゴウキョウ	水沢	台町南塩加羅線	不明	3.3	3.5	I	道路橋の機能に支障を生じていない。	39.12833度	141.151944度
南塩加羅2号橋	ナミシオカラニコウキョウ	水沢	台町南塩加羅線	1996	9	2.1	I	道路橋の機能に支障を生じていない。	39.127778度	141.151111度
西鶴巻1号橋	ニシホルマイチゴウキョウ	水沢	堂林前西鶴巻線	1996	9	2	I	道路橋の機能に支障を生じていない。	39.123333度	141.152778度
高田橋	タカダハン	水沢	高田上林下線	1975	5.7	5	III	主桁に剥離・鉄筋露出が見られる。新規損傷も見られることから、速やかに補修することが望ましい。	39.114444度	141.146667度
川尻橋	カワシロハン	水沢	高根本線	2001	3.7	7	II	頂版に遊離石灰、側壁に鉄筋露出が見られる。間詰めからの漏水が見られ今後凍害の影響も受ける可能性が考えられるため、予防保全の観点から措置を講ずることが望ましい。	39.103888度	141.148055度
志田見沢1号橋	シタミヅイチゴウキョウ	水沢	秋成線	1993	2.2	15	I	道路橋の機能に支障を生じていない。	39.120000度	141.148333度
八反町6号橋	ハチタンマチロウキョウ	水沢	折居駅うし林線	1996	2.7	4	II	頂版に橋面からの浸透水が要因と思われる漏水・遊離石灰が見られる。今後凍害の影響による損傷の進行に繋がる可能性が考えられるため、予防保全の観点から措置を講ずることが望ましい。	39.095833度	141.146944度
落合4号橋	オチアイゴウキョウ	水沢	川尻本線	2001	3	7	I	道路橋の機能に支障を生じていない。	39.105555度	141.148611度
西五郎兵衛2号橋	ニシゴロウヘイニコウキョウ	水沢	杉ノ下4号線	2002	2.5	6	I	道路橋の機能に支障を生じていない。	39.112777度	141.148055度
西五郎兵衛3号橋	ニシゴロウヘイサンゴウキョウ	水沢	西五郎兵衛金田1号線	2002	2.5	6	II	頂版に剥離・鉄筋露出、頂版の目地部から漏水・滞水がみられる。今後凍害による損傷の進行が考えられることから、予防保全の観点より速やかに補修することが望ましい。	39.111666度	141.148055度
東五郎兵衛2号橋	ヒガシゴロウヘイニコウキョウ	水沢	西五郎兵衛金田2号線	2001	2.5	4	II	頂版に凍害が原因と推定される鉄筋露出が見られる。前回点検時ではうきであり損傷の進行が見られる。鉄筋の腐食も進行しているため、予防保全の観点より速やかに補修することが望ましい。	39.110555度	141.150833度
落合5号橋	オチアイゴウキョウ	水沢	杉ノ下川尻線	2002	3.6	7	I	道路橋の機能に支障を生じていない。	39.104722度	141.145833度
落合3号橋	オチアイゴウキョウ	水沢	西五郎兵衛中平線	2001	2.5	4.5	II	側壁に遊離石灰を伴ったひびわれが見られる。乾燥収縮が要因と推定される。部材への影響が懸念されることから、予防保全の観点より速やかに補修することが望ましい。	39.107500度	141.148333度
前堂地3号橋	マエドウサンゴウキョウ	水沢	西田下谷地線	2000	5.6	5	II	頂版目地に浸透水が要因と思われる漏水・遊離石灰が見られる。凍害の影響が懸念されるため、予防保全の観点より速やかに補修することが望ましい。	39.103333度	141.150833度
西田4号橋	ニシダヨウキョウ	水沢	土手西田線	2000	6	6	II	頂版に鉄筋露出、側壁にひびわれがみられる。凍害の影響が懸念されるため、予防保全の観点より速やかに補修することが望ましい。	39.101388度	141.154722度
西田3号橋	ニシダサンゴウキョウ	水沢	中平土手線	2000	6	5	II	頂版及び側壁に目地材の劣化が要因と推定される漏水がみられる。予防保全の観点から、なるべく速やかな補修を行うことが望ましい。	39.102777度	141.153333度
前堂地2号橋	マエドウニコウキョウ	水沢	前堂地堂田線	2001	3.2	6	II	頂版に漏水、側壁に漏水と鉄筋露出がみられる。予防保全の観点から、なるべく速やかな補修を行うことが望ましい。	39.103888度	141.168333度
下谷地橋	シタダチハン	水沢	前堂地堂田線	不明	6	6	II	頂版と側壁にかぶり不足が要因と思われる鉄筋露出が見られる。凍害の影響が懸念されるため、予防保全の観点より速やかに補修することが望ましい。	39.100000度	141.155000度
谷地館橋	ヤチダテハン	水沢	川尻谷地館線	1998	2.7	4	II	頂版に剥離が見られる。凍害の影響によるものと推定される。予防保全の観点より速やかに補修することが望ましい。	39.097777度	141.142500度
新堀7号橋	ニホリナゴウキョウ	水沢	川尻要害線	1998	2.6	6	II	頂版に漏水・遊離石灰、側壁に漏水・滞水がみられる。損傷範囲が広く凍害の影響が懸念されるため、予防保全の観点より速やかに補修することが望ましい。	39.097777度	141.143888度
八反町5号橋	ハチタンマチロウキョウ	水沢	川尻要害線	1997	4.8	5	I	頂版及び側壁の目地部において漏水がみられる。道路橋の機能に支障が生じていない状態である。	39.096111度	141.143333度
聖天上の橋	セイテンカミハン	水沢	水山小石田線	1945	10.6	3	II	主桁に凍害が原因と思われる剥離・鉄筋露出が見られる。損傷が進行する前に補修することが望ましい。	39.147222度	141.129722度
聖天下の橋	セイテンソノハン	水沢	虚空蔵小路小石田線	1990	9.9	9	I	道路橋の機能に支障を生じていない。	39.147500度	141.133889度
堀の内橋	ホリノウチハン	水沢	谷地明門南丑沢線	1967	10.6	6.5	II	堅壁に洗堀が見られる。耐久性確保の観点から早期に補修を行うことが望ましい。	39.147788度	141.136566度
上町橋	カミマチハン	水沢	上町大手町1号線	1966	3.1	3.2	II	床版に剥離・鉄筋露出、A1,A2橋台堅壁に変形・欠損、舗装に異常が見られる。	39.14684度	141.13679度
掘手橋	コウデハン	水沢	大手町勝手町線	1968	11.5	5.6	II	床版に浸透水が要因と思われる遊離石灰が見られる。予防保全の観点から、損傷が進行する前に補修することが望ましい。	39.147222度	141.138889度
上の橋	カミハン	水沢	大手通り線	1982	14.1	20.1	II	床版に漏水・遊離石灰と錆汁の混入、橋台堅壁に幅12mmのひびわれが見られる。ひびわれ幅が比較的大きく損傷が進行するとコンクリートの耐久性低下が考えられるため、予防保全の観点から措置を講ずることが望ましい。	39.146275度	141.140097度
下の橋	シモハン	水沢	吉小路立町線	1930	7.2	4.8	I	主桁に鉄筋露出があり、断面減少している。	39.145556度	141.141389度
万日橋	マンニチハン	水沢	柳町三本木線	1926	6.1	3.6	I	道路橋の機能に支障を生じていない。	39.144722度	141.144167度
三本木橋	サンボンキハン	水沢	大町三本木線	1928	6.3	6	I	道路橋の機能に支障を生じていない。	39.144167度	141.144167度
長光寺橋	チヨウコウジハン	水沢	大町線	1929	7.2	2.7	II	主桁にジャンカと遊離石灰が見られる。予防保全の観点から、損傷が進行する前に補修することが望ましい。	39.143056度	141.143056度
春日町橋	カスガマチハン	水沢	大町杉ノ堂線	1929	9.2	12.2	II	主桁に幅0.15～0.5mmのひびわれ、堅壁に剥離・鉄筋露出、防護欄に幅0.9mmのひびわれがみられる。ひびわれ幅が大きいことから、予防保全の観点から措置を講ずることが望ましい。	39.141944度	141.143055度
寺小路橋	テラコウジハン	水沢	大町中町線	1927	7.6	4.2	II	主桁に橋面からの浸透水が要因と思われる遊離石灰が見られる。予防保全の観点から、補修することが望ましい。	39.141111度	141.143167度
跡呂井橋	アトイハン	水沢	仙人神明町橋	1980	13.7	10.2	I	道路橋の機能に支障を生じていない。	39.145833度	141.158611度
南矢中橋	ナミヤナカハン	水沢	桜川南谷中線	1968	5	3	I	道路橋の機能に支障を生じていない。	39.13595度	141.11765度
南矢中西橋	ナミヤナカニシハン	水沢	高遠側道西3号線	1978	6.8	3.8	I	道路橋の機能に支障を生じていない。	39.13608度	141.119444度
南矢中東橋	ナミヤナカヒガシハン	水沢	高遠側道東3号線	1978	6.9	6	I	道路橋の機能に支障を生じていない。	39.13611度	141.120278度
南矢中下の橋	ナミヤナカシタハン	水沢	矢中1号線	1964	5	3	II	主桁に凍害が要因と思われる鉄筋露出が見られる。一部補修済みであるが、予防保全の観点から措置を講ずることが望ましい。	39.13609度	141.12073度
高屋敷上の橋	タカヤシキウエノハン	水沢	後田高屋敷線	1967	5	3	II	A1橋台堅壁に剥離が見られる。予防保全の観点から補修することが望ましい。	39.136389度	141.123611度
八反田橋	ハチタンダハン	水沢	高屋敷矢中1号線	1998	2.2	4	II	頂版及び側壁に幅0.2～0.35mmのひびわれが見られる。ひびわれ幅が広く、ひびわれ間隔も狭いことから、予防保全の観点から措置を講ずることが望ましい。	39.136666度	141.123333度
鶴田上の橋	ツルタノエノハン	水沢	高屋敷矢中線	1998	2.2	4.5	I	道路橋の機能に支障を生じていない。	39.137777度	141.123333度
鶴田下の橋	ツルタノソノハン	水沢	芥の神天文台通り線	1980	5.2	5.5	I	道路橋の機能に支障を生じていない。	39.138611度	141.129722度
田小路橋	タコウジハン	水沢	田小路大畑小路線	1999	2	4	II	頂版、側壁に目地からの漏水が見られる。予防保全の観点からなる。	39.139444度	141.135833度
日高橋	ヒダカハン	水沢	日高小路線	1926	8.4	4	II	床版に凍害が原因と思われる剥離・鉄筋露出が見られる。予防保全の観点から、損傷が進行する前に補修することが望ましい。	39.141389度	141.138056度
大畑橋	オオハタハン	水沢	吉小路大畑小路線	1926	7.8	4.5	II	主桁に凍害が要因と思われる剥離・鉄筋露出が見られる。予防保全の観点から、損傷が進行する前に補修することが望ましい。	39.141667度	141.139722度
高屋敷中の橋	タカヤシキナカノハン	水沢	芥の神天文台通り線	1980	4	3	II	主桁に剥離・鉄筋露出が見られる。	39.13666度	141.129722度
西町上の橋	ニシマチノエノハン	水沢	西町天文台通り線	1983	4.4	4.1	I	道路橋の機能に支障は生じていない。	39.13888度	141.133055度
西町橋	ニシマチハン	水沢	西町下笹森線	1979	3.4	16.3	I	道路橋の機能に支障を生じていない。	39.137500度	141.137777度
宮下橋	ミヤノソノハン	水沢	宮前通り線	1989	3.4	8.5	I	道路橋の機能に支障は生じていない。	39.13722度	141.138611度
宮下2号橋	ミヤノソノニコウキョウ	水沢	宮下町線	2001	3.5	3.1	I	道路橋の機能に支障は生じていない。	39.13731度	141.139518度
袋町橋	フクロマチハン	水沢	袋町宮下町線	2001	3.1	4.8	II	主桁に剥離・鉄筋露出が見られる。	39.13714度	141.14018度
袋町下の橋	フクロマチノソノハン	水沢	袋町2号線	1972	3.2	5.4	I	道路橋の機能に支障を生じていない。	39.13694度	141.140833度
南町橋	ナミマチハン	水沢	中町大鐘線	1979	3.1	12.2	II	主桁に凍害が原因と思われる剥離・鉄筋露出が見られる。予防保全の観点から、損傷が進行する前に補修することが望ましい。	39.136111度	141.142500度
南町中の橋	ナミマチナカノハン	水沢	南町山崎町1号線	1979	3.1	5	II	主桁に剥離・鉄筋露出が見られる。	39.13555度	141.143333度
南町下の橋	ナミマチシタノハン	水沢	南町山崎町2号線	1980	3.3	7.5	I	道路橋の機能に支障は生じていない。	39.13500度	141.14500度
濁川上の橋	ニリガハミノハン	水沢	町裏見分森線	1992	3.3	4.6	I	道路橋の機能に支障を生じていない。	39.127777度	141.110833度
濁川橋	ニリガハハン	水沢	西田森下2号線	1972	7.4	4	I	道路橋の機能に支障を生じていない。	39.128056度	141.114444度
前谷地橋	マエヤチハン	水沢	西田森下3号線	1992	3.3	4.6	II	頂版に漏水、A1側壁に漏水・滞水が見られる。漏水が継続的に見られることから、予防保全の観点より速やかに補修することが望ましい。	39.128055度	141.117222度
前谷地西橋	マエヤチニシハン	水沢	高遠側道西3号線	1978	10.3	3.8	I	道路橋の機能に支障を生じていない。	39.128611度	141.118333度
前谷地東橋	マエヤチヒガシハン	水沢	高遠側道東3号線	1978	8.9	6	II	主桁に凍害が要因と思われる剥離・鉄筋露出が見られる。予防保全の観点から、補修することが望ましい。	39.128611度	141.118889度
クルス場橋	クルスバハン	水沢	西田森下1号線	1963	7.5	6.1	II	横桁に鉄筋露出が見られる。進行が見られるため、予防保全の観点から補修することが望ましい。	39.129167度	141.120833度
クルス場下の橋	クルスバノソノハン	水沢	福原桜屋敷西2号線	1963	7.4	4	I	道路橋の機能に支障を生じていない。	39.129444度	141.123333度
町裏橋	マチウラハン	水沢	福原桜屋敷西1号線	1996	8.3	4	I	道路橋の機能に支障を生じていない。	39.128889度	141.125556度
川端橋	カワエハン	水沢	北上野福原線	1997	10.5	16	II	堅壁に17mmのひびわれが見られる。乾燥収縮が要因と推定される。ひびわれ幅が広く、漏水の影響が懸念されるため、予防保全の観点より速やかに補修することが望ましい。	39.129722度	141.132222度
福吉橋	フクヨシハン	水沢	天文台通り桜屋敷線	1996	9	5	I	道路橋の機能に支障を生じていない。	39.130833度	141.134167度
片子沢橋	カタシラハン	水沢	西町下笹森線	1987	13.6	16	II	排水管に腐食と防食機能の劣化、部分的な欠損が見られる。予防保全の観点から措置を講ずることが望ましい。	39.131111度	141.136388度
中上野橋	ナカウラハン	水沢	山崎町堀合線	1997	9.6	4	I	A1橋台に0.2mmひび割れがあり、注入工を行うのが良い。PC桁目地に軽度な漏水遊離石灰がある。進展性は低いと思われる経過観察でよい。	39.131111度	141.139722度
大鐘橋	オオカネハン	水沢	中町大鐘線	1962	13.6	12.1	I	道路橋の機能に支障を生じていない。	39.130556度	141.141111度
鶴淵上の橋	ツルヤシノハン	水沢	町裏見分森線	1975	6.4	5.4	II	主桁に鉄筋露出が見られる。予防保全の観点から措置を講ずることが望ましい。	39.124722度	141.111111度
袖谷地橋	ソデヤチハン	水沢	西田森下3号線	1994	4.8	3	II	頂版に漏水が、A1側壁に遊離石灰を伴ったひびわれが見られる。予防保全の観点から措置を講ずることが望ましい。	39.125833度	141.117500度

道路橋名	別名	所在	路線名	架設年度 西暦	橋長 (m)	有効 幅員 (m)	R6	所見等	緯度	経度
袖谷地西橋	ソヂヤチニシハン	水沢	高速側道西3号線	1976	9.1	3.8	II	主桁に鉄筋露出が見られる。進行は見られないが、予防保全の観点から補修することが望ましい。	39.126389度	141.118333度
袖谷地東橋	ソヂヤチヒガシハン	水沢	高速側道東3号線	1975	9.1	6	II	主桁に凍害が原因と思われる鉄筋露出が見られる。損傷の進行が見られるため、予防保全の観点から措置を講ずることが望ましい。	39.126389度	141.118889度
袖谷地下の橋	ソヂヤチタノハン	水沢	西田森下1号線	1996	4.9	4.9	II	頂版に漏水・遊離石灰および変形・欠損、側壁に遊離石灰を伴ったひびわれが見られる。予防保全の観点から措置を講ずることが望ましい。	39.126944度	141.120000度
外谷地北橋	ソトヤチキタハン	水沢	外谷地鶴淵線	1996	4.1	7.5	II	頂版に橋面からの浸透水が要因と思われる遊離石灰が見られる。予防保全の観点から措置を講ずることが望ましい。	39.128333度	141.123888度
桜屋敷橋	サクラヤシキハン	水沢	堰合桜屋敷1号線	1992	2.4	6.7	I	道路橋の機能に支障が生じていない。	39.125833度	141.128333度
大鐘南下の橋	オホネミナミタノハン	水沢	南大鐘1号線	1981	3.6	4.2	I	道路橋の機能に支障を生じていない。	39.12750度	141.139751度
道場下の橋	水沢	高速側道東6号線	1994	9.8	4.3	I	道路橋の機能に支障を生じていない。	39.171944度	141.118611度	
樋渡橋	ヒワタシハン	水沢	寺領水ノ口線	1977	2.1	3.5	I	健全である。	39.147222度	141.117500度
樋渡下の橋	ヒワタシモノハン	水沢	樋渡西広町線	1977	2	3.5	I	健全である。	39.147500度	141.119444度
二反田橋	ニハンダハン	水沢	水山東高山線	1982	2.5	4.3	I	健全である。	39.147500度	141.122777度
二反田下の橋	ニハンダモノハン	水沢	水山幅下線	1982	2.5	4.3	I	健全である。	39.147777度	141.125555度
八反町橋	ハチタンマチハン	水沢	勝手町線	1991	2	5	II	漏水の影響による凍害が原因と考えられる剥離・鉄筋露出が見られる。進行性のある損傷であることから、予防保全の観点から補修を行うことが望ましい。	39.136666度	141.123333度
上町2号橋	ウエマチ2ゴウキョウ	水沢	大町石田線	1982	2.9	7.2	I	道路橋の機能に支障が生じていない。	39.144722度	141.135555度
高屋敷下の橋	タカヤシキタノハン	水沢	西町3号線	1980	5.4	6.5	II	主桁に凍害が要因と思われる鉄筋露出が見られる。予防保全の観点から、補修することが望ましい。	39.136667度	141.132222度
水沢工業団地橋	ミズワウキョウダンチハン	水沢	東バイパス側道1号線	1997	2.2	8.1	II	頂版に漏水・遊離石灰がみられる。漏水は継続的に見られ今後凍害の影響も受ける可能性が考えられるため、予防保全の観点から措置を講ずることが望ましい。	39.164341度	141.164341度
花園町橋	ハナノマチハン	水沢	十文字秋成線	1989	2.8	24.2	I	道路橋の機能に支障が生じていない。	39.142022度	141.155025度
堰合下の橋	セキアイタノハン	水沢	山崎町堰合線	1992	2.9	9.4	II	頂版に漏水・遊離石灰、側壁に幅0.3mmのひびわれ、遊離石灰が見られる。今後凍害の影響を受ける可能性が考えられるため、予防保全の観点から措置を講ずることが望ましい。	39.128055度	141.130000度
堰合上の橋	セキアイエハン	水沢	川端堰合線	1994	2.8	9	II	頂版及び側壁にひびわれ、防護柵に腐食がみられる。漏水の影響が懸念されるため、予防保全の観点から速やかに補修することが望ましい。	39.127500度	141.129722度
曾根田1号橋	ソネダイチゴウキョウ	水沢	五味田曾根田線	1996	3.3	6.4	I	道路橋の機能に支障が生じていない。	39.153322度	141.088025度
曾根田2号橋	ソネダニゴウキョウ	水沢	明神堂曾根田線	1996	4	7	III	頂版と側壁に錆汁混じりの漏水・遊離石灰が見られる。コンクリート内の鉄筋が腐食していると推定される。耐久性確保の観点から速やかな補修が望ましい。	39.151272度	141.089500度
沢田1号橋	サワタ1ゴウキョウ	水沢	白井坂線	1997	2.2	9.8	II	頂版に漏水・遊離石灰、側壁に目地材の脱落が見られる。予防保全の観点から速やかな補修を行うことが望ましい。	39.161341度	141.157244度
東小深田橋	ヒガシコノカガハン	水沢	佐野原矢中線	1998	2.2	7	I	道路橋の機能に支障が生じていない。	39.158658度	141.156205度
桜屋敷1号橋	サクラヤシキゴウキョウ	水沢	堰合桜屋敷2号線	1994	2.4	4.5	I	道路橋の機能に支障が生じていない。	39.125833度	141.128055度
西町上の橋	ニマチウエハン	水沢	西町堰合線	1955	3.2	6.4	I	道路橋の機能に支障が生じていない。	39.138888度	141.133055度
高屋敷橋	タカヤシキハン	水沢	西町堰合線	1980	6.1	9.1	II	排水管に欠損が見られる。損傷の進行によりコンクリート部材への影響が懸念されるため、予防保全の観点から速やかに補修することが望ましい。	39.136666度	141.131111度
大橋	オオハン	水沢	西町堰合線	1999	8.6	8.9	I	道路橋の機能に支障は生じていない。	39.128611度	141.127500度
惣前町2号橋	ソウゼンマチ2ゴウキョウ	水沢	東バイパス側道6号線	2002	4.2	5	II	頂版に床版ひびわれが見られる。また、A1・A2側壁に乾燥収縮が要因と推定される幅0.35～0.4mmのひびわれも見られる。ひびわれ幅が広く、ひびわれ間隔も狭いことから、予防保全の観点から速やかに補修することが望ましい。	39.152338度	141.162311度
北塩加羅上の橋	キタシオカウエハン	水沢	大日通り山崎町線	2006	3.7	5.8	I	道路橋の機能に支障が生じていない。	39.133333度	141.146666度
甲田橋	カウデンハン	水沢	中田町指手線	2006	2.8	4.7	I	道路橋の機能に支障が生じていない。	39.132222度	141.148888度
北塩加羅橋	キタシオカハン	水沢	十文字秋成線	1970	3.5	13.4	II	A2橋台壁面に剥離とうきが見られる。凍害によるものと推定される。損傷の進行により、構造安全性に影響するため予防保全の観点から補修を行うことが望ましい。	39.130555度	141.151666度
東鶴巻1号橋	ヒガシツルマキイチゴウキョウ	水沢	台町南塩加羅線	2006	2.9	3.2	I	道路橋の機能に支障が生じていない。	39.129722度	141.153611度
東鶴巻2号橋	ヒガシツルマキニゴウキョウ	水沢	大日通り東鶴巻線	2006	4.3	5	I	道路橋の機能に支障が生じていない。	39.128888度	141.154444度
町屋敷橋	マチヤシキハン	水沢	瀬田野高根線	1967	4.4	9.6	II	主桁に欠損、A1橋台壁面にうきと剥離が見られる。予防保全の観点から措置を講ずることが望ましい。	39.128888度	141.156111度
泉橋	イズミハン	水沢	東中通り町屋敷1号線	2005	2.9	4.2	I	道路橋の機能に支障が生じていない。	39.128611度	141.159166度
朝日橋	アサヒハン	水沢	東中通り町屋敷2号線	1996	2.5	6.5	II	頂版及び側壁に幅0.2～0.3mmのひびわれが見られる。ひびわれ幅が広く、ひびわれ間隔も狭いことから、予防保全の観点から速やかに補修することが望ましい。	39.128888度	141.160277度
町屋敷東橋	マチヤシキヒガシハン	水沢	熊ノ堂町屋敷線	2020	2.9	5	I	道路橋の機能に支障は生じていない。	39.128611度	141.162777度
堤根橋	ツツネハン	水沢	堤根沼尻線	2020	2.9	6.9	I	道路橋の機能に支障が生じていない。	39.128333度	141.162777度
一ノ沢橋	イチノサワハン	水沢	石名坂上野起線	1997	3.4	5	I	道路橋の機能に支障が生じていない。	39.123611度	141.165833度
石名坂橋	イシノザカハン	水沢	石名坂若草線	1990	3.5	7.1	I	道路橋の機能に支障が生じていない。	39.121944度	141.161111度
沢田橋	サワタハン	水沢	原ノ下上野起線	2000	4	4.2	II	頂版、側壁に幅0.2mm～0.3mmのひびわれ、翼壁に幅0.6mmの遊離石灰を伴うひびわれが見られる。頂版においては亀甲状となっている。コンクリート部材の劣化が懸念されるため、予防保全の観点から措置を講ずることが望ましい。	39.119722度	141.166666度
大内田前橋	オウチナマエハン	水沢	大内田前伊手迎線	1978	6	2.7	III	A1橋台基礎部(パイルベント)に移動・傾斜、袖壁背面部に沈下が見られる。	39.11802度	141.16850度
船橋	フナハン	水沢	車堂殿野起線	1997	5.2	5	I	道路橋の機能に支障は生じていない。	39.114722度	141.170555度
須江1号橋	スエ江1ゴウキョウ	水沢	十文字秋成線	2001	8.9	12	II	頂版・側壁に幅0.4～0.6mm程度のひびわれ、頂版直上の舗装にひびわれが認められ、頂版においては亀甲状となっている。コンクリート部材の劣化が懸念されるため、予防保全の観点から措置を講ずることが望ましい。	39.128611度	141.149722度
乾場橋	カシノハン	水沢	幅下町南線	1996	9	5	I	道路橋の機能に支障を生じていない。	39.126111度	141.151944度
宮田橋	ミヤタハン	水沢	堂林前迎煙線	1995	9	3.5	I	道路橋の機能に支障を生じていない。	39.121667度	141.153333度
迎煙橋	ムカイノハン	水沢	谷地堰迎煙線	1995	9.5	4	I	道路橋の機能に支障を生じていない。	39.119444度	141.154167度
北下田橋	キタノモトハン	水沢	瀬田野高根線	1969	11.1	9.2	II	A2堅壁剥離が見られる。凍害によるものと推定される。予防保全の観点より速やかに補修することが望ましい。	39.118055度	141.155555度
神田橋	ヒエタハン	水沢	北下田神田下線	1979	14	6.5	I	道路橋の機能に支障は生じていない。	39.115555度	141.158888度
水ノ口橋	ミヅノクチハン	水沢	堀ノ内水ノ口前線	1963	11	2.8	I	道路橋の機能に支障を生じていない。	39.114722度	141.160278度
杉山下橋	スギヤマタノハン	水沢	十文字秋成線	1977	5.9	9.3	II	主桁に漏水・漏水、壁面に剥離、舗装にひびわれが見られる。橋台においては、漏水・遊離石灰もみられることから、コンクリート部材の劣化の進行性が高いため、予防保全の観点から措置を講ずることが望ましい。	39.127222度	141.146111度
杉山下歩道橋	スギヤマタノクボウキョウ	水沢	十文字秋成線	1991	4.2	3.1	II	健全であり、部材の機能に支障が生じていない状態。	39.127222度	141.146111度
杉山下3号橋	スギヤマタノ3ゴウキョウ	水沢	南塩加羅杉山下線	1984	3.95	3.2	I	道路橋の機能に支障を生じていない。	39.12722度	141.146944度
杉山下2号橋	スギヤマタノ2ゴウキョウ	水沢	十文字秋成線	1965	4.4	13.5	I	道路橋の機能に支障を生じていない。	39.12726度	141.14763度
杉山下4号橋	スギヤマタノ4ゴウキョウ	水沢	幅下町南線	1997	2.9	4.6	I	道路橋の機能に支障が生じていない。	39.12528度	141.14778度
堂林前1号橋	ドウハンシノマエイチゴウキョウ	水沢	柿ノ木下南塩加羅線	2000	2.9	17.4	I	道路橋の機能に支障が生じていない。	39.125500度	141.149166度
堂林前2号橋	ドウハンシノマエニゴウキョウ	水沢	堂林前谷地中線	2000	2.9	4.1	I	頂版に橋面からの浸透水が要因と思われる漏水が見られるが、道路橋の機能に支障が生じていない。	39.122777度	141.150277度
堂林前3号橋	ドウハンシノマエサンゴウキョウ	水沢	谷地中幅下線	2001	2.9	3.3	II	頂版に遊離石灰が見られる。今後凍害の影響を受けやすいと考えられる。予防保全の観点から速やかに補修等を行うことが望ましい。	39.122777度	141.151388度
谷地中橋	ヤチノカハン	水沢	南塩加羅北下田線	1994	3	5	III	頂版に幅0.2mmの床版ひびわれ、側壁に幅1.8mmのひびわれが見られる。部分的に角落が見られ、BOX構造性への影響が懸念されることから、速やかに補修することが望ましい。	39.121111度	141.152222度
志田見沢橋	シダミザワハン	水沢	志田見沢柿ノ木下線	1987	5	4.4	II	主桁に剥離・鉄筋露出、A1・A2橋台壁面にひびわれ、舗装に路面の凹凸が見られる。	39.12027度	141.146666度
杉ノ下橋	スギノカハン	水沢	北下田柿ノ木下線	1993	2.7	2.7	I	健全である。	39.117222度	141.150000度
北下田2号橋	キタノモト2ゴウキョウ	水沢	瀬田野高根線	1982	2.4	9.8	II	壁面に漏水・漏水、防護柵に損傷範囲の広い腐食が見られる。予防保全の観点から速やかに補修することが望ましい。	39.115555度	141.151944度
北下田1号橋	キタノモトイチゴウキョウ	水沢	水ノ口前2号線	1981	3.4	5.3	I	道路橋の機能に支障は生じていない。	39.11527度	141.156111度
水ノ口前1号橋	ミヅノクチマエイチゴウキョウ	水沢	林前2号線	1980	3.4	7.2	II	床版に錆汁、舗装に異常が見られる。	39.11555度	141.156944度
水ノ口前2号橋	ミヅノクチマエニゴウキョウ	水沢	水ノ口前1号線	1980	3.45	5.2	II	床版に遊離石灰、A2橋台壁面にひびわれ、排水管に土砂詰まりが見られる。	39.11527度	141.15777度
北下田5号橋	キタノモト5ゴウキョウ	水沢	瀬田野高根線	1998	2.1	10	I	道路橋の機能に支障が生じていない。	39.115000度	141.155277度
明正6号橋	メイジョウロクゴウキョウ	水沢	明正下小谷木1号線	1972	2.8	3.5	II	舗装部に段差が生じている。道路利用者に対する安全確保のため、予防保全の観点から措置を講ずることが望ましい。	39.135277度	141.184166度
沼尻4号橋	ヌマリシヨウキョウ	水沢	沼尻2号線	1972	5.3	2.9	I	道路橋の機能に支障を生じていない。	39.130000度	141.184444度
沼尻5号橋	ヌマリシゴウキョウ	水沢	下小谷木沼尻2号線	1970	5.4	2.9	II	主桁に凍害が要因と思われる剥離・鉄筋露出が見られる。予防保全の観点から、補修することが望ましい。	39.128889度	141.184444度
大手橋	オオテハン	水沢	大手通り線	2001	2.4	23.4	II	頂版に漏水・遊離石灰、側壁に幅0.3mmのひびわれ、地盤に幅1.7mmのひびわれが見られる。ひびわれは乾燥収縮が要因とされ、部材への影響が懸念されることから、予防保全の観点から速やかに補修することが望ましい。	39.141536度	141.138997度
新堀6号橋	ニイノリロクゴウキョウ	水沢	山居折居町線	2002	7	13.4	II	頂版、側壁に乾燥収縮が要因と思われる0.4～0.7mm幅の一方向ひびわれが見られる。	39.098611度	141.144166度
八反町7号橋	ハチタンマチナナゴウキョウ	水沢	土手堂田線	1996	5.9	5	I	頂版に局部的な漏水、側壁に幅0.15mmのひびわれが見られる。前点検時からの損傷の進行は見られないことから、道路橋の機能に支障が生じていない状況である。	39.095277度	141.148333度
八反町4号橋	ハチタンマチヨンゴウキョウ	水沢	要害5号線	1997	4.1	4	I	頂版に局部的な漏水、側壁に幅0.15mmのひびわれが見られる。いずれも軽微な損傷であるため、道路橋の機能に支障が生じていない状況である。	39.096666度	141.141944度
八反町8号橋	ハチタンマチハチゴウキョウ	水沢	砂川堂田線	1995	5.8	6	II	頂版に遊離石灰、側壁に漏水が見られる。予防保全の観点から補修を行うことが望ましい。	39.091944度	141.149444度

道路橋名	別名	所在	路線名	架設年度 西暦	橋長 (m)	有効 幅員 (m)	R6	所見等	緯度	経度
京原橋	キョウハラハシ	水沢	松田余目下線	不明	4.6	5	I	道路橋の機能に支障が生じていない。	39.109722度	141.164166度
島田1号橋	シマダイゴウキョウ	水沢	島田境田線	1999	5.8	5.3	II	頂版に床版ひびわれが見られる。予防保全の観点から速やかに補修することが望ましい。	39.100277度	141.164444度
中崎橋	ナカサキハシ	水沢	中崎宮沢線	不明	3.3	4	II	頂版に漏水・遊離石灰がみられる。漏水は継続的で、進行性が高いと考えられるため、予防保全の観点から補修を行うことが望ましい。	39.095833度	141.116666度
原ノ西2号橋	ハラニシニコウキョウ	水沢	マイアネタウン32号線	2008	2.4	14.1	II	頂版に目地材の脱落および錆汁混じりの遊離石灰、両側壁に漏水・滞水が見られる。予防保全の観点から措置を講ずることが望ましい。	39.119444度	141.163333度
野地田2号橋	ヤチタニコウキョウ	水沢	マイアネタウン33号線	2008	2.4	12.1	I	道路橋の機能に支障が生じていない。	39.119444度	141.161666度
向畑1号橋	ムカハタニコウキョウ	水沢	宝柳木・御山下線	1975	3.3	5.5	II	地覆に変形・欠損、ひびわれが見られる。凍害により今後さらに進行する前に措置を講ずることが望ましい。	39.146952度	141.189680度
下屋敷1号橋	シタヤキチニコウキョウ	水沢	駅南和田線	1973	5.2	4	I	道路橋の機能に支障が生じていない。	39.141111度	141.190000度
下屋敷2号橋	シタヤキニコウキョウ	水沢	下屋敷和田線	1973	5.2	4	I	道路橋の機能に支障を生じていない。	39.13954度	141.18911度
明正1号橋	ミョウジョウイコウキョウ	水沢	下屋敷窪田線	1972	6	4	I	道路橋の機能に支障を生じていない。	39.13826度	141.18832度
沼尻橋	ヌマリハシ	水沢	沼尻洗田線	1972	7.3	5.6	II	床版及び橋台壁面に漏水・遊離石灰、汚染物に腐食と防食機能の劣化、変形が見られる。漏水は継続的に見られることから、コンクリート部材劣化の進行が高いと考えられるため、予防保全の観点より速やかに補修することが望ましい。	39.135555度	141.186666度
沼尻2号橋	ヌマリニコウキョウ	水沢	明正1号線	1972	4.2	4.2	II	道路橋の機能に支障を生じていない。	39.13555度	141.186944度
明正4号橋	ミョウジョウヨウニコウキョウ	水沢	明正沼尻線	1972	2.2	3.3	II	頂版と側壁に漏水が見られる。目地部からの漏水は継続的に見られることから、コンクリート部材劣化の進行が高いと考えられるため、予防保全の観点より速やかに補修することが望ましい。	39.133888度	141.185833度
八幡橋	ハチマンハシ	水沢	沼尻北端ノ木線	1961	13	3.4	II	床版に凍害が要因と思われる鉄筋露出が見られる。予防保全の観点から補修することが望ましい。	39.132222度	141.186111度
窪橋	クハシ	水沢	沼尻窪線	1980	7	3	III	A1/A2橋台フーチングに洗掘が見られる。損傷範囲が広く、橋台の安定に影響を及ぼす損傷であり、構造的安全性の観点から早期に補修を行うことが望ましい。	39.127778度	141.186667度
上大久保橋	オホオホクホハシ	水沢	大久保線	1983	12.8	5	II	床版に遊離石灰が、舗装に舗装ひびわれが見られる。床版の損傷範囲は広くないが、直上の舗装ひびわれが確認されるため、予防保全の観点から措置を講ずることが望ましい。	39.136111度	141.165833度
菅生田橋	スウケタハシ	水沢	沢田小田線	1992	13.8	5	I	道路橋の機能に支障を生じていない。	39.096667度	141.213056度
桜橋	サクラハシ	水沢	谷地袖ノ沢線	1968	11.4	4.2	II	床版に鉄筋露出が見られる。予防保全の観点から、補修することが望ましい。	39.097500度	141.215833度
念仏坂橋	ネンブツノハシ	水沢	長根下柳線	不明	7.1	2.7	II	A1/A2橋台パイルメントにひびわれが見られる。他部材への影響が懸念されるため、補修することが望ましい。	39.087222度	141.196389度
袈裟掛橋	セサケハシ	水沢	正法寺柳沢線	1983	12.5	5	I	道路橋の機能に支障を生じていない。	39.075556度	141.211111度
向畑2号橋	ムカハタニコウキョウ	水沢	向畑5号線	1975	3.2	12	II	防護柵、縁石に変形・欠損、舗装に段差量97mmの路面の凹凸、沈下、ひびわれが見られる。通行に影響を与える可能性が考えられるため、第三者被害防止の観点から措置を講ずることが望ましい。	39.144905度	141.190344度
向畑3号橋	ムカハタニコウキョウ	水沢	向畑8号線	1975	3.3	6	I	道路橋の機能に支障が生じていない。	39.144069度	141.190758度
沼尻3号橋	ヌマリサウニコウキョウ	水沢	窪田明正1号線	1972	4.4	4.4	I	道路橋の機能に支障を生じていない。	39.13578度	141.187564度
白石沢橋	シロイサザハシ	水沢	白石沢1号線	不明	10	3.2	II	P1橋脚柱部に遊離石灰を伴うひびわれ、舗装に路面の凹凸が見られる。	39.07000度	141.184444度
経塚沢橋	キョウツカザハシ	水沢	兵士沢線	1969	3	3.3	II	主桁に剥離・鉄筋露出が見られる。	39.081111度	141.211388度
土橋	ドハシ	水沢	兵士沢線	1970	5.1	3.5	I	道路橋の機能に支障を生じていない。	39.078333度	141.222222度
下川端橋	シモカワハシ	水沢	羽田幹線	1942	3.4	34.8	II	翼壁に幅25mmのひびわれが見られる。ひびわれ幅が広いため、予防保全の観点から補修を行うことが望ましい。	39.142222度	141.191388度
北栗林歩道橋	キタリハヤシホトウキョウ	水沢	勝手町線	不明	7	2	I	道路橋の機能に支障を生じていない。	39.152061度	141.135567度
柿ノ木下2号橋	カキノキシタニコウキョウ	水沢	中野線	不明	2.9	6.1	I	道路橋の機能に支障が生じていない。	39.113611度	141.148055度
要害前橋	ヨガイマエハシ	水沢	秋成本線	不明	9.6	16	I	道路橋の機能に支障を生じていない。	39.118888度	141.154166度
松ノ木沢川1号橋	マツノキザワガウイコウキョウ	前沢	松ノ木沢4号線	1972	13.5	2	II	主桁側面に乾燥収縮が要因と思われるひびわれと、床版に橋面からの浸透水が要因と思われる遊離石灰の滲出が見られる。予防保全の観点から補修を行うことが望ましい。	39.094166度	141.103611度
松ノ木沢川2号橋	マツノキザワガウニコウキョウ	前沢	松ノ木沢5号線	1972	13.6	2	II	床版に浸透水が要因と思われる錆汁混じりの遊離石灰が見られる。凍害の影響が懸念されるため、予防保全の観点から速やかに補修することが望ましい。	39.093055度	141.105833度
松ノ木沢川3号橋	マツノキザワガウサウニコウキョウ	前沢	松ノ木沢6号線	1972	13.5	2	II	床版に遊離石灰の析出が見られる。漏水は継続的に見られることから、コンクリート部材への影響が高いと考えられるため、予防保全の観点より速やかに補修することが望ましい。	39.093055度	141.108888度
松ノ木沢橋	マツノキザワハシ	前沢	松ノ木沢外ヶ沢1号線	1972	13.9	3	I	道路橋の機能に支障を生じていない。	39.093055度	141.110833度
松ノ木沢川5号橋	マツノキザワガウゴウニコウキョウ	前沢	松ノ木沢外ヶ沢2号線	不明	13.4	2.5	III	主桁・横桁・支承に腐食、防護柵に腐食とゆるみ・脱落、変形が見られる。支承はアンカーボルトのゆるみも見られることから橋梁構造の安全性の観点から、早期に措置を講ずべき状態。	39.091388度	141.118055度
四谷橋	ヨツヤハシ	前沢	北館四ツ谷線	1970	12.5	6	III	主桁・支承に部材膨張や板厚減少を伴う腐食が見られる。橋梁構造の安全性の観点から、早期に措置を講ずべき状態。	39.091111度	141.119722度
志人沢橋	シニンザハシ	前沢	寺ノ上志人沢線	不明	3.6	3.9	I	道路橋の機能に支障を生じていない。	39.09056度	141.12028度
松ノ木沢川7号橋	マツノキザワガウナナゴウキョウ	前沢	志ノ戸ヶ沢3号線	1971	13.4	3	II	主桁・横桁・支承、防護柵に表裏面の腐食が広範囲に見られる。錆の進行性が高いと考えられるため、予防保全の観点から措置を講ずることが望ましい。	39.091666度	141.127777度
種次橋	シノツギハシ	前沢	折居線	1962	12.6	3.3	II	床版に橋面からの浸透水が要因と思われる遊離石灰、舗装の一部に段差20mmが見られる。予防保全の観点から措置を講ずることが望ましい。	39.091388度	141.137777度
北館橋	キタガハシ	前沢	北館幅下線	1957	12	1.5	I	道路橋の機能に支障を生じていない。	39.090555度	141.139166度
桜町橋	サクラマチハシ	前沢	北館東砂子田線	1985	13.3	4	I	道路橋の機能に支障は生じていない。	39.090277度	141.140277度
館合下橋	タテアイシタハシ	前沢	館合下東見寺下線	1994	14.1	5	I	道路橋の機能に支障は生じていない。	39.085555度	141.138333度
明後沢川4号橋	ミョウゴザワガウヨウニコウキョウ	前沢	東見寺下前沖線	1997	8.8	3.5	I	道路橋の機能に支障は生じていない。	39.083611度	141.144166度
堂田橋	ドウタハシ	前沢	林後1号線	1959	11.2	3.2	II	主桁A1側端部側面に鉄筋露出が見られる。凍害によるものと推定される。予防保全の観点から措置を講ずることが望ましい状態。	39.087500度	141.150833度
関口橋	セキグチハシ	前沢	古館線	1956	11.1	5.5	II	床版に遊離石灰が見られる。橋面からの浸透水が要因と思われる。漏水は継続的で進行性が高いことから予防保全の観点から措置を講ずることが望ましい状態。	39.086111度	141.154722度
館沖橋	タテアイハシ	前沢	船橋古館線	2001	13	12	I	道路橋の機能に支障は生じていない。	39.085555度	141.157777度
松ノ木沢川15号橋	マツノキザワガウジュウゴウニコウキョウ	前沢	保志場津掾根線	1956	11.1	2.3	II	床版に浸透水が要因と推定される遊離石灰が見られ、壁面に凍害が要因と推定される剥離、地覆に凍害が要因と推定される鉄筋露出が見られる。損傷の範囲が広いため、予防保全の観点から措置を講ずることが望ましい状態。	39.085277度	141.160000度
松ノ木沢川16号橋	マツノキザワガウジュウロクニコウキョウ	前沢	保志場沼田線	1979	11.1	5	I	道路橋の機能に支障は生じていない。	39.085000度	141.163055度
明後沢橋	ミョウゴザハシ	前沢	寺ノ上志人沢線	2004	9.4	6	I	道路橋の機能に支障は生じていない。	39.083333度	141.133333度
明後沢川5号橋	ミョウゴザワガウゴウニコウキョウ	前沢	中田前水上西線	2001	10	3.5	I	道路橋の機能に支障は生じていない。	39.083333度	141.146944度
明後沢川6号橋	ミョウゴザワガウロクニコウキョウ	前沢	古館線	2000	10	6	II	伸縮装置に経年劣化が要因と思われる目地材の脱落が見られる。漏水によるコンクリート部材の劣化が懸念されるため、予防保全の観点から補修することが望ましい状態。	39.081944度	141.149166度
丑の子上橋	ウシノコハシ	前沢	新山前中島線	2000	9.5	3.5	I	道路橋の機能に支障は生じていない。	39.081111度	141.151944度
明後沢川12号橋	ミョウゴザワガウジュウニコウキョウ	前沢	野中前新山前線	2000	12	7.1	II	伸縮装置に最大50mmの段差と変形・欠損、舗装にひびわれが見られる。輪荷重の繰り返しによる損傷の拡大が懸念されるため、措置を講ずることが望ましい。	39.081111度	141.152222度
上板子沢橋	イサガザハシ	前沢	横道前裏新田線	2000	11.2	5	I	道路橋の機能に支障は生じていない。	39.073611度	141.100833度
寺領水路1号橋	シヨウスイロイコウキョウ	前沢	荒屋敷沖亀田線	2001	2.3	5.6	I	道路橋の機能に支障は生じていない。	39.076111度	141.135277度
寺領水路2号橋	シヨウスイロニコウキョウ	前沢	荒屋敷沖要害線	1975	4.8	5.1	III	間詰め床版に遊離石灰が見られる。	39.07581度	141.13737度
寺領水路3号橋	シヨウスイロサウニコウキョウ	前沢	内ノ町十文字線	2000	6	2.7	I	道路橋の機能に支障は生じていない。	39.07527度	141.139166度
四反田橋	シタタハシ	前沢	東見寺堂ノ木線	1976	7.6	5.2	I	道路橋の機能に支障は生じていない。	39.076667度	141.153333度
明後沢川10号橋	ミョウゴザワガウジュウニコウキョウ	前沢	高殿鶴田線	1994	9.4	5	II	床版に橋面からの浸透水が要因と思われる漏水・遊離石灰が見られる。凍害の影響が懸念されるため、予防保全の観点から措置を講ずることが望ましい状態。	39.073611度	141.150833度
松ノ木沢川17号橋	マツノキザワガウジュウナナゴウキョウ	前沢	内屋敷線	1996	6	2.5	I	道路橋の機能に支障は生じていない。	39.07694度	141.168611度
前沢水路1号橋	マエザワスイロイコウキョウ	前沢	不動塚線	不明	3	2.7	II	A1橋台壁面にひびわれ、舗装に異常が見られる。	39.06722度	141.11888度
丑沢上橋	ウシザワハシ	前沢	丑沢横道後線	1977	4	8.9	II	A1橋台壁面に変形・欠損が見られる。	39.14111度	141.07638度
丑沢水路4号橋	ウシザワスイロニコウキョウ	前沢	要害十文字線	2003	2.3	3.9	II	頂版に遊離石灰が見られる。予防保全の観点から措置を講ずることが望ましい。	39.070555度	141.136944度
寺領水路7号橋	シヨウスイロナナゴウキョウ	前沢	野中健取線	2001	6	3.7	I	道路橋の機能に支障は生じていない。	39.07025度	141.14850度
寺領水路8号橋	シヨウスイロハチゴウキョウ	前沢	高殿石持線	2001	6.8	3.2	I	道路橋の機能に支障は生じていない。	39.06994度	141.14922度
明後沢川11号線	ミョウゴザワガウジュウイチゴウキョウ	前沢	石持高殿線	1999	4.5	5	II	頂版、側壁に幅0.3~0.4mmのひびわれが見られる。ひびわれ幅が大きいので、予防保全の観点から措置を講ずることが望ましい。	39.069722度	141.149722度
寺領水路9号橋	シヨウスイロクニコウキョウ	前沢	野中前新山前線	2011	6.7	11	I	道路橋の機能に支障は生じていない。	39.070833度	141.146666度
四反田水路3号橋	シタタスイロニコウキョウ	前沢	野中前新山前線	不明	2.9	11.2	II	頂版に幅0.9mm、側壁に幅1.0mmのひびわれが見られる。ひびわれ幅が広く、漏水の影響が懸念されるため、予防保全の観点から速やかに補修することが望ましい。	39.072222度	141.148333度
宮内排水路7号橋	ミヤウチ排水路ニコウキョウ	前沢	上野銭神2号線	1997	2.4	6.5	II	舗装面に凹凸が見られる。輪荷重の繰り返しによる損傷の拡大が懸念されるため、維持工事にて対応する必要がある	39.068888度	141.154166度
迎谷起橋	ムカイギハシ	前沢	迎谷起線	1984	6	5	I	道路橋の機能に支障は生じていない。	39.067500度	141.175277度
輔八橋	ソクハチハシ	前沢	北二ノ台線	1973	4.1	6.9	II	床版に遊離石灰、A2橋台壁面に変形・欠損、舗装に異常が見られる。	39.06305度	141.100555度
丑沢水路8号橋	ウシザワスイロニコウキョウ	前沢	亀田大曲線	1973	8.4	5.2	II	主桁に剥離が見られる。施工目地部に損傷が生じており、凍結融解作用の影響と推定される。水の影響を受ける部位であり、進行性の高い損傷のため、予防保全の観点から補修を行うことが望ましい状態。	39.065277度	141.139444度
丑沢水路9号橋	ウシザワスイロクニコウキョウ	前沢	古城田中野中前線	1978	8.1	2.5	I	道路橋の機能に支障は生じていない。	39.063611度	141.140833度
彼岸田橋	ヒカンデンハシ	前沢	亀田大曲線	1990	8.8	4	I	道路橋の機能に支障は生じていない。	39.063333度	141.148055度

道路橋名	別名	所在	路線名	架設年度 西暦	橋長 (m)	有効 幅員 (m)	R6	所見等	緯度	経度
宮内排水路9号橋	ミヤチハイスイロキョウコウキョウ	前沢	亀田大曲線	1997	2.1	4.2	I	頂版に漏水・遊離石灰、側壁に漏水・滞水が見られる。いずれも変状は局部的であり、道路橋の機能に支障が生じていない。	39.063888度	141.154444度
宮内排水路10号橋	ミヤチハイスイロキョウコウキョウ	前沢	筋田線	1997	2.1	5	I	道路橋の機能に支障が生じていない。	39.062500度	141.154444度
一の沢橋	イチノサハシ	前沢	二ノ沢一ノ沢線	1982	3.5	3.5	I	道路橋の機能に支障が生じていない。	39.06166度	141.076944度
太郎ヶ沢川2号橋	タロウガサワガワコウキョウ	前沢	藤森養ヶ森線	1976	6.8	3	II	主桁に凍害が要因と思われる欠損が見られる。凍害による損傷が大きくなることが予想されるため、速やかに措置を講ずることが望ましい。	39.060277度	141.104444度
丑沢水路10号橋	ウシザワスイロキョウコウキョウ	前沢	安久沢東島田線	1998	3.5	5	II	側壁に漏水・遊離石灰とひびわれ、舗装に路面の凹凸、土砂詰まり、防護柵に防食機能の劣化がみられる。予防保全の観点から補修を行うことが望ましい。	39.060555度	141.141666度
丑沢水路11号橋	ウシザワスイロキョウコウキョウ	前沢	北久保安久沢東線	不明	4.5	5.4	III	主桁の一部に鉄筋露出、堅壁(基礎部)に深さ20cm程度の洗掘が確認される。橋梁構造上の観点から早期に補修を行うことが望ましい。	39.059166度	141.142777度
安久沢南橋	アサキザミナシ	前沢	北久保安久沢東線	不明	3.4	4.2	I	道路橋の機能に支障が生じていない。	39.05888度	141.142777度
藤巻橋	フジマキハシ	前沢	阿部館三反田線	1998	12.3	5	I	道路橋の機能に支障が生じていない。	39.059167度	141.145000度
宮内排水路13号橋	ミヤチハイスイロキョウコウキョウ	前沢	天王谷起1号線	1997	2.5	3.5	II	目地部の欠損が見られる。変状は局部的であるが、漏水によりコンクリート部材の損傷原因に繋がるため、措置を講ずることが望ましい。	39.057777度	141.152777度
天王谷起橋	テンノウキハシ	前沢	明土阿部館線	不明	11.6	7	I	道路橋の機能に支障が生じていない。	39.058055度	141.144444度
宮内排水路11号橋	ミヤチハイスイロキョウコウキョウ	前沢	筋田明土線	1997	2.1	5.2	II	頂版に漏水・滞水、両側壁にひびわれが見られる。漏水は継続的に見られることから、コンクリート部材劣化の進行性が高いと考えられる。予防保全の観点より措置を講ずることが望ましい。	39.061388度	141.154222度
岩の沢川6号橋	イワノサワガワコウキョウ	前沢	生白10号線	不明	5.8	5.3	I	道路橋の機能に支障が生じていない。	39.060277度	141.178333度
岩の沢川7号橋	イワノサワガワコウキョウ	前沢	南在中道線	2001	6.1	9	III	頂版に最大幅0.5mmの床版ひびわれ、翼壁に遊離石灰を伴う0.8mmのひびわれが見られる。予防保全の観点から速やかな補修を行うことが望ましい。	39.058333度	141.175000度
町裏橋	マチウラシ	前沢	南在中道線	1965	7.5	6.5	II	主桁にひびわれやうきが見られる。予防保全の観点から、補修することが望ましい。	39.058056度	141.175000度
下野橋	シモハシ	前沢	町谷地前線	2003	7.8	12.9	II	頂版に0.3mmの床版ひびわれ、両側壁に0.35mmのひびわれ、防護柵にボルトの脱落がみられる。角落ちは見られないがひびわれ幅が大きいため、予防保全の観点から措置を講ずることが望ましい。	39.057777度	141.174166度
本田橋	ホンダハシ	前沢	町谷地前線	1969	5	6.6	I	道路橋の機能に支障が生じていない。	39.057222度	141.175556度
太郎ヶ沢川3号橋	タロウガサワガワコウキョウ	前沢	藤森障増線	1977	13.4	3	II	主桁、横桁に腐食と防食機能の劣化が見られる。支保部は本体とアンカーボルトに腐食がみられ、層状剥離が確認される。予防保全の観点から措置を講ずることが望ましい。	39.058333度	141.108333度
太郎ヶ沢川4号橋	タロウガサワガワコウキョウ	前沢	障増太郎ヶ沢線	不明	6.1	3.2	I	道路橋の機能に支障が生じていない。	39.05277度	141.109166度
大林寺下橋	ダイリンジノカミ	前沢	大林寺下線	1987	4.5	3.8	I	道路橋の機能に支障が生じていない。	39.05611度	141.127222度
宮内排水路16号橋	ミヤチハイスイロキョウコウキョウ	前沢	天王谷起前沢下谷起線	1998	7.4	3	I	道路橋の機能に支障が生じていない。	39.053333度	141.147778度
岩の沢川8号橋	イワノサワガワコウキョウ	前沢	生白23号線	2001	7.7	5.5	II	頂版に床版ひびわれ、側壁にひびわれが見られる。それぞれひびわれ幅は0.2~0.3mmと比較的広いため、予防保全の観点から措置を講ずることが望ましい。	39.053055度	141.171666度
岩の沢川9号橋	イワノサワガワコウキョウ	前沢	生母下谷起線	1976	11	6	I	道路橋の機能に支障が生じていない。	39.051389度	141.164222度
岩の沢川15号橋	イワノサワガワコウキョウ	前沢	生白22号線	不明	9	5	I	道路橋の機能に支障が生じていない。	39.054722度	141.173333度
南在1号橋	ミナミザイイチコウキョウ	前沢	南在4号線	1990	5.9	4.3	I	道路橋の機能に支障が生じていない。	39.052500度	141.173055度
南在2号橋	ミナミザイニコウキョウ	前沢	南在4号線	1990	6.4	5.3	I	道路橋の機能に支障が生じていない。	39.052500度	141.174166度
南在3号橋	ミナミザイサンコウキョウ	前沢	南在4号線	1989	5.8	5.3	II	頂版に乾燥収縮が要因と思われる床版ひびわれが見られる。	39.052777度	141.174222度
生母不動橋	セイボフドウハシ	前沢	町谷地前線	1963	6.4	7.6	II	主桁に剥離・鉄筋露出が見られる。予防保全の観点から、補修することが望ましい。	39.055436度	141.176981度
岩沢橋	イワサハシ	前沢	南在中道線	1967	7.3	6.5	I	道路橋の機能に支障が生じていない状態。	39.053333度	141.172500度
大日向橋	オホヒナタハシ	前沢	大日向線	1998	2.4	4.2	I	道路橋の機能に支障が生じていない。	39.052500度	141.182222度
滝の沢橋	タキノサハシ	前沢	滝ノ沢三沢線	不明	3.7	2.7	I	道路橋の機能に支障が生じていない。	39.0528度	141.191111度
太郎ヶ沢川5号橋	タロウガサワガワコウキョウ	前沢	治ヶ崎太郎ヶ沢線	不明	7.3	3	III	支保部、アンカーボルトに腐食が見られる。前点検から著しい損傷の進行が見られることから、速やかに補修することが望ましい。	39.046667度	141.113611度
岩の沢川10号橋	イワノサワガワコウキョウ	前沢	羽場下谷起線	不明	11.7	5	I	道路橋の機能に支障が生じていない。	39.049444度	141.161389度
岩の沢川11号橋	イワノサワガワコウキョウ	前沢	羽場館下1号線	不明	11.7	5	I	道路橋の機能に支障が生じていない。	39.048333度	141.160000度
雨瀬橋	アメノセハシ	前沢	市ノ渡1号線	不明	5.8	2.7	III	床版全体に剥離が見られる。部材への影響が懸念されることから、速やかに補修することが望ましい。	39.048056度	141.178611度
成岡田橋	ナリノカミハシ	前沢	成岡田線	不明	2.8	6.2	II	頂版継ぎ目に橋面からの浸透水が要因と思われる漏水が見られる。凍害の影響を受ける可能性が高いため、予防保全の観点から補修を行うことが望ましい。	39.055277度	141.191111度
太郎ヶ沢川10号橋	タロウガサワガワコウキョウ	前沢	平前塔ヶ崎線	不明	9.5	1.6	I	道路橋の機能に支障が生じていない。	39.04138度	141.123333度
前沢水路13号橋	マエザワスイロキョウコウキョウ	前沢	高畑2号線	不明	5	3	III	主桁に剥離・鉄筋露出が見られる。進行性のある損傷であることから、早期対策が望ましい。	39.045000度	141.127222度
五反田北橋	ゴタンダキタハシ	前沢	高畑前沢田中線	不明	4.4	3.3	II	両側壁のコンクリートに鉄筋露出が見られる。かぶり不足が要因と推定される。雨水の影響により鉄筋腐食の進行性が高まり、コンクリート部材の損傷原因となり得るため、予防保全の観点から措置を講ずることが望ましい。	39.044166度	141.127777度
前沢水路14号橋	マエザワスイロキョウコウキョウ	前沢	前沢田中高畑線	1994	3.1	5	II	頂版に目地部からの漏水・滞水が見られる。目地部からの漏水は継続的に見られることから、コンクリート部材劣化の進行性が高いと考えられるため、予防保全の観点から措置を講ずることが望ましい。	39.043611度	141.129444度
前沢水路15号橋	マエザワスイロキョウコウキョウ	前沢	南前沢古川線	1994	5.6	5.4	II	頂版と側壁に目地部からの漏水・滞水、地覆側面に遊離石灰を伴うひびわれが見られる。目地部からの漏水は継続的に見られることから、コンクリート部材劣化の進行性が高いと考えられるため、予防保全の観点から措置を講ずることが望ましい。	39.041111度	141.129222度
太郎ヶ沢川7号橋	タロウガサワガワコウキョウ	前沢	大塚線	不明	8.4	4.4	I	道路橋の機能に支障が生じていない。	39.040555度	141.126944度
太郎ヶ沢川8号橋	タロウガサワガワコウキョウ	前沢	南前沢一本杉線	1994	8.4	5	I	道路橋の機能に支障が生じていない。	39.040833度	141.128333度
島橋	シマハシ	前沢	高畑島線	1994	3.2	4.9	II	頂版と側壁に漏水・滞水が見られる。漏水は継続的に見られることから、コンクリート部材劣化の進行性が高いと考えられるため、予防保全の観点から措置を講ずることが望ましい。	39.041111度	141.138333度
太郎ヶ沢川9号橋	タロウガサワガワコウキョウ	前沢	一本杉狐堂線	1994	10.5	5	I	道路橋の機能に支障が生じていない。	39.039444度	141.129222度
谷起橋	ヤキハシ	前沢	屋敷南前沢線	不明	12.1	1.8	III	杭基礎に荷重が要因と推定されるひびわれが見られる。杭の構造的影響が大きいものと推定され、橋梁構造上の安全性の観点から速やかに補修を行う必要がある。	39.036667度	141.131389度
大塚橋	オホツカハシ	前沢	高畑赤面線	1994	10.7	9	II	床版に橋面からの浸透水が要因と思われる遊離石灰の滲出が見られる。舗装ひびわれが発生している箇所直下付近であることから予防保全の観点から措置を講ずることが望ましい。	39.037500度	141.130555度
芥田橋	カイダハシ	前沢	下谷起線	不明	3	3.1	III	主桁に抜け落ちが見られる。	39.03911度	141.15176度
斎田1号橋	サイダイイチコウキョウ	前沢	斎田4号線	2001	3.2	5.4	II	頂版及び側壁に遊離石灰、底版に洗掘が見られる。遊離石灰による凍害の影響が懸念されるため、予防保全の観点から速やかに補修することが望ましい。	39.052777度	141.148055度
田谷下橋	タヤノカミハシ	前沢	田谷線	不明	7	2.7	II	橋脚梁部に凍害の影響による剥離、伸縮装置に15~20mmの段差が見られる。予防保全の観点から措置を講ずることが望ましい。	39.031388度	141.145277度
赤生津開田橋	アカシヅメノカミハシ	前沢	上水向谷起線	不明	7.2	5	I	道路橋の機能に支障が生じていない。	39.029167度	141.142500度
内蔵橋	ウチ蔵ハシ	前沢	吉田小六線	1976	12	3.6	III	主桁に腐食が見られる。前回の点検時から加率的に進行していることから、早期に措置を講ずる必要がある。	39.027222度	141.139222度
箱石橋	ハコシタハシ	前沢	吉田柳沢線	不明	4	7	II	A1橋台壁面に剥離・鉄筋露出、舗装に異常が見られる。	39.02361度	141.141666度
明後沢川13号橋	メイゴザワガワコウキョウ	前沢	真城堂上ノ台下線	1988	12.5	6	I	道路橋の機能に支障が生じていない。	39.083611度	141.144167度
内ノ町橋	ウチノマチハシ	前沢	野田上ノ台下線	不明	2.4	10	I	道路橋の機能に支障が生じていない。	39.074444度	141.141388度
野中前橋	ノナカマエハシ	前沢	野田上ノ台下線	不明	3.4	7	I	道路橋の機能に支障が生じていない。	39.064722度	141.140000度
地蔵橋	チゾウハシ	前沢	園場整備内	不明	2.6	5.2	I	道路橋の機能に支障が生じていない。	39.086611度	141.139222度
前沖1号橋	マエノキチコウキョウ	前沢	館合下前沖線	2004	2.1	5	II	舗装面に凹凸が見られる。輸荷重の繰り返しによる損傷の拡大が懸念されるため、維持工事にて対応する必要がある。	39.084722度	141.144166度
沖屋敷1号橋	オキヤシキコウキョウ	前沢	館合下沖屋敷線	2004	2.1	17	II	舗装面にひびわれが見られる。輸荷重の繰り返しによる損傷の拡大が懸念されるため、維持工事にて対応する必要がある。	39.085277度	141.144166度
島塚1号橋その2	シマツカイチコウキョウ	胆沢	寺下広表線	1991	2.4	3.5	II	頂版及び側壁に漏水が見られる。漏水により今後凍害の影響を受ける可能性が考えられるため、予防保全の観点から措置を講ずることが望ましい。	39.137222度	141.066111度
駒堂橋	コマドウハシ	胆沢	駒堂上広岡線	1998	2.6	4	II	頂版及び側壁に漏水・滞水、漏水・遊離石灰が見られる。損傷範囲が広く、部材への影響が懸念されるため、予防保全の観点から措置を講ずることが望ましい。	39.156388度	141.080555度
上戸橋	ジョウハシ	胆沢	木揚場下川原上代線	1998	2.5	4.5	II	側壁に漏水・滞水、防護柵に変形がみられる。目地部からの漏水は継続的に見られることから、コンクリート部材劣化の進行性が高いと考えられるため、予防保全の観点から措置を講ずることが望ましい。	39.156666度	141.084166度
三谷橋	ミヤハシ	胆沢	上戸1号線	1998	2.4	4.5	II	頂版の継ぎ目に橋面からの浸透水が要因と思われる遊離石灰の滲出、側壁の継ぎ目からの漏水が見られる。範囲も広く、今後凍害の影響を受ける可能性が高いため、予防保全の観点から補修を行うことが望ましい。	39.156944度	141.086944度
糠川1号橋	イノカワイチコウハシ	胆沢	五松林上戸線	1987	8.4	7	I	道路橋の機能に支障が生じていない。	39.152222度	141.078611度
糠川2号橋	イノカワニコウハシ	胆沢	駒堂館線	1979	8.5	7	II	伸縮装置に経年劣化が要因と思われる路面の凹凸が見られる。段差が35mmあり範囲も広く、今後通行車両のタイヤ等に影響を与える可能性が考えられることから、予防保全の観点から補修を行うことが望ましい。	39.151666度	141.078333度
外記橋	ゲキハシ	胆沢	木揚場下川原上代線	1989	6.8	3.3	II	主桁に鉄筋露出が見られる。予防保全の観点から補修することが望ましい。	39.14905度	141.085556度
外記1号橋	ゲキイチコウハシ	胆沢	五木田外記線	1995	3.3	14.4	II	頂版及び側壁に漏水、底版に土砂堆積、舗装に土砂詰まりが見られる。頂版は今後凍害の影響を受ける可能性が考えられるため、予防保全の観点から措置を講ずることが望ましい。	39.150000度	141.086666度
上戸2号橋	ジョウニコウハシ	胆沢	五松林上戸2号橋	不明	2.6	11.5	I	健全であり、部材の機能に支障が生じていない状態。	39.153333度	141.080333度
二丁目橋	ニチョウメハシ	胆沢	堰田宇南田線	不明	3.1	7.1	II	A1橋台壁面にひびわれが見られる。	39.14944度	141.09666度
堰根1号橋	セキイチコウハシ	胆沢	古城千刈田線	不明	3.9	4.5	I	道路橋の機能に支障が生じていない。	39.149166度	141.104166度
谷地中橋	ヤチノカミハシ	胆沢	堰根濁川線	1965	6.5	4	I	道路橋の機能に支障が生じていない。	39.150000度	141.105277度
千刈田橋	センギリハシ	胆沢	千刈田南都田田中線	不明	3.9	3	II	床版に床版ひびわれ、A1側壁面に変形・欠損が見られる。	39.14916度	141.110833度
中井橋	ナカイハシ	胆沢	中井五木田線	1964	2	3.7	III	主桁に剥離・鉄筋露出、A1A2橋台壁面に欠損が見られる。	39.14793度	141.05788度
石仏2号橋	イシブツニコウハシ	胆沢	三反町下川原谷地中線	1993	2.2	4	I	道路橋の機能に支障が生じていない。	39.144444度	141.075833度

道路橋名	アカナ	所在	路線名	架設年度 西暦	橋長 (m)	有効 幅員 (m)	R6	所見等	緯度	経度
石仏1号橋	イボトイコウバン	胆沢	駒堂館線	1979	8.5	7	I	道路橋の機能に支障は生じていない。	39.145555度	141.078611度
熊野橋	クマバン	胆沢	駒堂上広岡線	1967	8.5	3.8	II	道路橋の機能に支障は生じていない。	39.147500度	141.081666度
郷田橋	ゴウダン	胆沢	郷田森下線	不明	5.5	4.7	II	主桁に剥離・鉄筋露出、舗装に段差量72mmの路面の凹凸が見られる。今後鉄筋の腐食が進行すると橋梁構造への影響を与える可能性が考えられるため、予防保全の観点から措置を講ずることが望ましい。	39.146388度	141.092222度
盛興院橋	セイウインバン	胆沢	机地下広岡線	1977	5.3	5.5	II	床版に漏水・遊離石灰、舗装に段差量30mmの路面の凹凸が見られる。床版は、一部に錆汁の混入も確認されるため、予防保全の観点から措置を講ずることが望ましい。	39.146388度	141.094444度
机地1号橋	ウエヂイコウバン	胆沢	袖ノ町千刈田線	1995	2.5	3.5	I	道路橋の機能に支障が生じていない。	39.146666度	141.096666度
机地2号橋	ウエヂニコウバン	胆沢	堰田宇南田線	1995	3	5	I	道路橋の機能に支障が生じていない。	39.146944度	141.096944度
化粧野3号橋	ケショウノサゴウバン	胆沢	化粧野幅下線	1992	2.1	3.8	I	道路橋の機能に支障が生じていない。	39.138333度	141.048333度
島塚3号橋	シマヅカサゴウバン	胆沢	五木田若柳広表1号線	1991	2	4.5	II	頂版に目地部からの漏水が見られる。予防保全の観点から措置を講ずることが望ましい。	39.137222度	141.066111度
谷地中1号橋	ヤチカチコウバン	胆沢	駒堂館線	不明	5.5	6.9	II	A1橋台胸壁にひびわれ、舗装に異常が見られる。	39.141111度	141.079166度
谷地中2号橋	ヤチカニコウバン	胆沢	三反町下川原谷地中線	1953	4	3.5	II	主桁に剥離・鉄筋露出が見られる。	39.06305度	141.10055度
京徳田1号橋	キョウトクイコウバン	胆沢	机地下広岡線	1990	2.9	5	II	頂版に二方向の床版ひびわれが見られる。荷重により、進行性が高くなると考えられるため、予防保全の観点から措置を講ずることが望ましい。	39.138333度	141.095833度
塚田橋	ツカガバン	胆沢	郷田森下線	1997	2.4	3.5	II	防護柵にボルトの脱落が見られる。第三者被害が懸念されるため、措置を講ずることが望ましい。	39.138333度	141.093333度
大橋橋	オオハバン	胆沢	鎌倉北峠線	1968	3.9	11.3	I	道路橋の機能に支障が生じていない。	39.138333度	141.089722度
京徳田橋	キョウトクバン	胆沢	宇南田上中谷地線	1974	6.6	8	II	主桁に欠損、床版に遊離石灰、壁面に幅13mmのひびわれ、防護柵に腐食がみられる。損傷範囲も比較的広いことから、予防保全の観点から補修を行うことが望ましい。	39.138333度	141.098333度
宇南田橋	ウナンバン	胆沢	堰田広表線	2000	2.7	6	I	道路橋の機能に支障が生じていない。	39.138055度	141.101111度
谷地橋	ヤチバン	胆沢	二丁目片子沢線	1978	9.4	3.5	I	道路橋の機能に支障は生じていない。	39.138333度	141.103888度
界田橋	サカイバン	胆沢	堰根湯川線	1993	3.8	6	II	頂版及び側壁に漏水・滞水がみられる。漏水は継続的に見られることから、コンクリート部材劣化の進行性が高いと考えられるため、予防保全の観点より措置を講ずることが望ましい。	39.139722度	141.106388度
午房谷地2号橋	コホウヤチニコウバン	胆沢	宇南田板谷線	1996	3.3	4	II	頂版及び側壁に漏水・滞水が見られる。漏水は継続的に見られ、コンクリート部材劣化の進行性が高くなることから、予防保全の観点より措置を講ずることが望ましい。	39.140277度	141.107222度
午房谷地1号橋	コホウヤチコウバン	胆沢	千刈田鶴田線	1996	3.4	3	I	道路橋の機能に支障が生じていない。	39.140833度	141.108611度
上田中1号橋	カサナカイコウバン	胆沢	上田中明神下線	1995	2.1	4	I	道路橋の機能に支障が生じていない。	39.133055度	141.040000度
上田中2号橋	カサナカニコウバン	胆沢	上田中丹波線	1995	2.2	4.5	I	道路橋の機能に支障が生じていない。	39.133888度	141.041388度
卯台2号橋	ウダイニコウバン	胆沢	卯台丹波線	1992	2.5	4.7	I	道路橋の機能に支障が生じていない。	39.135555度	141.043611度
前川端3号橋	マエカワバタサゴウバン	胆沢	卯台丹波線	1990	7	4	I	道路橋の機能に支障は生じていない。	39.132777度	141.044444度
化粧野1号橋	ケショウノイコウバン	胆沢	島丹波線	1991	2.2	6.1	I	道路橋の機能に支障が生じていない。	39.137222度	141.046388度
三反町1号橋	サンタンマチコウバン	胆沢	下田中松原線	不明	2.2	3.1	I	道路橋の機能に支障が生じていない。	39.134444度	141.054444度
新中1号橋	シンナカイコウバン	胆沢	中井福荷1号線	1991	2.2	6.8	II	頂版および側壁に漏水・滞水が見られる。凍害の影響が懸念されるため、予防保全の観点から措置を講ずることが望ましい。	39.135833度	141.061111度
島塚1号橋	シマヅカイコウバン	胆沢	寺下広表線	1991	2	4.5	I	道路橋の機能に支障が生じていない。	39.137222度	141.066111度
若柳広表橋	ワカヤキヒロモテバン	胆沢	寺下広表線	不明	5	4	I	道路橋の機能に支障を生じていない。	39.136111度	141.069444度
独光1号橋	ドッコウイコウバン	胆沢	独光館線	1989	4.4	8	I	道路橋の機能に支障が生じていない。	39.135833度	141.073055度
南都田大道4号橋	ナンツダイトウヨシコウバン	胆沢	駒堂上広岡線	1995	4.6	5.9	I	道路橋の機能に支障が生じていない。	39.133333度	141.083333度
四ツ柱1号橋	ヨツハシライコウバン	胆沢	鎌倉北峠線	1994	2.3	9.6	I	道路橋の機能に支障が生じていない。	39.134166度	141.090277度
四ツ柱2号橋	ヨツハシニコウバン	胆沢	郷田森下線	1996	2.3	4.3	I	道路橋の機能に支障が生じていない。	39.134444度	141.093888度
駒木橋	コマキバン	胆沢	机地下広岡線	1996	2.3	4.5	I	道路橋の機能に支障が生じていない。	39.134444度	141.096388度
南都田広表1号橋	ナンツダイトモイコウバン	胆沢	宇南田上中谷地線	1997	2.5	8	II	道路橋の機能に支障が生じていない。	39.135000度	141.098888度
南都田広表2号橋	ナンツダイトモニコウバン	胆沢	下松原鶴田線	1997	2.3	14.5	I	道路橋の機能に支障が生じていない。	39.136111度	141.098888度
板谷橋	イタババン	胆沢	板谷鶴田線	1980	5.9	3	I	道路橋の機能に支障を生じていない。	39.13444度	141.109444度
鶴田1号橋	ツルタイコウバン	胆沢	板谷鶴田線	1980	6.3	3	II	主桁に乾燥収縮が要因とされる、ひびわれがみられる。ひびわれ幅0.3mmと広く、漏水の影響が懸念されるため、予防保全の観点から速やかに補修することが望ましい。	39.135000度	141.111944度
鶴田2号橋	ツルタニコウバン	胆沢	鶴田1号線	1994	2.2	8	I	道路橋の機能に支障が生じていない。	39.135555度	141.114444度
上の沢橋	カミノサワバン	胆沢	上愛宕北中央線	1995	10.9	6	I	道路橋の機能に支障は生じていない。	39.127500度	140.968333度
門ヶ城橋	カドノロバン	胆沢	下鹿台愛宕線	不明	6.2	5.8	II	横桁、床版、壁面に凍害が要因とされるに鉄筋露出が見られる。鉄筋の腐食は今後進行するおそれがあるため措置を講ずることが望ましい。	39.128333度	140.987500度
寿安堰橋	ジュアンゼキバン	胆沢	上堰袋橋	1996	4.5	6.8	I	道路橋の機能に支障が生じていない。	39.127655度	141.013266度
土橋2号橋	ドハニコウバン	胆沢	土橋出店線	1993	4.1	4	II	頂版に乾燥収縮が要因と思われる1方向の遊離石灰を伴った床版ひびわれが見られる。予防保全の観点から措置を講ずることが望ましい。	39.127222度	141.031944度
土橋1号橋	ドハニイコウバン	胆沢	土橋大持線	1993	4.5	3.2	I	道路橋の機能に支障が生じていない。	39.128611度	141.031388度
於呂閉志橋	オロシバン	胆沢	土橋明神下線	不明	8.6	4.5	I	道路橋の機能に支障は生じていない。	39.144483度	141.139061度
茂井羅橋	シゲイラバン	胆沢	明神川原北台線	1976	7.4	6.5	I	道路橋の機能に支障は生じていない。	39.131666度	141.036666度
明神下橋	メイシンカバン	胆沢	明神下香取線	1989	2.3	5.1	I	道路橋の機能に支障が生じていない。	39.130833度	141.033611度
堰合1号橋	セカイイコウバン	胆沢	土橋大持線	1989	4	4.4	I	道路橋の機能に支障が生じていない。	39.128333度	141.033333度
堰合2号橋	セカニコウバン	胆沢	土橋出店線	1989	2.8	4.4	I	道路橋の機能に支障が生じていない。	39.127500度	141.034166度
前川端1号橋	マエカワバタコウバン	胆沢	上田中明神下線	1990	7	5	I	道路橋の機能に支障は生じていない。	39.131944度	141.040277度
作屋敷1号橋	サカヤシイコウバン	胆沢	独光館線	1991	2.1	8.2	I	道路橋の機能に支障が生じていない。	39.130000度	141.073611度
園分1号橋	コクブンイコウバン	胆沢	駒堂館線	1965	3.3	5.7	II	主桁に鉄筋露出、A1A2橋台壁面に傾斜が見られる。	39.12833度	141.080333度
下広岡2号橋	シモヒロカニコウバン	胆沢	下広岡谷田線	1995	3.3	3.6	II	頂版および側壁に漏水・滞水が見られる。損傷範囲が広いため、予防保全の観点から措置を講ずることが望ましい。	39.128055度	141.097500度
松岩寺橋	ショウガンジバン	胆沢	宇南田上中谷地線	1975	7.4	8	II	壁面に漏水、防護柵に腐食がみられる。橋台の漏水は広範囲であり、凍害の影響を受けて損傷の進行性が高くなると考えられるため、予防保全の観点から措置を講ずることが望ましい。	39.128055度	141.099722度
下松岩寺橋	シモショウガンジバン	胆沢	下萱刈窪鶴田線	1985	3.2	6.5	I	道路橋の機能に支障が生じていない。	39.128333度	141.100277度
丑ヶ深橋	ウシカフバン	胆沢	谷地片子沢線	1970	3.6	2.7	II	主桁に剥離・鉄筋露出、舗装に路面の凹凸が見られる。	39.12944度	141.102222度
浅野4号橋	アサノヨウバン	胆沢	谷地片子沢線	1995	3.3	4.3	II	頂版と側壁に橋面からの浸透水が要因と思われる遊離石灰の滲出、舗装に58mmの路面の凹凸がみられる。遊離石灰の滲出は広範囲に発生しており、凍害による損傷の要因にもなりうることから、予防保全の観点から補修を行うことが望ましい。	39.128055度	141.102222度
浅野橋	アサノバン	胆沢	下萱刈窪鶴田線	1986	3.5	6.5	II	頂版及び側壁にかぶり不足が要因と思われる鉄筋露出、地覆に鉄筋腐食膨張が要因と思われるうきが見られる。局所的であるが鉄筋腐食が進行しつつあるため、予防保全の観点から補修を行うことが望ましい。	39.129644度	141.103838度
浅野1号橋	アサニイコウバン	胆沢	二丁目片子沢線	1980	5	3.2	II	A1A2橋台壁面に剥離・鉄筋露出、舗装に路面の凹凸が見られる。	39.13156度	141.104736度
濁川2号橋	ニツカニコウバン	胆沢	二丁目片子沢線	1995	3.3	3.6	II	道路橋の機能に支障が生じていない。	39.127913度	141.104905度
濁川3号橋	ニツカワサコウバン	胆沢	堰根川線	1994	3.3	4	II	頂版に橋面からの浸透水が要因と思われる漏水がみられる。漏水は広範囲に発生しており、今後凍害の影響を受けやすいことから、予防保全の観点から補修を行うことが望ましい。	39.127833度	141.108463度
愛宕橋	アダバン	胆沢	愛宕堰通線	不明	7	6.5	II	床版に遊離石灰、壁面にひびわれ、舗装に路面の凹凸が見られる。主桁・床版は、遊離石灰を伴う漏水の影響により、今後も進行する恐れがあるため、予防保全の観点から措置を講ずることが望ましい。	39.123502度	141.000477度
土橋3号橋	ドハニサンコウバン	胆沢	土橋堰合線	不明	4.2	3.5	I	道路橋の機能に支障が生じていない。	39.125452度	141.032341度
出店3号橋	デタナサンコウバン	胆沢	出店御清水場2号線	1990	2.4	3.5	I	道路橋の機能に支障が生じていない。	39.126186度	141.041258度
出店1号橋	デタナイコウバン	胆沢	明神川原北台線	1989	2.7	7	I	道路橋の機能に支障が生じていない。	39.126488度	141.036638度
柏木田2号橋	カシノギタニコウバン	胆沢	柏木田八幡屋敷線	1990	2.7	4	I	道路橋の機能に支障が生じていない。	39.125777度	141.045377度
大町2号橋	オオマチニコウバン	胆沢	大町若柳武枝橋線	1990	2.3	5.2	I	道路橋の機能に支障が生じていない。	39.125575度	141.048027度
大町1号橋	オオマチイコウバン	胆沢	化粧野幅下線	1990	2.3	3	I	道路橋の機能に支障が生じていない。	39.125450度	141.050558度
茂井羅南堰橋	シゲイラミナセキバン	胆沢	相馬権南都田小十文字線	1987	8.5	7.2	I	道路橋の機能に支障が生じていない状態。	39.144483度	141.139061度
要害2号橋	ヨガイニコウバン	胆沢	相馬権南都田小十文字線	1985	8.4	5	I	道路橋の機能に支障は生じていない。	39.124563度	141.063127度
要害4号橋	ヨガイヨウバン	胆沢	要害南都田小十文字線	1991	2.3	3.4	I	健全である。	39.124258度	141.064958度
鍛冶屋敷1号橋	カシヤシイコウバン	胆沢	要害南都田小十文字線	2000	6.1	3.5	I	道路橋の機能に支障は生じていない。	39.12291度	141.064736度
林福野2号橋	リンフクノニコウバン	胆沢	濃町蛸の手線	1994	3.3	5.4	II	頂版、側壁に目地からの漏水、舗装に路面の凹凸、ひびわれ等が見られる。予防保全の観点から措置を講ずることが望ましい。	39.125158度	141.077500度
林福野1号橋	リンフクノイコウバン	胆沢	独光館線	1994	2.7	16.8	II	舗装に経年劣化が要因と思われる最大76mmの凹凸が見られる。予防保全の観点から措置を講ずることが望ましい。	39.124708度	141.074625度

道路橋名	フカナ	所在	路線名	架設年度 西暦	橋長 (m)	有効幅員 (m)	R6	所見等	緯度	経度
大持1号橋	ダイモチイゴウバン	胆沢	独加賀谷地線	1992	3.3	7.2	I	頂版に一方向ひびわれ、欠損が見られる。どちらも損傷が軽微であるため、状況に応じて補修を行なうことが望ましい。	39.12436度	141.07096度
大持2号橋	ダイモチニゴウバン	胆沢	独加賀谷地線	1992	4.5	6	II	頂版に乾燥収縮が要因と推定される一方向のひびわれが見られる。ひびわれの進行が見られるため、予防保全の観点から措置を講ずることが望ましい。	39.12431度	141.07096度
上広岡橋	カミヒロカハシ	胆沢	上広岡森下線	1994	3.5	3.3	II	A1側側壁のPC鋼材縦締め金具の保護コンクリートが剝離している。定着金具に腐食が見られる程度であるが、予防保全の観点から措置を講ずることが望ましい。	39.125544度	141.088191度
園分2号橋	コウブンニゴウバン	胆沢	上広岡化粧坂線	1994	3.3	5.2	II	PC鋼材縦締め金具の保護コンクリートが剝離している。定着金具に腐食が見られる程度であるが、予防保全の観点から措置を講ずることが望ましい。	39.125408度	141.085197度
滑志田橋	ナブタダハシ	胆沢	駒堂館線	1994	3.4	6.3	II	目地部からの漏水が要因と推定される遊離石灰の滲出が見られる。漏水は継続的で、進行性が高いと考えられるため、予防保全の観点から措置を講ずることが望ましい。	39.125677度	141.081366度
滑志田1号橋	ナブタダイゴウバン	胆沢	駒堂館線	1965	2	6.2	I	道路橋の機能に支障が生じていない。	39.122211度	141.081769度
嵯谷田橋	コウザダハシ	胆沢	細田森下線	1995	3.4	5.5	I	道路橋の機能に支障が生じていない状態。	39.121516度	141.095330度
下広岡1号橋	シモヒロカハシ	胆沢	細田森下線	1995	3.7	2.8	II	PC鋼材縦締め金具の保護コンクリートが剝離している。定着金具に腐食が見られる程度であるが、予防保全の観点から措置を講ずることが望ましい。	39.126863度	141.094675度
堀川橋	アホカハシ	胆沢	鎌倉北峠線	1995	3.4	11.1	II	頂版に橋面からの浸透水による漏水、側壁には凍害の影響による鉄筋露出が確認された。今後、凍害の影響を受けやすいことから、予防保全の観点から措置を講ずることが望ましい。	39.125733度	141.091875度
片子沢橋	カタザハシ	胆沢	宇南田上中谷地線	1975	6.1	8.1	II	橋台壁に乾燥収縮が要因と思われるひびわれ、支保本体に経年劣化による腐食と防食機能の劣化がみられる。ひびわれは、幅が広く漏水の影響が懸念されるため、予防保全の観点から速やかに補修することが望ましい状態。	39.123236度	141.103758度
嵯谷田1号橋	コウザダイゴウバン	胆沢	嵯谷田2号線	1995	3.4	4	II	目地部から橋面からの浸透水が要因と推定される漏水が見られる。漏水は継続的で、進行性が高いと考えられるため、予防保全の観点から措置を講ずることが望ましい。	39.121875度	141.098361度
片子沢1号橋	カタザイゴウバン	胆沢	片子沢1号線	1997	3.5	8.4	II	頂版・側壁に漏水が見られる。予防保全の観点から措置を講ずることが望ましい。	39.124697度	141.107525度
上堰橋	ウベキハシ	胆沢	梁岩堰通線	1991	5.3	6.5	II	頂版に繰り返し荷重が要因と推定される幅0.3mm程度のひびわれが見られる。また、漏水・遊離石灰の滲出も部分的に見られる。	39.119927度	141.031944度
堀通橋	ホリトシハシ	胆沢	堀通線	1991	3.7	3.4	II	側壁に乾燥収縮が要因と推定されるひびわれが見られる。損傷の進行が見られるため、予防保全の観点から補修を行うことが望ましい。	39.118825度	141.031944度
上堰1号橋	ウベキイゴウバン	胆沢	梁岩堰通線	1992	2.4	6.5	II	頂版に漏水・遊離石灰、側壁に漏水が見られる。予防保全の観点から補修を行うことが望ましい。	39.119941度	141.031772度
上堰2号橋	ウベキニゴウバン	胆沢	瓦口上堰線	1991	3.8	4.2	I	道路橋の機能に支障が生じていない状態。	39.117958度	141.031297度
土橋5号橋	ドハシゴウバン	胆沢	土橋幅下線	1992	4.1	4	II	頂版に乾燥収縮が要因と推定されるひびわれが見られる。予防保全の観点から措置を講ずることが望ましい。	39.121658度	141.032561度
山の神橋	ヤマノカミハシ	胆沢	明神川原北台線	1984	7.7	7	I	道路橋の機能に支障は生じていない。	39.117797度	141.036880度
一枚橋	イチマイハシ	胆沢	下萱刈窪鶴田線	1986	12.5	7	I	道路橋の機能に支障は生じていない。	39.116666度	141.042336度
山ノ神2号橋	ヤマノカミニゴウバン	胆沢	明神川原北台線	1992	3.7	7.1	II	頂版・側壁に遊離石灰が見られる。予防保全の観点から措置を講ずることが望ましい。	39.11792度	141.03692度
山ノ神3号橋	ヤマノカミサンゴウバン	胆沢	下萱刈窪鶴田線	1991	3.6	8.3	I	道路橋の機能に支障が生じていない。	39.116725度	141.042513度
二枚橋	ニマイハシ	胆沢	下萱刈窪鶴田線	1986	2.7	7.1	I	道路橋の機能に支障が生じていない。	39.118208度	141.044450度
野中1号橋	ノナカハシ	胆沢	野中下十文字線	1993	2.8	3	I	道路橋の機能に支障が生じていない状態。	39.116863度	141.047350度
下十文字2号橋	シモジュウモンジニゴウバン	胆沢	下十文字線	1992	2.4	4.5	I	道路橋の機能に支障が生じていない状態。	39.116316度	141.049491度
幅原敷3号橋	ハバヤシキサンゴウバン	胆沢	善塚南都田小十文字線	1996	2.1	3.6	II	頂版、側壁に目地からの漏水が見られる。予防保全の観点からなるべく速やかな補修を行うことが望ましい。	39.121388度	141.058055度
石行橋	イシヨウハシ	胆沢	石行1号線	2004	2.6	5	I	道路橋の機能に支障は生じていない。	39.119166度	141.065555度
蟻の手2号橋	アリテハシ	胆沢	蟻の手2号線	1965	2.5	6.2	II	流水による側壁の浸食が見られる。予防保全の観点から、補修を行うことが望ましい。	39.116944度	141.082222度
萩の窪1号橋	ハギノクボイゴウバン	胆沢	鎌倉北峠線	1995	4.1	14.7	I	道路橋の機能に支障が生じていない。	39.121111度	141.092222度
川北2号橋	カキタニゴウバン	胆沢	北長権南長権線	1982	5.1	2.1	II	主桁に遊離石灰を伴うひびわれが見られる。	39.11694度	141.096388度
下長権橋	シモナガケンハシ	胆沢	宇南田上中谷地線	1976	5.1	8	I	道路橋の機能に支障は生じていない。	39.118333度	141.106666度
川北1号橋	カキタイゴウバン	胆沢	川北前屋沢線	1983	4.8	7	II	頂版に乾燥収縮が要因と推定される一方向のひびわれが見られる。ひびわれの進行が見られるため、予防保全の観点から措置を講ずることが望ましい。	39.117777度	141.099722度
北笠森3号橋	キタササキサンゴウバン	胆沢	北笠森8号線	1978	5.4	6.5	I	道路橋の機能に支障は生じていない。	39.116111度	141.118333度
下笠森橋	シモササキハシ	胆沢	笠森下笠森線	2000	2.3	6.9	II	頂版、側壁に目地からの漏水が見られる。予防保全の観点からなるべく速やかな補修を行うことが望ましい。	39.116944度	141.127500度
下笠森3号橋	シモササキサンゴウバン	胆沢	小山二枚橋南笠森線	2000	2.3	6.7	II	頂版、側壁に目地からの漏水が見られる。予防保全の観点からなるべく速やかな補修を行うことが望ましい。	39.117222度	141.128888度
下笠森1号橋	シモササキイゴウバン	胆沢	下笠森小山二枚橋線	1977	11	3.2	I	道路橋の機能に支障は生じていない。	39.11805度	141.130833度
下笠森2号橋	シモササキニゴウバン	胆沢	岩ヶ馬場小山二枚橋線	1975	12.5	3	II	主桁・横桁・支保部本体に腐食が見られる。予防保全の観点から措置を講ずることが望ましい。	39.118333度	141.131944度
二枚橋1号橋	ニマイハシイゴウバン	胆沢	龍ヶ馬場小山二枚橋線	1990	4.1	5.8	I	健全である。	39.117777度	141.135277度
宮沢原橋	ミヤザハラハシ	胆沢	宮沢原横沢原線	不明	4.2	5.9	I	道路橋の機能に支障は生じていない。	39.11416度	141.00000度
若柳西風1号橋	ワカヤシナライイゴウバン	胆沢	上土橋上中沢線	1977	3	6.6	II	頂版に橋面からの浸透水が要因と思われる漏水が見られる。今後、凍害の影響を受けやすいことから、予防保全の観点から措置を講ずることが望ましい。	39.113333度	141.012500度
若柳西風6号橋	ワカヤシナライロクゴウバン	胆沢	上土橋上中沢線	1995	3.6	6.2	II	頂版に橋面からの浸透水が要因と思われる漏水が見られる。凍害の影響を受けやすいことから、予防保全の観点から速やかに補修することが望ましい。	39.110833度	141.007222度
野中3号橋	ノナカサンゴウバン	胆沢	南丑軒下十文字線	1989	2	6.2	I	道路橋の機能に支障は生じていない。	39.113333度	141.050277度
上十文字橋	カミジュウモンジハシ	胆沢	南丑軒下十文字線	1990	14	6.5	I	伸縮装置部に路面の凹凸、地覆に変形・欠損が見られるが、道路橋の機能に支障は生じていない。	39.11102度	141.04439度
十文字橋	ジュウモンジハシ	胆沢	小山小十文字長泥線	1993	2.2	5.9	I	健全である。	39.115555度	141.053611度
長泥橋	ナガドロハシ	胆沢	相馬権前嘉藤線	1989	7.3	6	I	道路橋の機能に支障は生じていない。	39.115555度	141.059722度
小山小十文字1号橋	オヤマコジュウモンジイゴウバン	胆沢	小山小十文字長泥線	1993	2.2	3.4	I	健全である。	39.115555度	141.056388度
小山小十文字2号橋	オヤマコジュウモンジニゴウバン	胆沢	小山小十文字長泥2号線	1993	2.2	3.4	I	健全である。	39.115555度	141.058055度
長泥1号橋	ナガドロイゴウバン	胆沢	下十文字長泥1号線	1993	2.2	3.4	I	健全である。	39.114444度	141.065000度
蟻の手3号橋	アリテサンゴウバン	胆沢	漆町蟻の手線	1967	3.5	3.8	II	主桁に剥離・鉄筋露出が見られる。	39.11527度	141.079166度
蟻の手1号橋	アリテイゴウバン	胆沢	独光館線	1995	2.7	15.6	II	頂版に漏水・遊離石灰、側壁に鉄筋露出が見られる。漏水は今後も継続的に見られることから、措置を講ずることが望ましい。	39.114444度	141.075833度
北端の手橋	キタノテハシ	胆沢	駒堂館線	1968	7.8	5.9	I	道路橋の機能に支障が生じていない状態。	39.112777度	141.082222度
川北橋	カキタハシ	胆沢	駒堂館線	1969	7.4	7.5	I	道路橋の機能に支障は生じていない。	39.112222度	141.082222度
南長権1号橋	ミナナガケンイゴウバン	胆沢	鎌倉北峠線	1977	5.3	5.6	II	床版に遊離石灰を伴う格子状のひびわれが見られるため、予防保全の観点から措置を講ずることが望ましい。	39.11249度	141.09222度
長権橋	ナガケンハシ	胆沢	鎌倉北峠線	1968	5.3	6	II	壁面に浸透水が要因と推定される漏水が見られる。凍害の影響が懸念されるため、予防保全の観点から速やかに補修することが望ましい。	39.115833度	141.091944度
南長権2号橋	ミナナガケンニゴウバン	胆沢	北長権南長権線	1994	6	2.8	I	道路橋の機能に支障は生じていない。	39.11250度	141.095555度
北屋沢1号橋	キタウサザイゴウバン	胆沢	北屋沢中屋沢線	不明	7.3	3	II	床版に遊離石灰が見られる。予防保全の観点から措置を講ずることが望ましい。	39.113888度	141.106666度
北屋沢2号橋	キタウサザニゴウバン	胆沢	北屋沢1号線	不明	7.2	4	II	床版に遊離石灰が見られる。予防保全の観点から措置を講ずることが望ましい。	39.110833度	141.106944度
中屋沢橋	ナカウサザハシ	胆沢	宇南田上中谷地線	1975	8.1	8	II	A1・A2壁面に伸縮装置からの浸透水が要因と思われる漏水が見られる。広範囲に発生しており、凍害による損傷の要因にもなりうることから、予防保全の観点から補修を行うことが望ましい。	39.111666度	141.104166度
南長権橋	ミナナガケンハシ	胆沢	川北前屋沢線	1977	7.4	6.5	II	壁面に凍害が要因と推定される鉄筋露出が見られる。損傷の進行が懸念され、予防保全の観点から措置を講ずることが望ましい。	39.112777度	141.098888度
附野1号橋	ツケイゴウバン	胆沢	附野南笠森線	2000	3	5	II	目地部からの漏水が要因と推定される錆汁を伴う遊離石灰が見られる。漏水は継続的で、進行性が高いと考えられるため、予防保全の観点から措置を講ずることが望ましい。	39.115833度	141.123888度
中萩森橋	ナカハギモリハシ	胆沢	中萩森上萩森2号線	1969	6.2	7	I	道路橋の機能に支障は生じていない。	39.105555度	140.980333度
若柳西風3号橋	ワカヤシナライサンゴウバン	胆沢	天沢丑軒線	1993	3.6	9.2	I	道路橋の機能に支障は生じていない。	39.107777度	141.011111度
南丑軒2号橋	ミナウシケンニゴウバン	胆沢	南丑軒線	1984	4.9	5.1	I	道路橋の機能に支障は生じていない。	39.110277度	141.019444度
上十文字1号橋	カミジュウモンジイゴウバン	胆沢	南丑軒下十文字線	1996	2.9	7.5	I	道路橋の機能に支障は生じていない。	39.109166度	141.032777度
北台1号橋	キタノハシ	胆沢	明神川原北台線	1994	2.2	5.4	II	頂版、側壁の目地からの漏水が見られる。状況に応じて補修を行うことが望ましい。	39.106111度	141.039444度
北台橋	キタノハシ	胆沢	上十文字下大谷地線	1977	12.2	5	II	拡幅桁の目地材の劣化と脱落が見られる。漏水を伴っており、予防保全の観点から措置を講ずることが望ましい。	39.108888度	141.043055度
北台2号橋	キタノハシ	胆沢	上十文字下大谷地線	1991	2.3	5.4	II	頂版及び側壁において、漏水・遊離石灰が見られる。また、剥離・鉄筋露出が見られる。状況に応じて補修を行うことが望ましい。	39.108888度	141.043055度
久保5号橋	クボゴウバン	胆沢	高線久保線	不明	7.8	3.5	I	道路橋の機能に支障は生じていない。	39.10611度	141.074444度
久保6号橋	クボロクゴウバン	胆沢	久保2号線	不明	5.1	3.7	I	道路橋の機能に支障は生じていない。	39.10666度	141.073333度
上屋沢2号橋	カミウサザニゴウバン	胆沢	上屋沢前屋沢線	1991	3.3	6	II	頂版にひびわれが見られる。損傷の進行は見られないがひびわれ数が多いため予防保全の観点から補修することが望ましい。	39.108888度	141.092222度
北大畑1号橋	キタオハタヒイゴウバン	胆沢	北大畑平1号線	2000	3.9	5.3	I	道路橋の機能に支障は生じていない。	39.10416度	141.023611度
北大畑3号橋	キタオハタヒサンゴウバン	胆沢	土橋上大平線	2009	7.5	7	I	道路橋の機能に支障は生じていない。	39.105277度	141.021388度
北大畑2号橋	キタオハタヒニゴウバン	胆沢	山の神北大畑平線	1993	3.9	9.3	II	頂版に橋面からの浸透水が要因と思われる漏水が見られる。凍害の影響を受けやすいことから、予防保全の観点から措置を講ずることが望ましい。	39.10107度	141.02816度
下大畑3号橋	シモオハタヒサンゴウバン	胆沢	南台二ノ台線	1996	4	4.3	II	頂版に鉄筋露出が見られる。漏水も伴うことから変状が加速するものと推定される。予防保全の観点から措置を講ずることが望ましい。	39.100000度	141.038888度

道路橋名	別号	所在	路線名	架設年度 西暦	橋長 (m)	有効 幅員 (m)	R6	所見等	緯度	経度
南台1号橋	ミミダイチゴウハン	胆沢	南台小山大道線	1996	12.6	9.1	II	床版に橋面からの浸透水が要因と推定される錆跡を伴う漏水が見られる。変状は局部的であるが予防保全の観点から措置を講ずることが望ましい。	39.101388度	141.045277度
伊勢堂橋	イセドウハン	胆沢	南台小山大道線	1992	2.3	6	II	頂版継目部に欠損が認められる。雨水の影響を受けやすく、コンクリート部材劣化が懸念されるため予防保全の観点から措置を講ずることが望ましい。	39.101388度	141.045555度
上大谷地橋	オホオヤチバシ	胆沢	上中沢萩屋敷線	1991	2.4	8.3	II	頂版に凍害が要因と推定される剥離が見られる。予防保全の観点から補修することが望ましい。	39.104444度	141.042777度
荒屋敷1号橋	アラヤシキチゴウハン	胆沢	上中沢萩屋敷線	1968	3.5	6.6	II	頂版に乾燥収縮が要因と想定されるひびわれが見られる。前点検から進展性がみられるため、予防保全の観点から措置を講ずることが望ましい。	39.101944度	141.059722度
荒屋敷2号橋	アラヤシキニコウハン	胆沢	南大谷地二ノ台線	1997	2	14.6	II	頂版・側壁漏水・遊離石灰が見られる。予防保全の観点から速やかに補修を行うことが望ましい。	39.101666度	141.060000度
南大谷地1号橋	ミミオヤチチゴウハン	胆沢	南大谷地明山線	1996	2.1	6.9	I	健全である。	39.101388度	141.061111度
南大谷地2号橋	ミミオヤチニコウハン	胆沢	小山大道明山1号線	1993	2.2	7.7	II	頂版及び側面継目部に漏水・遊離石灰が認められる。雨水の影響を受けやすく、コンクリート部材劣化が懸念されるため予防保全の観点から措置を講ずることが望ましい。	39.100833度	141.062500度
小山大道橋	オヤマダイトウハン	胆沢	小山大道明山線	1996	2	6	I	健全である。	39.100000度	141.065277度
館2号橋	タテニコウハン	胆沢	駒堂館線	不明	4.4	7	III	主桁に剥離・鉄筋露出が見られる。	39.10507度	141.08151度
北峰2号橋	キウトケニコウハン	胆沢	鎌倉北峰線	1996	2	5	I	道路橋の機能に支障が生じていない。	39.103055度	141.086666度
上柴山3号橋	カシハヤマサノゴウハン	胆沢	上柴山方八丁3号線	不明	7.4	3.5	I	道路橋の機能に支障が生じていない。	39.10222度	141.096111度
北峰1号橋	キウトケイチゴウハン	胆沢	前星沢北峰線	1996	2	6	II	頂版、側壁に目地からの漏水が見られる。予防保全の観点からなる。	39.102777度	141.090277度
齊藤橋	サイウハン	胆沢	宇南田上中谷地線	1977	5.1	8	II	床版につらら状の遊離石灰が見られる。予防保全の観点から措置を講ずることが望ましい。	39.102500度	141.102500度
上柴山1号橋	カシハヤマサノゴウハン	胆沢	上柴山方八丁1号線	1994	6	3.7	I	道路橋の機能に支障は生じていない。	39.10250度	141.101388度
上柴山2号橋	カシハヤマニコウハン	胆沢	上柴山方八丁2号線	不明	7.3	3.5	I	道路橋の機能に支障は生じていない。	39.10250度	141.098611度
上柴山4号橋	カシハヤマサノゴウハン	胆沢	上柴山齊藤線	1994	7.3	3.5	I	道路橋の機能に支障は生じていない。	39.10250度	141.103333度
上柴山5号橋	カシハヤマニコウハン	胆沢	柴山齊藤1号線	不明	7.3	4.5	I	道路橋の機能に支障は生じていない。	39.10194度	141.106111度
上ノ台1号橋	カミノダイチゴウハン	胆沢	上ノ台2号線	1994	2	4.2	II	頂版継目部に欠損が認められる。雨水の影響を受けやすく、コンクリート部材劣化が懸念されるため予防保全の観点から措置を講ずることが望ましい。	39.096388度	141.018888度
下大畑平1号橋	シモオハヒライチゴウハン	胆沢	下大畑平前四ツ屋線	1994	4.1	7.8	II	頂版に床版ひびわれが見られる。予防保全の観点から措置を講ずることが望ましい。	39.096944度	141.034166度
下大畑平4号橋	シモオハヒライチゴウハン	胆沢	南台二ノ台線	不明	4.5	4.4	II	主桁に剥離・鉄筋露出、A1/A2橋台壁に変形・欠損が見られる。	39.09666度	141.038888度
下大畑平5号橋	シモオハヒライチゴウハン	胆沢	下大畑平一ノ台線	不明	3.3	5	I	健全である。	39.096944度	141.035555度
寿安橋	ジュアンハン	胆沢	伊勢堂小田切線	1993	13.1	4	II	A1壁面に凍害が要因と推定される剥離が見られる。変状の進行が見られるため、予防保全の観点から措置を講ずることが望ましい。	39.095833度	141.048888度
南台2号橋	ミミダイニコウハン	胆沢	南台伊勢堂線	1994	12.6	5	I	道路橋の機能に支障が生じていない状態。	39.099722度	141.044722度
岩洞沢橋	カントウザウハン	胆沢	岩洞沢線	不明	8.9	5.1	I	道路橋の機能に支障が生じていない状態。	39.097500度	141.045555度
岩洞沢2号橋	カントウザウニコウハン	胆沢	南台岩洞沢1号線	1996	3.9	3.5	II	頂版に遊離石灰の滲出が見られる。損傷の進行性が高いと考えられるため、予防保全の観点から措置を講ずることが望ましい。	39.09867度	141.043333度
萩屋敷橋	ハギヤシキハン	胆沢	高緑明山線	1996	2.3	6.5	II	頂版、側壁に目地からの漏水が見られる。また、舗装にひびわれが見られる。予防保全の観点からなるべく速やかな補修を行うことが望ましい。	39.094722度	141.068888度
萩屋敷3号橋	ハギヤシキサノゴウハン	胆沢	高緑萩屋敷線	不明	2.4	2.5	I	道路橋の機能に支障が生じていない状態。	39.096944度	141.072777度
萩屋敷4号橋	ハギヤシキサノゴウハン	胆沢	萩屋敷上恩裕線	1994	2.3	9.7	II	頂版、側壁に目地からの漏水が見られる。予防保全の観点からなるべく速やかな補修を行うことが望ましい。	39.095833度	141.074166度
萩屋敷5号橋	ハギヤシキニコウハン	胆沢	萩屋敷上恩裕1号線	不明	2	3	II	頂版に目地からの漏水およびひびわれ、側壁に目地からの漏水、舗装に凹凸が見られる。予防保全の観点からなるべく速やかな補修を行うことが望ましい。	39.095277度	141.072500度
館1号橋	タテチゴウハン	胆沢	萩屋敷北峰線	1960	2.6	6.7	II	流水による壁の浸食が見られる。予防保全の観点から、補修を行うことが望ましい。	39.099166度	141.079722度
下野中橋	シモノカハシ	胆沢	南峰下野中1号線	1968	3.3	6	I	道路橋の機能に支障は生じていない。	39.09916度	141.081388度
下野中1号橋	シモノカハチゴウハン	胆沢	下野中1号線	不明	3.3	6.5	III	A1/A2橋台壁に変形・欠損が見られる。	39.09915度	141.08186度
道場橋	ドウバシ	胆沢	道場外浦線	不明	8.5	5	II	床版に遊離石灰を伴う漏水が見られる。変状は全体的に見られるため、予防保全の観点から措置を講ずることが望ましい。	39.09458度	141.08015度
齊藤2号橋	サイウニコウハン	胆沢	柴山齊藤4号線	不明	7.9	6.1	I	道路橋の機能に支障は生じていない。	39.096666度	141.114444度
齊藤1号橋	サイウチゴウハン	胆沢	柴山齊藤3号線	不明	11.1	3.8	I	道路橋の機能に支障は生じていない。	39.097222度	141.114166度
齊藤3号橋	サイウサノゴウハン	胆沢	方八丁柴山線	2020	3.4	6.3	I	道路橋の機能に支障は生じていない。	39.09750度	141.11389度
齊藤4号橋	サイウヨコウハン	胆沢	齊藤柴山線	不明	4.5	4.3	III	A1橋台基礎部(ハイルベント)に剥離・鉄筋露出が見られる。	39.09972度	141.113055度
萩森橋	ハギモリハン	胆沢	中萩森新田線	1977	5.4	7	I	道路橋の機能に支障は生じていない。	39.090833度	141.014444度
中沢橋	ナカザウハン	胆沢	上中沢萩屋敷線	1964	5.5	5.1	II	A1・A2の橋台壁に剥離が見られる。広範囲であるため、予防保全の観点から措置を講ずることが望ましい。	39.091111度	141.01756度
中沢3号橋	ナカザウサノゴウハン	胆沢	中沢11号線	1990	2.9	6	I	道路橋の機能に支障が生じていない状態。	39.089722度	141.024444度
下大畑平2号橋	シモオハヒライチゴウハン	胆沢	下大畑平前四ツ屋線	1952	3.3	7.6	II	舗装にひびわれが見られる。経年劣化が要因と推定される。前点検時より範囲が拡大しており、ひびわれ幅も1.3〜10.0mmに広がっていることから道路利用者の安全性の低下が懸念されることから措置を講ずることが望ましい。	39.094166度	141.037777度
明山1号橋	アカヤマチゴウハン	胆沢	小山大道明山1号線	1990	4.2	5	II	頂版にひびわれが見られる。前点検から進展性がみられるため、予防保全の観点から措置を講ずることが望ましい。	39.09411度	141.06124度
下恩裕橋	シモノゾウハン	胆沢	道場下沢田線	不明	11	6.4	II	床版に浸透水が要因と推定される遊離石灰、壁面に凍害が要因とされる剥離、地覆に鉄筋露出が見られる。損傷の進行により、凍害の影響が懸念されるため、予防保全の観点から速やかに補修することが望ましい。	39.093611度	141.082777度
前大畑橋	マエオハヒハン	胆沢	前大畑大堤線	1970	11.4	6	II	床版に橋面からの浸透水が要因と推定される遊離石灰が見られる。変状は全体的に見られるため、予防保全の観点から措置を講ずることが望ましい。	39.093055度	141.090000度
西油地2号橋	ニシアブチニコウハン	胆沢	西油地上中谷地線	不明	2	4	II	頂版に目地からの漏水及び防護柵の変形・欠損が見られる。予防保全の観点からなるべく速やかな補修を行うことが望ましい。	39.089166度	141.099722度
西油地1号橋	ニシアブチチゴウハン	胆沢	東油地下中谷地2号橋	不明	2	4	II	側壁に目地からの漏水及びひびわれが見られる。予防保全の観点からなるべく速やかな補修を行うことが望ましい。	39.089166度	141.099722度
東油地3号橋	ヒシアブチサノゴウハン	胆沢	東油地後四ツ屋線	不明	6.7	6.1	II	A1橋台脚壁天端に剥離が見られる。他部材への影響が懸念され、予防保全の観点から、補修することが望ましい。	39.088888度	141.107222度
下中沢橋	シモカサウハン	胆沢	南台二ノ台線	1925	6	4.7	III	壁面に凍害が要因と推定される剥離や欠損が見られる。変状深さが大きいため、橋梁構造の安全性の観点から早期に措置を講ずる必要がある。	39.086944度	141.036111度
赤塚2号橋	アカビキニコウハン	胆沢	赤塚後鞍骨線	1987	3.4	5.4	II	側壁に幅0.5mmのひびわれが見られる。前点検時から加率的に進行しており、予防保全の観点から措置を講ずることが望ましい。	39.085555度	141.060555度
森小2号橋	モリニコウハン	胆沢	森小新田線	1993	2	6.5	II	頂版及び側壁目地からの漏水が見られる。予防保全の観点からなるべく速やかな補修を行うことが望ましい。	39.086388度	141.063611度
森小3号橋	モリサノゴウハン	胆沢	上恩裕中嶋線	1993	2	4.9	II	頂版及び側壁目地からの漏水が見られる。予防保全の観点からなるべく速やかな補修を行うことが望ましい。	39.084722度	141.073055度
中油地3号橋	ナカアブチサノゴウハン	胆沢	上油地中油地線	1987	3.9	7.3	II	頂版に乾燥収縮が要因と推定される一方のひびわれが見られる。遊離石灰を伴い進行性が高いと推定されるため、予防保全の観点から措置を講ずることが望ましい。	39.086111度	141.086111度
中油地2号橋	ナカアブチニコウハン	胆沢	上中谷地下油地線	1980	3.8	7.1	I	道路橋の機能に支障が生じていない状態。	39.085555度	141.093055度
穂橋	ホリハン	胆沢	南大谷地二ノ台線	1989	8.7	7	II	壁面に伸縮装置からの漏水が要因と推定される遊離石灰が見られる。予防保全の観点から措置を講ずることが望ましい。	39.08361度	141.04750度
二の台橋	ニノダイハン	胆沢	森小新田線	1971	7.4	7.5	I	道路橋の機能に支障は生じていない。	39.080277度	141.056388度
下狼ヶ志田1号橋	シモオハヒライチゴウハン	胆沢	赤塚後鞍骨線	1995	5.1	5	II	頂版に疲労が原因と推定される2方向のひびわれが見られる。予防保全の観点から措置を講ずることが望ましい。	39.083333度	141.071388度
狐森1号橋	キツネモイチゴウハン	胆沢	長根竹地子線	1993	2	4.5	II	頂版目地からの漏水が見られる。予防保全の観点からなるべく速やかな補修を行うことが望ましい。	39.083333度	141.075833度
八幡堂2号橋	ハチマンドウニコウハン	胆沢	八幡堂下鞍骨線	1994	2	4	II	頂版、側壁に目地からの漏水が見られる。予防保全の観点からなるべく速やかな補修を行うことが望ましい。	39.080833度	141.081388度
八幡堂3号橋	ハチマンドウサノゴウハン	胆沢	小山田中外浦1号線	1994	2	5.5	II	頂版、側壁に目地からの漏水、頂版側面に剥離等が見られる。予防保全の観点からなるべく速やかな補修を行うことが望ましい。	39.078888度	141.085000度
横道橋	ヨコミチハン	胆沢	下大畑平前四ツ屋線	1973	8.5	8	I	道路橋の機能に支障は生じていない。	39.079166度	141.104166度
上白鳥川1号橋	カシラトカワイチゴウハン	胆沢	屋敷藤坂線	1986	4	7.6	I	道路橋の機能に支障が生じていない。	39.075833度	141.038333度
二ノ台1号橋	ニノダイチゴウハン	胆沢	屋敷浪入線	不明	4.1	5	II	A2橋台壁に変形・欠損が見られる。	39.07638度	141.048888度
原川橋	ハラカハシ	胆沢	原川特堤下線	1996	5	2.5	I	道路橋の機能に支障は生じていない。	39.078055度	141.063888度
中ノ森1号橋	ナカノモリチゴウハン	胆沢	東油地妻ヶ線	1995	2.1	3.5	I	道路橋の機能に支障は生じていない。	39.077777度	141.099444度
一ノ沢橋	イチノサウハン	胆沢	新田外浦線	1977	5.4	7	II	橋台(脚壁)に凍害が要因と思われる剥離・鉄筋露出や欠損が見られる。損傷範囲が広いため、予防保全の観点から速やかに補修することが望ましい。	39.063611度	141.068888度
浪入橋	ナミリハン	胆沢	大袋三ノ沢線	不明	9	3.8	II	防護柵に凍害が要因と思われる鉄筋露出が見られる。損傷が進行すると防護柵(鋼材)の落下等に繋がる可能性が考えられるため、予防保全の観点から措置を講ずることが望ましい状態。	39.066388度	141.052500度
赤斎美橋	アカサイミン	胆沢	赤斎美5号線	不明	2.2	6	I	道路橋の機能に支障は生じていない。	39.102777度	141.119722度
望み大橋	ノゾミオハシ	胆沢	横岳前山市野々前線	1996	260	6.5	III	上部構造は主桁に剥離、下部構造は橋脚にひびわれが見られる。主桁の剥離は、進行により構造安全性に影響するため、予防保全の観点から措置を講ずることが望ましい。	39.121388度	140.933333度
奥州湖大橋	オウシュウコオハシ	胆沢	谷子沢南前川山線	2011	424	6.5	II	主桁側面に緩やかな斜めひびわれ及び箱桁内部後埋めコンクリート部に格子寸前のひびわれが認められる。また橋脚柱部後埋めコンクリート部の劣化が認められる。ひびわれ幅が比較的に広いため、予防保全の観点から措置を講ずることが望ましい。	39.106970度	140.882500度
大平野橋	オオヒラノシ	胆沢	谷子沢南前川山線	2011	40	7	I	上部構造は主桁に防食機能の劣化、下部構造は橋台に遊離石灰を伴うひびわれが見られた。いずれも橋梁安全性への影響は低いと見られ、経過観察でよい。	39.085555度	140.880555度
嶺岩橋	サカサハシ	胆沢	追分東前川山線	2011	287.4	4	II	主桁側面に緩やかな斜めひびわれ及び箱桁内部頂版に0.15mm〜0.2mm程度のひびわれが認められる。また外ケーブルの定着部カバーに表面的な腐食が認められる。内部ケーブルが腐食する可能性があるため、予防保全の観点から措置を講ずることが望ましい。	39.101590度	140.881910度
嶋谷踏道橋	シキヤコウキョウ	江刺	北部開拓線	2008	38.7	4.5	I	道路橋の機能に支障は生じていない。	39.305405度	141.262458度
西大畑橋	シモオハヒカハシ	水沢	西開田明神堂川原線	1977	26	13	I	道路橋の機能に支障は生じていない。	39.16436度	141.13119度

道路橋名	アカナ	所在	路線名	架設年度 西暦	橋長 (m)	有効 幅員 (m)	R6	所見等	緯度	経度
明正3号橋	ミヨウショウサンゴウキョウ	水沢	明正沼尻線	不明	2.9	5.8	I	道路橋の機能に支障が生じていない。	39.13429度	141.18552度
下谷記1号橋	シモヤギイチゴウキョウ	水沢	下谷記1号線	不明	4.5	2	I	道路橋の機能に支障は生じていない。	39.07350度	141.18808度
下谷記2号橋	シモヤギニゴウキョウ	水沢	下谷記7号線	不明	2.8	2.2	II	漏水による凍害によるものと推測される。前回点検から進展していないが、予防保全の観点から補修することが望ましい。	39.072949度	141.187685度
酒元橋	サカモトハシ	水沢	酒元線	不明	5.9	6	I	道路橋の機能に支障を生じていない。	39.16657度	141.108549度
三本木2号橋	サンボンギニゴウキョウ	水沢	三本木大町線	2011	4.3	9.2	I	道路橋の機能に支障を生じていない。	39.14390度	141.144093度
明正7号橋	ミヨウショウナナゴウキョウ	水沢	駅南下小谷木線	不明	5.8	10	II	頂版に床版ひびわれ、軸側壁に剥離・鉄筋露出が見られる。	39.13386度	141.18611度
古川橋	フルカワハシ	江刺	下川原力石線	1995	15	17.3	I	道路橋の機能に支障が生じていない。	39.17191度	141.16962度
稲荷橋	イナリハシ	江刺	藤里石原線	1975	2.6	8.4	I	健全である。	39.171738度	141.241091度
馬馳前橋	マハセマエハシ	江刺	人首街道線	1972	3	5.3	I	道路橋の機能に支障が生じていない。	39.22078度	141.290691度
江刺幹線用水路2号橋	エサシカンセンスイロコウキョウ	江刺	男石2号線	1978	2.1	5	I	道路橋の機能に支障が生じていない。	39.198180度	141.173316度
栄町下水路3号橋	サカエマチゲスイロコウキョウ	江刺	栄町反町線	不明	2.5	5.1	I	道路橋の機能に支障は生じていない。	39.183542度	141.187060度
松ノ木田橋	マツノキダハシ	江刺	老耳第二線	1979	2.1	11.6	I	舗装に路面の凹凸が見られる。維持工事に対応することが望ましい。	39.21879度	141.234149度
藤渡橋	フジワタハシ	江刺	石別四ツ西風線	不明	8.5	8.4	III	A1A2橋台壁面に変形・欠損が見られる。	39.28995度	141.266264度
机地4号橋	ウツクシヨコウキョウ	胆沢	二丁目片子沢線	不明	2	2.5	I	道路橋の機能に支障は生じていない。	39.147946度	141.102511度
机地3号橋	ウツクシサンゴウキョウ	胆沢	堰田広表線	不明	2	2.5	I	車両等の接触によるものと思われる防護欄の変形が見られるが、道路橋の機能に支障が生じていない。	39.147518度	141.100140度
礼堂橋	フダトウハシ	胆沢	北町峠線	1975	37.1	11.5	II	主桁側面に剥離・鉄筋露出、下部構造(橋台)に漏水・遊離石灰やひびわれ、支障部に腐食が確認された。道路橋に支障は生じていないが、ジョイント漏水を起因とする変状が多く確認され、予防保全の観点から橋面補修のうえ、桁端部及び下部構造の表面処理を行うことが望ましい。	39.095972度	141.113950度
満倉4号橋	ミツクラヨコウキョウ	水沢	西開田明神堂川原線	1982	12.5	11.8	I	上部構造の主桁、床版に損傷は見られない。下部構造、上下部接続部は大きな損傷はなく、現行の耐震性能を満たしていると判断し、致命的な状態となる可能性は低いと思われる。	39.163836度	141.099675度
北丑沢橋	キタウシザハシ	水沢	不斷町八反田線	1996	3.5	16	II	頂版に活荷重が要因と推定されるひびわれが見られる。致命的な状態となる可能性は低いものの、何らかの変状が生じる可能性はある。	39.153997度	141.135831度
後大畑橋	ウシオオハタケハシ	胆沢	北町峠線	1965	5.3	9.3	I	上部構造、下部構造、上下部接続部は大きな損傷はなく、致命的な状態となる可能性は低いと推定される。	39.096224度	141.102554度
小松谷木橋	コマヤギキハシ	胆沢	馬留迎市野々線	2015	29	4	II	経過年数5年のワーレントラス橋である。鋼床版に表面的な広がりがある腐食が認められる。渓流に設置されている為、河川からの水飛沫により腐食の進行性は高いと考えられ、予防保全の観点から措置を講ずることが望ましい。	39.123280度	140.931960度
下田橋	シモタハシ	胆沢	下田市野々線	2003	15.3	3	II	側壁背面盛土の凍下による路面の段差及び劣化が認められ、頂版上面の劣化が懸念される。また防護欄支柱基部の凍結膨張による支柱の変形(うき)が確認され、車両免脱防止性能が低下しているため、道路利用者の安全性の観点から緊急に措置を講ずることが望ましい。	39.119390度	140.951510度
北赤塚2号橋	キタアカゼキニゴウハシ	胆沢	岩洞沢北赤塚線	2015	2.2	4	I	起・終点側舗装面に路面の凹凸が認められる。道路利用者の安全性の観点から維持工事にて対応することが望ましい。	39.093530度	141.052090度
赤倉沢橋	アカクラザハシ	胆沢	谷子沢南前川山線	不明	10	7.9	III	上部構造は床版につらら状の遊離石灰の析出、下部構造は橋台に遊離石灰の析出が見られた。間詰床版のつらら状の遊離石灰は橋梁安全性の観点から補修が望ましい。	39.117500度	140.890000度
小寒沢橋	コサムザハシ	胆沢	谷子沢南前川山線	2011	4.8	8	II	頂版及び側壁に幅0.15mm～0.2mm程度のひびわれが認められる。河川の影響により部材全体の湿りがあり、進行性は高いと考えられるため予防保全の観点から措置を講ずることが望ましい。	39.092150度	140.868310度
南在4号橋	ミナミザイヨンゴウキョウ	前沢	南在前野線	2008	5.7	6.9	II	頂版支間部にひびわれが認められる。また舗装面の一部に最大50mm程度の段差が認められることから、予防保全の観点から措置を講ずることが望ましい。	39.051830度	141.176480度
落合橋	オチアイハシ	衣川	旧殿古戸線	1993	61	5	II	上部構造は主桁に遊離石灰の析出、下部構造は橋脚にひびわれが見られた。いずれも橋梁安全性への影響は低いとみられることから経過観察とする。	39.036111度	141.060556度
鴻巣橋	コウヌハシ	衣川	旧殿古戸線	1993	35.5	5	I	上部構造は主桁に剥離、下部構造は翼壁に遊離石灰の析出が見られた。いずれも橋梁安全性への影響は低いとみられるため経過観察でよい。	39.034167度	141.056389度
さくら大橋	サクラオオハシ	水沢	大町川原田線	2016	394.7	14	I	道路橋の機能に支障を生じていない。	39.14398度	141.144度
大野橋	オノハシ	江刺	大野線	不明	7.8	5	I	道路橋の機能に支障を生じていない。	39.18864度	141.35709度
八幡小橋	ハチマンコハシ	江刺	玉里広瀬線	不明	3.5	8.1	II	剥離・鉄筋露出、漏水・遊離石灰については止水処理が未施工による凍害が原因と推測される。予防保全の観点から補修することが望ましい。	39.24996度	141.21315度
スマートインター東跨道橋	スマートインターヒガシコウキョウ	胆沢	附野下笹森線	2017	6.3	12.1	I	道路橋の機能に支障が生じていない。	39.11568度	141.1248度
スマートインター東1	スマートインターヒガシイチ	胆沢	附野下笹森線	2017	5	14.6	I	道路橋の機能に支障が生じていない。	39.1143度	141.12194度
岩渡橋	イワワタハシ	水沢	明正西田線	2018	30	12.5	I	道路橋の機能に支障が生じていない。	39.13213度	141.18921度
二渡橋	フタワタハシ	水沢	上谷起下谷起線	1969	7.5	12	I	一部、漏水・遊離石灰が見られる。防水不良が原因と思われるが、進行は遅いと推定される。損傷が少なく、活荷重・地震・豪雨により何らかの変状が生じる可能性は低いと考えられる。	39.07000度	141.18278度
女石橋	メノイシハシ	衣川	馬懸女石線	2023	42	3.7	I	措置の必要はない。	39.044166度	141.052222度